# 取扱説明書

## 自動放送機能付
## プログラムチャイム
## PBS-D500Ⅱ

この度は、「自動放送機能付プログラムチャイム PBS-D500Ⅱ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いておお使いください。

株式会社 タカコム

# もくじ

# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**本書中のマークの説明**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |
| STOP お願い | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。 |
|  | この表示は、本装置を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。 |

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください

**⚠警告**

ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。
感電や故障の原因となります。

電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。
電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。
また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。
ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。

ＡＣ１００Ｖ商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。
火災や感電・故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。
落雷による感電の原因となります。

本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。
万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販売店に点検を依頼してください。
異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。

本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。
火災や感電の原因となります。
改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください

**⚠警告**

| |
|---|
| 本装置は接地端子のついた３ピンの電源コードを使用しています。<br>安全のため電源コードの接地端子を必ず接地してください。 |
| 接地用の配線は、絶対にガス管にはつながないでください。<br>火災や感電の原因となります。 |
| 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。<br>火災や感電の原因となります。 |

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください

**⚠注意**

| |
|---|
| 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。<br>電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。 |
| 本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。<br>本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。 |
| 長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
| 直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。<br>内部の温度が上がり、火災の原因となります。 |
| 湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。<br>火災や感電の原因となります。 |
| ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。<br>バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。 |

## 故障の原因になることがあるため必ずお守りください

| |
|---|
| ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。<br>変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布でふきとってください。 |
| 落としたり、強い衝撃を与えないでください。<br>故障の原因となります。 |
| テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。<br>誤動作の原因となります。 |
| 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。<br>正常に動作しないことがあります。 |
| 温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。 |
| 本装置の上に本やダンボール等、通気孔を塞ぐものを置かないでください。また、本装置を２台以上重ねて置かないでください。<br>熱が内部にこもり、故障の原因となります。 |

# ご使用の前に

## ■ 取扱説明書の構成について

本取扱説明書は、「本体装置編」「データ入力ソフト 作成準備編」「データ入力ソフト 一般用編」「データ入力ソフト 学校用編」および「共通編」で構成しています。

● 「本体装置編」は、本体装置の設定・操作のしかた、設置工事の方法などが記載されています。
● 「データ入力ソフト 作成準備編」は、データ入力ソフトのセットアップから起動･終了のしかたなどが記載されています。
● 「データ入力ソフト 一般用編」は、会社･工場など、一般企業向けのデータ入力ソフトをインストールしたパソコン（制御用パソコン）での自動放送スケジュールの作成方法、および LAN 接続した制御用パソコンからの本体装置の操作方法などについて記載しています。
● 「データ入力ソフト 学校用編」は、小学校･中学校など、学校向けのデータ入力ソフトをインストールしたパソコン（制御用パソコン）での自動放送スケジュールの作成方法、および LAN 接続した制御用パソコンからの本体装置の操作方法などについて記載しています。
● 「共通編」は、放送スケジュール内容の印刷、装置の仕様などについて記載しています。

## ■ セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。当社営業所については当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。

| 品　名 | 個数 | 備　考 |
|---|---|---|
| 本体 | 1 | |
| PBS-D500 データ入力ソフト | 1 | CD（PBS-LA500 設定ソフトを含む） |
| USB フラッシュメモリ | 1 | （本書では、以下 “USB メモリ ” と記します。） |
| テープレコーダ接続コード | 1 | |
| 電源コード | 1 | |
| 電源プラグ変換アダプタ | 1 | |
| 結束バンド | 1 | コード結束用 |
| 取扱説明書 | 1 | 本書 |

## ■ 対応バージョンについて

本取扱説明書は、システムの各プログラムが次のバージョンに対応しています。

・本体装置プログラム　　　　：Ver.1.2＊
・PBS-D500 データ入力ソフト：Ver.1.1＊
・PBS-LA500 設定ソフト　　 ：Ver.1.0＊

●バージョンの確認のしかた

・本体装置：

①待機画面のときに、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで【5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ　ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ】を選びます。

② セット を押すと、バージョンが確認できます。

```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
      Ver. 1.20
```

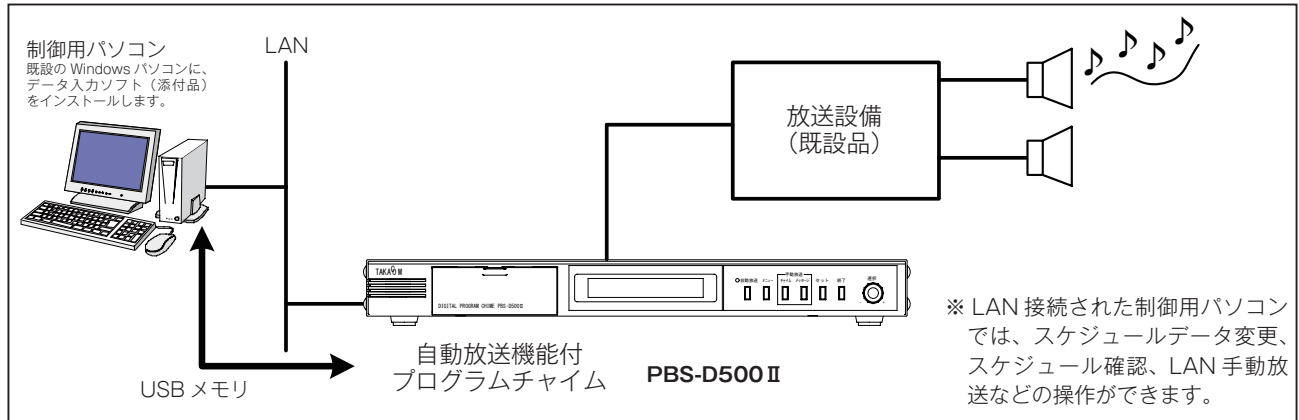
・データ入力ソフトのバージョンは､アプリケーションの【初期画面】に表示されます。一般用 54 ページ､学校用 98 ページを参照してください。
・LA500 設定ソフトのバージョンは、アイコンの右クリック「バージョン情報」で確認できます。

ご使用にあたってのお願い

■取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。
■この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　ＶＣＣＩ－Ａ
■本装置の仕様は、国内向けになっています。海外でご利用いただくことはできません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

## ■ 機能概要

本装置は、お手持ちのパソコンで作成した、放送スケジュールデータに基づいて、既存の放送設備を制御する装置です。
また、LAN 接続されたパソコンから本装置の動作を制御することができます。

## ■ システム概要図

## ■ お使いになるまでの手順（1）

本装置で自動放送を行なうには、あらかじめ次の操作が必要です。

**●ネットワーク機能をご使用にならない場合**

### 制御用パソコンでの操作

**1 データ入力ソフトのインストール（45 ページ）**
添付の CD で、お手持ちのパソコンに「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールします。本ソフトには、「一般用」と「学校用」の 2 種類があります。初回起動時に用途に合わせていずれかを選択します。

**2 放送スケジュールの作成**
①チャイム・メッセージの登録（55、99 ページ）
　チャイムとメッセージの名前などを登録します。
②日課パターンの登録（58、102 ページ）
　日課パターンとその内容（放送ステップ）を登録します。
③年間スケジュールの登録（64、106 ページ）
　毎日の放送スケジュールや、祝日などのスケジュールを登録します。
④年間スケジュール表の確認（70、112 ページ）
　放送スケジュールを、スケジュール帳の形式で確認します。
⑤装置設定の登録（72、114 ページ）
　本システムの動作の設定を行ないます。

**3 装置用データの作成（76、118 ページ）**
放送スケジュール／音源ファイルを、USB メモリに書き込みます。

### 本体装置での操作

**1 本体装置の設定**（11 ページ）
本体装置の年月日時刻、放送音量などを設定します。

**2 音源を準備する**（21 ページ）
放送する音源を、マイクなどを使用して録音します。

**3 スケジュール・音源の読み書き**（17 ページ）
放送スケジュールや外部録音した音源を、USB メモリから読み込みます。

**4 放送**（34 ページ）
［自動放送］ボタンを押して、運用を開始します。

《その他の操作》
●手動放送（36 ページ）
●リモート放送（37 ページ）
●スケジュールの確認／変更（28 ページ）
●繰上げ・繰下げ／休止（30 ページ）
●スケジュール・音源の出力（19 ページ）

### STOP お願い

● USBメモリは添付品を使用してください。市販の USB メモリを使用する場合はセキュリティ機能のない USB メモリを使用してください。

## ■ お使いになるまでの手順（2）

本装置で自動放送を行なうには、あらかじめ次の操作が必要です。

**●ネットワーク機能をご使用になる場合**

本体装置と制御用パソコンを、LAN 接続でお使いの場合は、パソコンで作成したスケジュールデータなどを、直接本体装置に転送することや、本体装置のスケジュールデータなどを制御用パソコンに転送することができます。また、制御用パソコンでスケジュールの臨時変更や LAN 手動放送などの操作ができます。

### 制御用パソコンでの操作

**1** **データ入力ソフトのインストール**（45 ページ）
添付の CD で、お手持ちのパソコンに「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールします。本ソフトには､「一般用」と「学校用」の 2 種類があります。初回起動時に用途に合わせていずれかを選択します。

**2** **放送スケジュールの作成**
①チャイム・メッセージの登録（55、99 ページ）
チャイムとメッセージの名前などを登録します。
②日課パターンの登録（58、102 ページ）
日課パターンとその内容（放送ステップ）を登録します。
③年間スケジュールの登録（64、106 ページ）
毎日の放送スケジュールや、祝日などのスケジュールを登録します。
④年間スケジュール表の確認（70、112 ページ）
放送スケジュールを、スケジュール帳の形式で確認します。
⑤装置設定の登録（72、114 ページ）
本システムの動作の設定を行ないます。

**3** **ネットワーク設定の登録**（81、122 ページ）
LAN 接続のための、IP アドレスなどを登録します。

**4** **装置用データの書き込み**（88、129 ページ）
放送スケジュール／音源ファイルを、LAN 経由で直接本体装置に転送して書き込みます。

スケジュールデータ

音源ファイルの割付け
※パソコンなどで録音作成した音源ファイル（wav）

(LAN)

**5** **放送**（83、124 ページ）
［自動放送］ボタンをクリックして、運用を開始します。

《その他の操作》
● LAN 手動放送（94、135 ページ）
●本日スケジュールの変更（82、123 ページ）
●繰上げ・繰下げ／休止（85、126 ページ）
●年間スケジュールの変更（87、128 ページ）
●スケジュール確認（93、134 ページ）
●本体装置のスケジュール／音源ファイル読み込み（91、132 ページ）

### 本体装置での操作

**1** **本体装置の設定**（11 ページ）
本体装置の年月日時刻、IP アドレス、放送音量などを設定します。

**2** **音源を準備する**（21 ページ）
放送する音源を、マイクなどを使用して録音します。

※放送スケジュールや外部録音した音源を、USB メモリから読み込むこともできます。

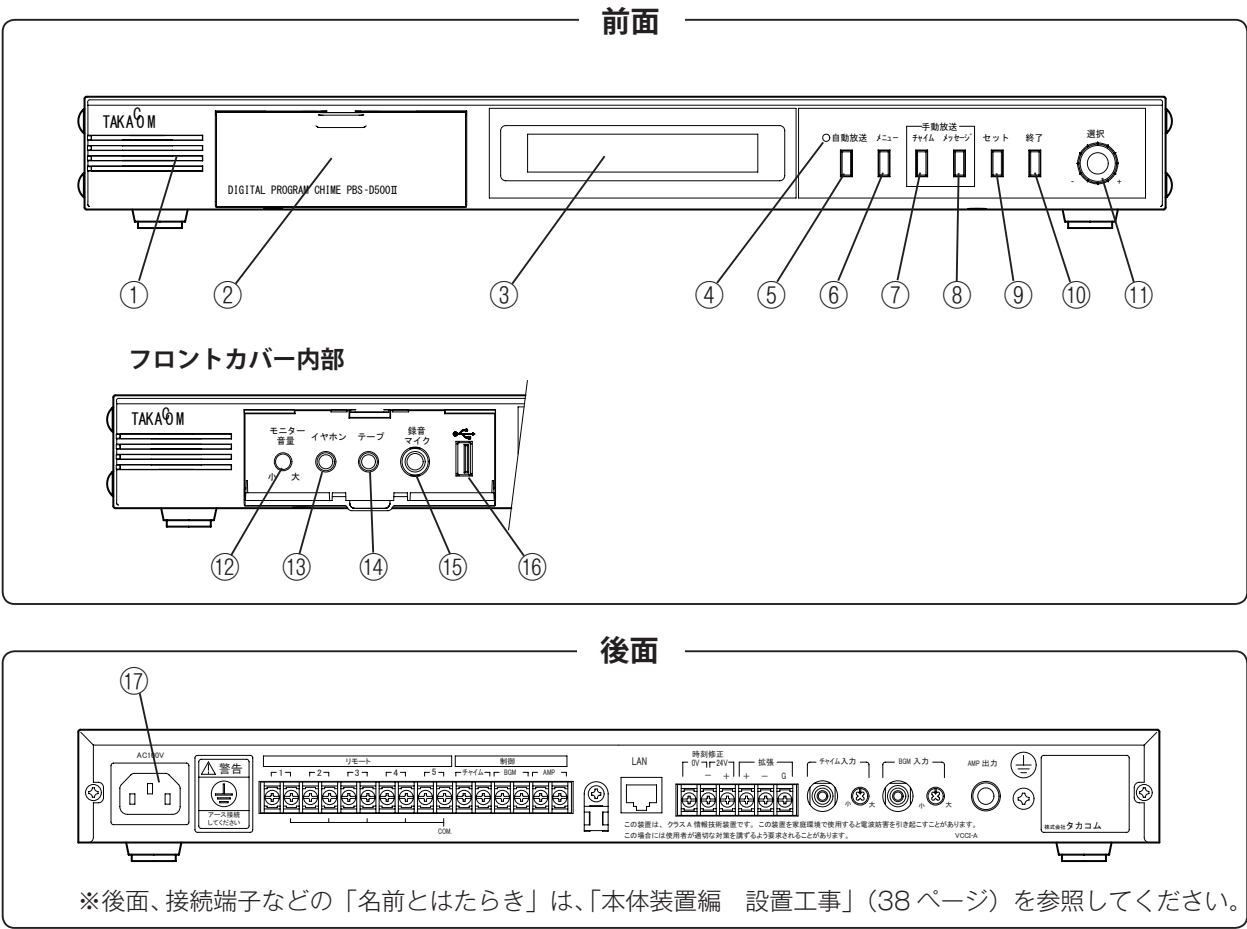
※［自動放送］ボタンを押して、運用を開始することもできます。また、以下の操作についても本体装置で行なうことができます。
・手動放送
・リモート放送
・本日スケジュールの確認
・年間スケジュールの変更
・繰上げ・繰下げ／休止
・スケジュール／音源ファイルの出力

# 第１章
# 本体装置編

# 各部の名前とはたらき

前面

後面

※後面、接続端子などの「名前とはたらき」は、「本体装置編　設置工事」（38 ページ）を参照してください。

| 名前 | | 機能（はたらき） |
|---|---|---|
| ① | スピーカ | メッセージ再生や放送モニターを拡声します。 |
| ② | フロントカバー | 各種の端子ジャックなどをカバーします。 |
| ③ | ディスプレイ | システムの動作状態などを表示します。 |
| ④ | 自動放送ランプ | 自動放送にセットされているときに点灯します。 |
| ⑤ | 自動放送ボタン | 自動放送のセットおよび解除するときに押します。 |
| ⑥ | メニューボタン | スケジュール変更、日時設定、メッセージ録音・再生などを行なうときに押します。 |
| ⑦ | チャイムボタン | 手動で、チャイム放送を行なうときに押します。 |
| ⑧ | メッセージボタン | 手動で、メッセージ放送を行なうときに押します。 |
| ⑨ | セットボタン | メニューや数値を確定するときに押します。 |
| ⑩ | 終了ボタン | 手動放送やリモート放送の停止、録音や再生を終了するときなどに押します。 |
| ⑪ | 選択ロータリースイッチ | メニューや数値を選択するときに、昇順方向は（＋）降順方向は（－）側に回します。 |
| ⑫ | モニター音量ツマミ | スピーカの音量を調節するときに回します。 |
| ⑬ | イヤホンジャック | メッセージなどの再生音をイヤホン（市販品）から聞くときに接続するジャックです。 |
| ⑭ | テープジャック | テープレコーダなどから録音するときに音源を接続するジャックです。 |
| ⑮ | 録音マイクジャック | マイク（市販品）から録音するときに接続するジャックです。 |
| ⑯ | USB コネクタ | USB メモリを接続するコネクタです。 |
| ⑰ | AC 電源コネクタ | 電源ケーブルを接続して、AC100V を供給するためのコネクタです。 |

## ■ 電源について

●電源は、AC100V 商用電源でご使用ください。
●本装置には、電源スイッチはありません。
電源を切るときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

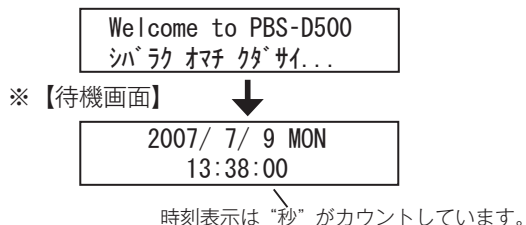
## ■ 電源を入れると

電源を入れると、ディスプレイは次のように表示し、しばらくすると【待機画面】になります。

```
Welcome to PBS-D500
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ...
```

※【待機画面】

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:00
```

時刻表示は“秒”がカウントしています。

●メッセージの録音や再生、年月日・時刻の登録などをするときは、この【待機画面】からメニューを選択して操作します。

**STOP お願い**

●ディスプレイが待機画面面以外のときは、電源を切らないでください。USB メモリやデータが破損する場合があります。

**ワンポイント**

●約２分間、ボタン操作をしないと、自動的にその操作を解除します。このときは、最初から操作をやり直してください。

## ■ USB メモリについて

本システムでは、制御用パソコンで作成した放送スケジュールデータや音源ファイルなどを、装置用データとして USB メモリに出力し、この USB メモリを本体装置にセットして読み込みます。また、本体装置のスケジュールデータや音源ファイルなどを USB メモリに出力し、制御用パソコンで読み込んで編集することなどができます。

### ●抜き差し

USB コネクタへ向きを確認して、しっかり奥まで差し込みます。取り出すときは、USB メモリをつまんで、まっすぐに抜きます。
USB メモリを差し込んだあと、操作の途中でディスプレイに【USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ】と表示します。
表示が消えてから操作を続けてください。
《スケジュールデータ読み込みの場合の表示例》

```
4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
  USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ
```

**STOP お願い**

● USB メモリを抜き差しするときは、必ず、待機画面になっていることを確認してください。待機画面以外のとき、抜き差しを行うと破損する場合があります。

**ワンポイント**

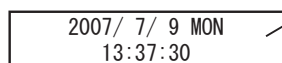
● USB メモリは添付品を使用してください。市販のセキュリティ機能のある USB メモリは使用できません。
●本体装置でデータを読み込んだあとは、USB メモリを抜き取っても本装置は使用できます。

# 待機画面と操作一覧

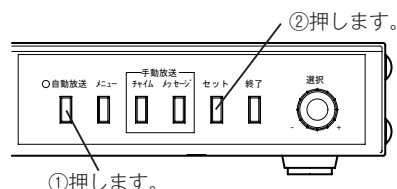
## ■ 待機画面を表示する

本体装置に電源を入れたときにしばらくするとディスプレイに待機画面を表示します。
本体装置の各種の設定を行うときに、待機画面を表示する必要があります。

【待機画面例】

```
2007/ 7/ 9 MON
   13:37:30
```

ディスプレイに年月日・時刻が表示されます。

**●自動放送中のとき**

自動放送ランプが点灯しています。
**自動放送**を押した後に**セット**を押したとき、自動放送ランプが消えて待機画面を表示します。

## ■ 本体装置のメニュー操作一覧（待機中）

待機画面中に選択ロータリースイッチを操作することで表示されるメニュー項目は下記になります。

| メニュー項目 | | | 説 明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ | 1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ | | 年間スケジュールの確認と、日課パターンの変更を行ないます。 | 28 |
| | 1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ | | 本日スケジュールを確認します。 | 29 |
| | 1-3 ｸﾘｱｹﾞ / ｸﾘｻｹﾞ | | 放送時刻の繰上げ・繰下げ設定を行ないます。 | 30 |
| | 1-4 ｷｭｳｼ | | 放送の休止設定を行ないます。 | 31 |
| | 1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ | | スケジュールの名前や作成日を確認します。 | 32 |
| 2 ｵﾝｹﾞﾝ | 2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ | | メッセージの録音・再生・消去を行ないます。 | 22 |
| | 2-2 ﾁｬｲﾑ | | 自作チャイムの録音・再生・消去を行ないます。 | 24 |
| | 2-3 ｶﾞｲﾌﾞ | | 外部チャイム、外部 BGM を再生確認します。 | 26 |
| | 2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ | | 録音可能時間を確認します。 | 27 |
| | 2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ | | メッセージと自作チャイムの消去を行ないます。 | 27 |
| 3 ｾｯﾃｲ | 3-1 ﾆﾁｼﾞ | | 現在の年月日時刻の登録・修正を行ないます。 | 11 |
| | 3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ | | LAN 接続で使用する場合の、IP アドレスなどを登録します。 | 12 |
| | 3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ | | 外部アンプなどに出力する音量を設定します。 | 14 |
| | 3-4 ｵﾝｼﾂ | | 本体装置で録音する音源の音質を設定します。 | 14 |
| | 3-5 ｷｰﾛｯｸ | | 本体装置のボタン操作を制限します。 | 15 |
| | 3-6 LA ｾｯﾃｲ | 3-6-1 ｾｯﾃｲ | LAN アダプタの設定データを PBS-LA500 に設定します。 | 149 |
| | | 3-6-2 ｶｸﾆﾝ | PBS-LA500 の設定データを確認します。 | 150 |
| 4 ﾌｧｲﾙ | 4-1 USBﾒﾓﾘ→PBS ﾃﾝｿｳ | 4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ | スケジュールを USB メモリから読み込みます。 | 17 |
| | | 4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ | メッセージや自作チャイムを USB メモリから読み込みます。 | 17 |
| | | 4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ・ｵﾝｹﾞﾝ | スケジュールとメッセージや自作チャイムを USB メモリから読み込みます。 | 18 |
| | | 4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ | LAN アダプタの設定データを USB メモリから読み込みます。 | 146 |
| | 4-2 PBS→USBﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ | 4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ | スケジュールを USB メモリに書き込みます。 | 19 |
| | | 4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ | メッセージや自作チャイムを USB メモリに書き込みます。 | 19 |
| | | 4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ・ｵﾝｹﾞﾝ | スケジュールとメッセージや自作チャイムを USB メモリに書き込みます。 | 20 |
| | | 4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ | リモート放送の履歴を USB メモリに書き込みます。 | 20 |
| | | 4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ | LAN アダプタの設定データを USB メモリに書き込みます。 | 146 |
| 5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ | | | 本体装置のプログラムバージョンを確認します。 | 4 |

# 本体装置の設定

## 1．年月日時刻を合わせる

現在の年月日・時刻を登録します。登録された年月日・時刻に従って、自動放送が行われます。

### ■ 登録のしかた

※登録例は、「2007 年 7 月 9 日 13 時 38 分」の例です。

**1** 待機画面のとき、［ﾒﾆｭｰ］を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊［ﾒﾆｭｰ］を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```
↓
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** ［ｾｯﾄ］を押す
選択ロータリースイッチで、【3-1 ﾆﾁｼﾞ】を選ぶ

＊［ｾｯﾄ］を押したとき【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ
```
```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ
```
```
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** ［ｾｯﾄ］を押す
＊「ﾆﾁｼﾞ」の登録画面になります。
選択ロータリースイッチで、「年」を選び［ｾｯﾄ］を押す
同様に、「月→日→時→分」の順に登録する
＊「分」の登録が終わると、【ｾｯﾃｲ】のメニュー選択画面になります。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
 2007/ 7/ 9 13:37
```
```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
 2007/ 7/ 9 13:37
```
```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
 2007/ 7/ 9 13:37
```
```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
 2007/ 7/ 9 13:37
```
```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
 2007/ 7/ 9 13:38
```
↓
```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ
```

**4** ［終了］を、必要回数押して待機画面に戻す
＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
＊待機画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ■ 年月日・時刻を修正するには

手順 1 からやり直す。

### ■ 時刻を正確に合わせるには

手順 3 の「分」の登録で、現在時刻の 1 分後を選び、ちょうど、0 秒になったとき、［ｾｯﾄ］を押す。

**ワンポイント**

- 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。
  年：西暦 2007 年～ 2050 年
  月：1 月～ 12 月
  日：1 日～ 31 日（年月に対応した最大日）
  時：00 時～ 23 時の 24 時間制
  分：00 分～ 59 分
- 曜日は、内蔵カレンダーで、自動表示されます。
  表示は次のとおりです。
  日曜日：SUN　月曜日：MON　火曜日：TUE
  水曜日：WED　木曜日：THU　金曜日：FRI
  土曜日：SAT
- お買い上げ時は、当日の年月日時分を表示します。時報などを参考にして実際の時刻と誤差がある場合は、合わせてください。
- 「分」の登録をせずに、［終了］を押すと、今、入力したものは登録されず、登録前の年月日・時刻に戻ります。このときは、最初から登録をやり直してください。

## 2．ネットワークの設定

制御用パソコンと LAN 接続で使用する場合の設定を行ないます。

### ■ IP アドレスの設定

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ

3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ

3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2-1 IP ｱﾄﾞﾚｽ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー画面を表示します。

```
3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
```

**4** セット を押す
＊「IP ｱﾄﾞﾚｽ」の登録画面になります。
・初期値：192.168. 0. 10
選択ロータリースイッチで、「1 つ目 」を選び セット を押す
同様に、「2 つ目→3 つ目→4 つ目」の順に登録する
＊「4 つ目」の登録が終わると、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー選択画面になります。

```
3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
  192.168.  0. 10

3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
  192.168.  0. 10

3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
  192.168.***. 10

3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
  192.168.***.***
↓
3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
```

**5** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ■ サブネットマスクの設定

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ

3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ

3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー画面を表示します。

```
3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
```

**4** セット を押す
＊「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」の登録画面になります。
・初期値：255.255.255. 0
選択ロータリースイッチで、「1 つ目 」を選び セット を押す
同様に、「2 つ目→3 つ目→4 つ目」の順に登録する
＊「4 つ目」の登録が終わると、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー選択画面になります。

```
3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  255.255.255.  0

3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  255.255.255.  0

3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  255.255.255.  0

3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  255.255.255.  0
↓
3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
```

**5** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

**ワンポイント**

- LAN接続に必要なIPアドレスなどの値は、ネットワーク管理者に確認してください。
- LAN 接続でご使用の場合、制御用パソコンでの操作により本体装置に次のように表示される場合があります。このときは、本体装置での操作はできません。

```
< LAN ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ ﾃﾞｽ >
ﾎﾝﾀｲｿｳｻ ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

## ■ ゲートウェイの設定

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊セット を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ

3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ

3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー画面を表示します。

3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ

**4** セット を押す
＊「ｹﾞｰﾄｳｪｲ」の登録画面になります。
・初期値：0. 0. 0. 0
選択ロータリースイッチで、「1 つ目」を選び セット を押す
同様に、「2 つ目→ 3 つ目→ 4 つ目」の順に登録する
＊「4 つ目」の登録が終わると、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー選択画面になります。

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
***. 0. 0. 0

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
***.***. 0. 0

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
***.***.***. 0

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
***.***.***.***
↓
3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ

**5** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

## ■ ポート番号の設定

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊セット を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ

3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ

3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー画面を表示します。

3-2-1 IPｱﾄﾞﾚｽ
3-2-2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ

**4** セット を押す
＊「ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ」の登録画面になります。
・初期値：56000
選択ロータリースイッチで、「1 桁目」を選び セット を押す
同様に、「2 桁目→ 3 桁目→ 4 桁目→ 5 桁目」の順に登録する
＊「5 桁目」の登録が終わると、【ﾈｯﾄﾜｰｸ】のメニュー選択画面になります。

3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
56000

3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
*6000

3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
**000

3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
***00

3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
****0
↓
3-2-3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
3-2-4 ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ

**5** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

## 3．放送音量の設定

本体装置が外部のアンプなどに出力する音量の設定ができます。放送設備との接続のあとで音量の調節を行ないます。

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊セット を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```
↓
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ
```
```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ
```
```
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** セット を押す

＊「ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ」の設定画面になります。
・初期値：0dB

```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
ﾚﾍﾞﾙ 0dB
```

選択ロータリースイッチで、「音量レベル」を選び セット を押す

＊右（＋）方向に回すと、音量レベルが大きくなります。最大＋ 15dB まで設定できます。
＊左（－）方向に回すと、音量レベルが小さくなります。最小－ 40dB まで設定できます。
＊「ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ」の設定が終わると、【ｾｯﾃｲ】のメニュー選択画面になります。

最大音量
```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
ﾚﾍﾞﾙ +15dB
```
最小音量
```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
ﾚﾍﾞﾙ -40dB
```
↓
```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ
```

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊1回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

## 4．音質の設定

本体装置で録音するメッセージや自作チャイムの音質を、「標準（μ-law)」、「高音質1（PCM1）」または「高音質2（PCM2)」に変更できます。録音の前に、放送する内容によって設定を変更して録音することができます。

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊セット を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```
↓
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-4 ｵﾝｼﾂ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ
```
```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ
```
```
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** セット を押す

＊「ｵﾝｼﾂ」の設定画面になります。

選択ロータリースイッチで、「音質」を選び セット を押す

・[μLAW]：標準的な音質で録音できます。
・[PCM1]：高音質で録音できます。
・[PCM2]：最高音質で録音できます。

＊「ｵﾝｼﾂ」の設定が終わると、【ｾｯﾃｲ】のメニュー選択画面になります。

```
3-4 ｵﾝｼﾂ
[uLAW] [PCM1] [PCM2]
```
標準音質

高音質
```
3-4 ｵﾝｼﾂ
[uLAW] [PCM1] [PCM2]
```
最高音質
```
3-4 ｵﾝｼﾂ
[uLAW] [PCM1] [PCM2]
```
↓
```
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ
```

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊1回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

**ワンポイント**

● 一度設定すると、設定を変更しないかぎり、以後、その音質設定で録音されます。録音の前に、音質設定を確認してください。
●「高音質1（PCM1)」に設定すると、録音時間は、標準のときの約半分になります。また、「高音質2（PCM2)」に設定すると、録音時間は、標準のときの約1/4になります。詳しくは、「本体装置編　音源を準備する」（21ページ）を参照してください。

## 5．キーロックの設定

本体装置のボタン操作を、簡易設定またはパスワード設定で禁止することができます。

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊セット を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-5 ｷｰﾛｯｸ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** セット を押す
＊「ｷｰﾛｯｸ」の設定画面になります。

**●キーロック［OFF］の設定**
選択ロータリースイッチで、［OFF］を選び セット を押す
＊【ｾｯﾃｲ】のメニュー選択画面になります。
＊キーロックの制限をしません。

```
3-5 ｷｰﾛｯｸ
  [OFF][ｶﾝｲ][ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]
↓
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**●キーロック［ｶﾝｲ］の設定**
選択ロータリースイッチで、［ｶﾝｲ］を選び セット を押す
＊【ｾｯﾃｲ】のメニュー選択画面になります。
＊簡易操作でのキーロック解除が必要になります。

```
3-5 ｷｰﾛｯｸ
  [OFF][ｶﾝｲ][ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]
↓
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**●キーロック［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］の設定**
①選択ロータリースイッチで、［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］を選び セット を押す
・初期値：0000
②選択ロータリースイッチで、パスワードの「1 桁目」を選び セット を押す
同様に、「2 桁目→3 桁目→4 桁目」の順に登録する
＊「4 桁目」の登録が終わると、【ｾｯﾃｲ】のメニュー選択画面になります。
＊パスワード入力でのキーロック解除が必要になります。

```
3-5 ｷｰﾛｯｸ
  [OFF][ｶﾝｲ][ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ]
3-5 ｷｰﾛｯｸ
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0000
3-5 ｷｰﾛｯｸ
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0000
3-5 ｷｰﾛｯｸ
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0000
3-5 ｷｰﾛｯｸ
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0000
↓
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

キーロック設定時は、【待機画面】に鍵マークを表示します。

### ■ キーロック設定時の本体操作について

キーロックが設定してあるときは、【待機画面】からボタン操作を行なうには、キーロックの解除が必要です。以下の操作で解除を行なってください。また、操作の途中で【待機画面】に戻った場合は、そのつどキーロックを解除してください。

**● ［ｶﾝｲ］の場合のキーロック解除**

【待機画面】で セット を約 3 秒間、押し続ける

＊「ｷｰﾛｯｸ」が解除されます。案内の表示が消えると、ボタン操作ができます。

```
ｷｰﾛｯｸ ｦ ｶｲｼﾞｮ ｼﾏｼﾀ
↓
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

鍵マークが消えます。

**● ［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］の場合のキーロック解除**

①【待機画面】で本体装置のボタンを押すと、パスワードの入力表示になります。
②選択ロータリースイッチで、パスワードの「1 桁目」を選び セット を押す
同様に、「2 桁目→3 桁目→4 桁目」の順に入力する

＊「4 桁目」の入力が終わると、「ｷｰﾛｯｸ」が解除されます。案内の表示が消えると、ボタン操作ができます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾆｭｳﾘｮｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ _
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾆｭｳﾘｮｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ﾆｭｳﾘｮｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
  ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ *_
  ⋮
ｷｰﾛｯｸ ｦ ｶｲｼﾞｮ ｼﾏｼﾀ
↓
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

鍵マークが消えます。

**ワンポイント**

- キーロックは、設定を終了して【待機画面】に戻ったあと、有効になります。
- キーロック解除の直後、約 2 分間ボタンを操作しないと再度キーロック状態になります。
- キーロック解除後の操作途中で、約 2 分間ボタンを操作しないと【待機画面】に戻り、再度キーロック状態になります。
- キーロックをパスワードで設定した場合は、パスワードを忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、本体の操作ができなくなります。
- 本体装置にキーロックの設定がされていても、ネットワーク機能で制御用パソコンからの本体装置の操作には、キーロックの制限は無効です。

## ６．PBS-LA500 の設定

LAN アダプタ PBS-LA500 の設定（[3-6 LA ｾｯﾃｲ]）については、「共通編　LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する　LA 設定データを PBS-LA500 に設定する」（149 ページ）を参照してください。

# スケジュール・音源の読み書き

制御用パソコンで作成したスケジュールデータや、外部録音した音源データなどを、USB メモリから本体装置に読み込みます。USB メモリには、あらかじめ制御用パソコンで装置用データとして作成しておきます。「データ入力ソフト編　装置用データの作成」（一般用 76 ページ、学校用 118 ページ）を参照してください。
また、本体装置のスケジュールデータや音源などを、USB メモリに書き出すこともできます。

## 1．USB メモリのデータを本体装置に読み込む

### ■ スケジュールの読み込み

**1** 本体装置のフロントカバーを開け、装置用データが書き込まれた USB メモリを、USB コネクタにセットします。

**2** 待機画面のとき、［メニュー］を押し、選択ロータリースイッチで、【4 ﾌｧｲﾙ】を選ぶ

＊［メニュー］を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
  13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**3** ［セット］を押す
選択ロータリースイッチで、【4-1 USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】を選ぶ

＊［セット］を押したとき【ﾌｧｲﾙ】のメニュー画面を表示します。

```
4-1 USBﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ
4-2 PBS → USBﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ
```

**4** ［セット］を押す
選択ロータリースイッチで、【4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊［セット］を押したとき、【USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

```
4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
```

**5** ［セット］を押す

＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、USB と PBS（本体装置）のスケジュール名を表示します。
＊ PBS（本体装置）にデータファイルがない場合は、「---」表示となります。

```
4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
  USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ
4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
  ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
↓
```

確認のあと［セット］を押す

＊データの読み込みが始まります。
＊読み込みが終了すると、【USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】のメニュー選択画面に戻ります。

```
4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ
```

**6** ［終了］を、必要回数押して待機画面に戻す

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
  13:38:03
```

**ワンポイント**

● 読み込みのしかたの手順 5 で、USB メモリが挿入されていないときは、「USB ﾒﾓﾘ ｦ ｿｳﾆｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示します。USB メモリを挿入してください。

### ■ 音源の読み込み

**［手順1～3］は、左の「スケジュールの読み込み」と同じです。**

**4** ［セット］を押す
選択ロータリースイッチで、【4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊［セット］を押したとき、【USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

```
4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
```

**5** ［セット］を押す

＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、読み込みする音源のチャンネル番号選択画面を表示します。
＊ USB メモリ内にある音源のチャンネルを表示します。

```
音質設定　　録音時間
4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ
  CHM**ch uLAW    **s
```

音源のチャンネル番号
CHM：チャイム
MSG：メッセージ

**6** 選択ロータリースイッチで、読み込みする音源のチャンネル番号を選択して、［セット］を押す

＊データの読み込みが始まります。
＊読み込みが終了すると、音源のチャンネル番号選択画面に戻ります。

同様に、他のチャンネルの音源を読み込む

＊音源の読み込みを終了するときは、手順 7 に進みます。

**7** ［終了］を、必要回数押して待機画面に戻す

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
  13:38:03
```

**ワンポイント**

● 手順 6 で［セット］を押したとき、本体装置の同一チャンネルにすでに音源がある場合には、次の確認画面を表示します。

```
CHM**ch uLAW    **s
  ｳﾜｶﾞｷ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

上書きするときは、［セット］を押して転送します。

● 音源を読み込むとき、本体装置に空き容量がない場合は、「ﾎﾝﾀｲ ﾒﾓﾘ ﾆ ｱｷﾖｳﾘｮｳ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。不要な音源を消去してからやり直してください。

## ■ スケジュールと音源の読み込み

**[手順1～3]は、前の「スケジュールの読み込み」と同じです。**

**4** セット を押す
選択ロータリースイッチで、
【4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ・ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ
＊ セット を押したとき、【USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ

4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ

**5** セット を押す
＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、全てのデータをUSBメモリの内容に置き換える確認画面を表示します。

4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ

4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ

↓

4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
ｽﾍﾞﾃ ｵｷｶｴﾏｽ [ｾｯﾄ]

**6** セット を押す
＊スケジュールの読み込みが始まります。
＊スケジュールの読み込みが終了すると、音源の消去を行ないます。
＊続いて音源の読み込みが始まります。
＊全ての音源の読み込みを終了すると、【USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】のメニュー選択画面に戻ります。

4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ

**7** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

**ご注意**

● スケジュールと音源の読み込みで、音源を一括して読み込む場合は、本体装置内の全ての音源データがUSBメモリ内のデータに置き換えられます。
本体装置内で録音のあるチャンネルが、USBメモリにない場合、そのチャンネルは消去されますので注意してください。

**ワンポイント**

●スケジュールや音源を読み込むときに、USBメモリにデータがない場合は、「ピッ・ピッ ･･･」と鳴って「ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示します。USBメモリ内のデータを確認してください。

**お願い**

● データの読み込み中は、USBメモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

## ■ LA 設定データの読み込み

LA 設定データの読み込み（[4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ]）については、「共通編　LANアダプタ PBS-LA500 を使用する USBメモリの LA 設定データを本体に読み込む」（146 ページ）を参照してください。

## 2．本体装置のデータを USB メモリに書き込む

運用中の放送スケジュールや音源のデータを、本体装置から USB メモリに書き込んでバックアップしておくことができます。制御用パソコンの故障などで、放送スケジュールデータが消去された場合に、USB メモリから読み込んで編集することなどができます。また、本体装置でリモート放送が行なわれた履歴を USB メモリに書き込んで、制御用パソコンで読み込み確認することができます。

### ■ スケジュールの書き込み

**1** 本体装置のフロントカバーを開け、USB メモリを、USB コネクタにセットします。

**2** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【4 ﾌｧｲﾙ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【4-2 PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ﾌｧｲﾙ】のメニュー画面を表示します。

4-1 USBﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ
4-2 PBS → USBﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ

**4** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ

4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ

**5** セット を押す
＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、PBS（本体装置）と USB のスケジュール名を表示します。
＊ USB メモリにデータファイルがない場合は、「---」表示となります。
＊データファイルにスケジュール名がない場合は、ブランクとなります。

4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ

4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ

確認のあと セット を押す
＊データの書き込みが始まります。
＊書き込みが終了すると、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー選択画面に戻ります。

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

**ワンポイント**

● 書き込みのしかたの手順 5 で、USB メモリが挿入されていないときは、「USB ﾒﾓﾘ ｦ ｿｳﾆｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示します。USB メモリを挿入してください。

### ■ 音源の書き込み

**[手順1〜3]は､左の｢スケジュールの書き込み｣と同じです。**

**4** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ
＊セット を押したとき、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ

4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ

**5** セット を押す
＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、書き込みする音源のチャンネル番号選択画面を表示します。
＊録音されている音源のチャンネルを表示します。

4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ
USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ

4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ

音質設定　録音時間

4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ
CHM**ch uLAW **s

音源のチャンネル番号
CHM：チャイム
MSG：メッセージ

**6** 選択ロータリースイッチで、書き込みする音源のチャンネル番号を選択して、セット を押す
＊データの書き込みが始まります。
＊書き込みが終了すると、音源のチャンネル番号選択画面に戻ります。

4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ
CHM**ch uLAW **s

同様に、他のチャンネルの音源を書き込む
＊音源の書き込みを終了するときは、手順 7 に進みます。

**7** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

**ワンポイント**

● 手順 6 で セット を押したとき、USB メモリの同一チャンネルにすでに音源がある場合には、次の確認画面を表示します。

CHM**ch uLAW **s
ｳﾜｶﾞｷ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]

上書きするときは、セット を押して転送します。

**お願い**

● データの書き込み中は、USB メモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

## ■ スケジュールと音源の書き込み

**[手順1～3]は、前の「スケジュールの書き込み」と同じです。**

**4** セット を押す

選択ロータリースイッチで、【4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ・ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ

4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ

**5** セット を押す

＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、全てのデータを PBS（本体装置）の内容に置き換える確認画面を表示します。

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ

↓

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
ｽﾍﾞﾃ ｵｷｶｴﾏｽ [ｾｯﾄ]

**6** セット を押す

＊スケジュールの書き込みが始まります。
＊スケジュールの書き込みが終了すると、音源の消去を行ないます。
＊続いて音源の書き込みが始まります。
＊全ての音源の書き込みを終了すると、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー選択画面に戻ります。

↓

ｵﾝｹﾞﾝ ｦ ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ

↓

↓

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ

**7** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

## ■ リモート放送履歴の書き込み

**[手順1～3]は、前の「スケジュールの書き込み」と同じです。**

**4** セット を押す

選択ロータリースイッチで、【4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ

4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ

**5** セット を押す

＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、USB メモリへ書き込みの確認画面を表示します。

4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ
USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ

4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ

↓

4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ
USBﾒﾓﾘ ﾆ ﾃﾝｿｳ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]

**6** セット を押す

＊リモート放送履歴の書き込みが始まります。
＊書き込みを終了すると、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー選択画面に戻ります。

↓

4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ

**7** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

### ●リモート放送履歴の確認方法

USB メモリに出力したリモート放送履歴は、USB メモリ内に CSV 形式のファイルで、次のように書き込まれます。

・フォルダ名：PBS-D500
・ファイル名：*******.CSV

※ファイル名は、出力したときの“月日時分”の８桁の名前が付けられます。

リモート放送履歴は、表計算ソフトで確認できます。

《リモート放送履歴：Excel での表示例》

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 放送開始日 | 放送開始時刻 | リモート番号 | 開始チャイム | メッセージ | 送出回数 | 終了チャイム | 要求元 | 結果 |
| 2 | 2007/5/18 | 17:12:03 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | リモート端子 | 放送 |
| 3 | 2007/5/21 | 17:32:12 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | リモート端子 | 放送 |

※項目 D,E,F,G は、リモート端子番号ごとの登録内容を表示します。

**ワンポイント**

● リモート放送履歴は、本体装置に 100 件まで記録され、以後は古い履歴から削除されます。
● 手順５で セット を押したとき、リモート放送履歴がない場合には、「ピツ・ピッ‥‥」と鳴って、約３秒間、次の画面を表示します。

4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ
ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

## ■ LA 設定データの書き込み

LA 設定データの書き込み（[4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ]）については、「共通編　LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する　参考:本体の LA 設定データを USB メモリに書き込むには」（146 ページ）を参照してください。

# 音源を準備する

定時放送などで使用するメッセージ、音楽、自作チャイムなどの音源を、本体装置で録音します。

## ■ 音源の種類

本システムで使用する音源には、次の種類があります。

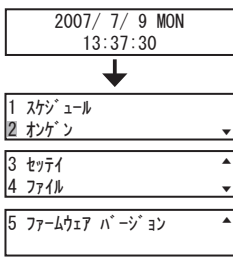
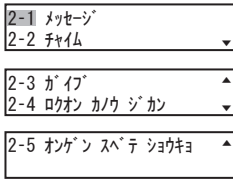
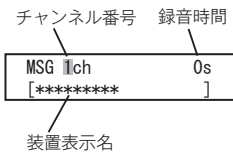
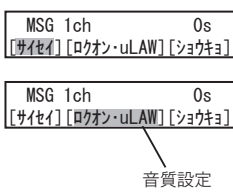
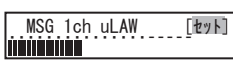
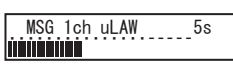
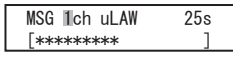
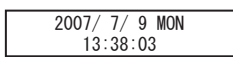
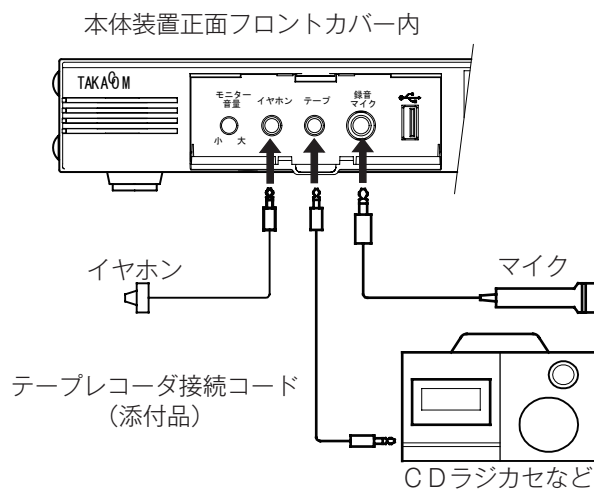
| 音源の種類 | | チャンネル数 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| チャイム | 固定チャイム | ch1 ～ ch15 | 本体装置に内蔵された、15 種類の固定チャイムです。<br>このチャンネルは再生確認はできますが、録音・消去はできません。 |
| | 自作チャイム | ch16 ～ ch30 | 本体装置で録音・再生・消去ができる 15 種類のチャイムです。<br>任意のチャイムが作成できます。 |
| メッセージ・音楽 | | ch1 ～ ch99 | 本体装置で録音・再生・消去ができる 99 種類の音源です。<br>任意のメッセージや音楽が作成できます。 |
| 外部チャイム | | 1 種類 | 既設のチャイムなど、外部のチャイムを使用します。 |
| 外部 BGM | | 1 種類 | 外部の BGM 音源などを使用します。<br>※学校用のシステムでは使用できません。 |

## ■ 録音方法の種類

本体装置での録音方法には、次の 3 種類があります。
①マイクから録音する。
②ＣＤラジカセなどからのダビング録音をする。
③マイクとＣＤラジカセなどとのミキシング録音をする。

## ■ 外部機器の接続

### 固定チャイムについて

●固定チャイムの曲名は、次のとおりです。

| ch | 曲　名 |
|---|---|
| 1 | ウエストミンスターの鐘　２５秒 |
| 2 | ウエストミンスターの鐘　１４秒 |
| 3 | ローレライ　１６秒 |
| 4 | 野ばら　２４秒 |
| 5 | アマリリス　２８秒 |
| 6 | 呼出チャイム　上り　５秒 |
| 7 | 呼出チャイム　下り　５秒 |
| 8 | サインA　１０秒 |
| 9 | サインB　１９秒 |
| 10 | サインC　２８秒 |
| 11 | サインD　１３秒 |
| 12 | サインE　６秒 |
| 13 | サインF　２秒 |
| 14 | サインG　３秒 |
| 15 | サインH　１秒 |

### 録音レベルの調節

メッセージ録音や自作チャイム録音のとき、ＣＤラジカセなどからのダビング録音や、ミキシング録音をするときは、あらかじめ録音レベルを調節してください。

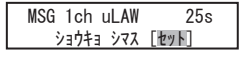
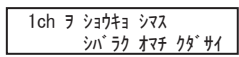
・下記の、「レベル計の見方」に示した適正範囲に入るように、ＣＤラジカセなどのボリュームを調節してください。入力オーバーになると、オーバー表示がでます。

### 音質設定と録音時間について

メッセージ・音楽・自作チャイムの合計録音時間は、音源の音質設定によって、次のような目安になります。

| 音質設定 | 録音時間の目安 |
|---|---|
| 標準（μ LAW） | 約 60 分 |
| 高音質 1（PCM1） | 約 30 分 |
| 高音質 2（PCM2） | 約 15 分 |

音質の設定については、「本体装置の設定　4. 音質の設定」（14 ページ）を参照してください。

### ワンポイント

●マイクと CD ラジカセなどを接続すると、両方の音をミキシング録音できます。

●ＣＤラジカセなどからのダビング録音をしているときは、スピーカまたはイヤホンから、同時にモニターができます。

● マイクは市販のマイクをご使用ください。
マイク、テープジャックの規格は「主な仕様」（160 ページ）を参照してください。

# 1．メッセージの録音・再生・消去

## ■ メッセージの録音のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ

2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ

2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、録音するチャンネルを選ぶ
＊選択したチャンネルに、データ入力ソフトのメッセージ登録で「装置表示名」が登録されていると、その名前を表示します。

**4** セット を押す
＊［ｻｲｾｲ］［ﾛｸｵﾝ］［ｼｮｳｷｮ］の選択画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、［ﾛｸｵﾝ･uLAW］を選ぶ
＊［ﾛｸｵﾝ･uLAW］は、音質設定が標準の場合の表示例です。高音質1および高音質2の場合は、それぞれ［ﾛｸｵﾝ･PCM1］、［ﾛｸｵﾝ･PCM2］と表示します。

音質設定

**5** セット を押す
＊下段に録音レベルが表示されます。テープレコーダから録音のときは、レベル調整をします。

セット を押す
＊録音を開始します。録音時間が表示されます。

MSG 1ch uLAW 5s

終了 を押すと、録音が終わります。
＊チャンネルの選択画面に戻ります。
＊続けて録音するときは、チャンネルを選択して手順4～5を繰り返します。

MSG 1ch uLAW 25s
[********* ]

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊1回押すごとに、前画面に戻ります。

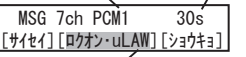
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

## ■ 録音済みのチャンネルへ録音するには

1．手順5で、そのチャンネルが録音済みのときは、次の表示となります。

MSG 1ch uLAW 25s
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]

2．セット を押すと、そのチャンネルを消去します。

1ch ｦ ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ

3．消去が終わったら、再度、手順5から操作します。

## ■ ラジカセなどから録音するとき

1．あらかじめラジカセなどへ、メッセージを録音しておきます。
2．手順1から順次操作し、手順5のとき、ラジカセなどを再生し、録音レベルを適正レベル範囲内に調節します。
3．ラジカセなどを再生し、メッセージの冒頭で、録音を開始させます。

### ワンポイント

● 録音のやり直しは最初から行ってください。
● 手順3のとき、選択したチャンネルが定時放送などの放送スケジュールで設定されている場合は、「＊」印が付きます。また、リモート放送で設定されている場合には「＃」印が付きます。

放送スケジュールで設定されたチャンネル

*#MSG 7ch PCM1 30s
[********* ]

リモート放送で設定されたチャンネル

これらのマークの付いたチャンネルは録音がされていることを確認してください。録音がないと、自動放送やリモート放送の操作ができません。
● 手順3～4のとき､録音済のチャンネルを選択すると、次の表示になります。

● 手順5のとき、マイクやラジカセなどが接続されていないときは、「ピツ・ピッ････」と鳴って、約3秒間、次の警告が表示されます。

MSG 1ch uLAW
ﾛｸｵﾝ ﾆｭｳﾘｮｸ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

マイクなどを接続して、やり直してください。
● 手順5のとき、録音を開始する前に メニュー を押すと、押している間、録音可能時間を表示します。

MSG 1ch uLAW
ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ 55m34s

## ■ メッセージの再生のしかた

**1** 待機画面のとき、〔メニュー〕を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊〔メニュー〕を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** 〔セット〕を押す
選択ロータリースイッチで、【2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ】を選ぶ

＊〔セット〕を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** 〔セット〕を押す
選択ロータリースイッチで、再生するチャンネルを選ぶ

＊選択したチャンネルに、データ入力ソフトのメッセージ登録で「装置表示名」が登録されていると、その名前を表示します。

**4** 〔セット〕を押す

＊［ｻｲｾｲ］［ﾛｸｵﾝ］［ｼｮｳｷｮ］の選択画面を表示します。

［ｻｲｾｲ］が選択されていることを確認します。

```
MSG 7ch PCM1     30s
[ｻｲｾｲ][ﾛｸｵﾝ･uLAW][ｼｮｳｷｮ]
```

**5** 〔セット〕を押す

＊再生を開始します。再生時間が表示されます。
＊再生音は、モニター音量ツマミで調節できます。
＊下段に再生レベルが表示されます。
＊再生が終わると、チャンネルの選択画面に戻ります。
＊続けて再生するときは、チャンネルを選択して手順４～５を繰り返します。

```
MSG 7ch  0dB      5s
MSG 7ch PCM1     30s
[*********        ]
```

**6** 〔終了〕を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ワンポイント

● 再生を中止したいときは、〔終了〕を押してください。再生を停止し、チャンネルの選択画面に戻ります。
● チャンネルごとに、放送およびスピーカの音量を調節できます。手順５のメッセージ再生中に、選択ロータリースイッチで行ないます。
・右（＋）方向に回すと、音量が大きくなります。
　最大＋ 10dB まで設定できます。
・左（－）方向に回すと、音量が小さくなります。
　最小－ 20dB まで設定できます。
・オーバー表示にならないように調節してください。

レベル計　MSG 7ch 0dB 5s　レベル表示

## ■ メッセージの消去のしかた

**1** 待機画面のとき、〔メニュー〕を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊〔メニュー〕を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** 〔セット〕を押す
選択ロータリースイッチで、【2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ】を選ぶ

＊〔セット〕を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** 〔セット〕を押す
選択ロータリースイッチで、消去するチャンネルを選ぶ

＊選択したチャンネルに、データ入力ソフトのメッセージ登録で「装置表示名」が登録されていると、その名前を表示します。

**4** 〔セット〕を押す

＊［ｻｲｾｲ］［ﾛｸｵﾝ］［ｼｮｳｷｮ］の選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、［ｼｮｳｷｮ］を選ぶ

```
MSG 7ch PCM1     30s
[ｻｲｾｲ][ﾛｸｵﾝ･uLAW][ｼｮｳｷｮ]
```

**5** 〔セット〕を押す

＊消去の確認画面を表示します。

```
MSG 7ch PCM1     30s
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

〔セット〕を押す

＊消去を開始します。

```
7ch ｦ ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
```

＊消去が終わると、録音可能な残り時間の画面を表示します。

```
ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
uLAW 55m34s
```

＊約３秒後、チャンネルの選択画面に戻ります。
＊続けて消去するときは、チャンネルを選択して手順４～５を繰り返します。

```
MSG 7ch           0s
[*********        ]
```

**6** 〔終了〕を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ワンポイント

● メッセージの「再生」および「消去」で、録音されていないチャンネルを選択した場合は、〔セット〕を押したときに「ピツ・ピッ････」と鳴って、約３秒間、次の画面を表示します。

```
MSG 7ch           0s
ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
```

# 2．チャイムの録音・再生・消去

## ■ 自作チャイムの録音のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
 2007/ 7/ 9 MON
    13:37:30
```
↓
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す

選択ロータリースイッチで、【2-2 ﾁｬｲﾑ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
```
```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```
```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** セット を押す

選択ロータリースイッチで、録音する自作チャイムのチャンネルを選ぶ

＊選択したチャンネルに、データ入力ソフトのチャイム登録で「装置表示名」が登録されていると、その名前を表示します。

**4** セット を押す

＊［ｻｲｾｲ］［ﾛｸｵﾝ］［ｼｮｳｷｮ］の選択画面を表示します。

```
CHM16ch         0s
[ｻｲｾｲ][ﾛｸｵﾝ･uLAW][ｼｮｳｷｮ]
```

選択ロータリースイッチで、［ﾛｸｵﾝ･uLAW］を選ぶ

＊［ﾛｸｵﾝ･uLAW］は、音質設定が標準の場合の表示例です。高音質１および高音質２の場合は、それぞれ［ﾛｸｵﾝ･PCM1］、［ﾛｸｵﾝ･PCM2］と表示します。

```
CHM16ch         0s
[ｻｲｾｲ][ﾛｸｵﾝ･uLAW][ｼｮｳｷｮ]
```
音質設定

**5** セット を押す

＊下段に録音レベルが表示されます。テープレコーダから録音のときは、レベル調整をします。

```
CHM16ch uLAW     [ｾｯﾄ]
```

セット を押す

＊録音を開始します。録音時間が表示されます。

```
CHM16ch uLAW      5s
```

終了 を押すと、録音が終わります。

＊チャンネルの選択画面に戻ります。
＊続けて録音するときは、チャンネルを選択して手順４～５を繰り返します。

```
CHM16ch uLAW     25s
[*********         ]
```

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
 2007/ 7/ 9 MON
    13:38:03
```

**ご注意**

●自作チャイムに単音のチャイムを録音する場合は、音質の設定を高音質で録音してください。「本体装置の設定　4. 音質の設定」（14 ページ）を参照してください。

## ■ 録音済みのチャンネルへ録音するには

1．手順５で、そのチャンネルが録音済みのときは、次の表示となります。

```
CHM16ch uLAW     25s
  ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

2．セット を押すと、そのチャンネルを消去します。

```
16ch ｦ ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ
     ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
```

3．消去が終わったら、再度、手順５から操作します。

## ■ ラジカセなどから録音するとき

1．あらかじめラジカセなどへ、チャイムを録音しておきます。

2．手順１から順次操作し、手順５のとき、ラジカセなどを再生し、録音レベルを適正レベル範囲内に調節します。

3．ラジカセなどを再生し、チャイムの冒頭で、録音を開始させます。

**ワンポイント**

● 録音のやり直しは最初から行ってください。

● 手順３で固定チャイムのチャンネルを選択した状態で、手順５で セット を押すと、「ピツ･ピッ････」と鳴って、約３秒間、次の警告が表示されます。

```
CHM15ch         24s
   ﾛｸｵﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

● 手順３のとき、選択したチャンネルが定時放送などの放送スケジュールで設定されている場合は、「＊」印が付きます。また、リモート放送で設定されている場合には「＃」印が付きます。

これらのマークの付いたチャンネルは録音がされていることを確認してください。録音がないと、自動放送やリモート放送の操作ができません。

● 手順３～４のとき､録音済のチャンネルを選択すると、次の表示になります。

● 手順５のとき、マイクやラジカセなどが接続されていないときは、「ピツ・ピッ････」と鳴って、約３秒間、「ﾛｸｵﾝ ﾆｭｳﾘｮｸ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。
マイクなどを接続して、やり直してください。

● 手順５のとき、録音を開始する前に メニュー を押すと、押している間、録音可能時間を表示します。

```
CHM16ch uLAW
ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ 55m34s
```

## ■ チャイムの再生のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
  13:37:30
```
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【2-2 ﾁｬｲﾑ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
```
```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```
```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、再生するチャンネルを選ぶ

＊選択したチャンネルに、データ入力ソフトのチャイム登録で「装置表示名」が登録されていると、その名前を表示します。

**4** セット を押す

＊［ｻｲｾｲ］［ﾛｸｵﾝ］［ｼｮｳｷｮ］の選択画面を表示します。
［ｻｲｾｲ］が選択されていることを確認します。

```
CHM17ch PCM1     20s
[ｻｲｾｲ][ﾛｸｵﾝ･uLAW][ｼｮｳｷｮ]
```

**5** セット を押す

＊再生を開始します。再生時間が表示されます。
＊再生音は、モニター音量ツマミで調節できます。
＊下段に再生レベルが表示されます。
＊再生が終わると、チャンネルの選択画面に戻ります。
＊続けて再生するときは、チャンネルを選択して手順４～５を繰り返します。

```
CHM17ch   0dB     5s
```
```
CHM17ch PCM1     20s
[*********        ]
```

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
  13:38:03
```

### ワンポイント

● 再生を中止したいときは、終了 を押してください。再生を停止し、チャンネルの選択画面に戻ります。
● チャンネルごとに、放送およびスピーカの音量を調節できます。手順５のチャイム再生中に、選択ロータリースイッチで行ないます。
・右（＋）方向に回すと、音量が大きくなります。
　最大＋ 10dB まで設定できます。
・左（－）方向に回すと、音量が小さくなります。
　最小－ 20dB まで設定できます。
・オーバー表示にならないように調節してください。

レベル計　CHM17ch　0dB　5s　レベル表示

## ■ 自作チャイムの消去のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
  13:37:30
```
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【2-2 ﾁｬｲﾑ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
```
```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```
```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、消去する自作チャイムのチャンネルを選ぶ

＊選択したチャンネルに、データ入力ソフトのチャイム登録で「装置表示名」が登録されていると、その名前を表示します。

チャンネル番号
16 ～ 30 チャンネルを選択します。
録音時間

```
CHM17ch PCM1     20s
[*********        ]
```

装置表示名

**4** セット を押す

＊［ｻｲｾｲ］［ﾛｸｵﾝ］［ｼｮｳｷｮ］の選択画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、［ｼｮｳｷｮ］を選ぶ

```
CHM17ch PCM1     20s
[ｻｲｾｲ][ﾛｸｵﾝ･uLAW][ｼｮｳｷｮ]
```

**5** セット を押す

＊消去の確認画面を表示します。

```
CHM17ch PCM1     20s
  ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

セット を押す

＊消去を開始します。

```
17ch ｦ ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ
    ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
```

＊消去が終わると、録音可能な残り時間の画面を表示します。
＊約３秒後、チャンネルの選択画面に戻ります。
＊続けて消去するときは、チャンネルを選択して手順４～５を繰り返します。

```
ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
      uLAW 55m34s
```
```
CHM17ch           0s
[*********        ]
```

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
  13:38:03
```

### ワンポイント

● チャイムの「再生」および「消去」で、録音されていないチャンネルを選択した場合は、セット を押したときに「ピツ・ピッ‥‥」と鳴って、約３秒間、次の画面を表示します。

```
CHM17ch           0s
  ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
```

● チャイムの「消去」で、固定チャイムを選択した場合は「ピツ・ピッ‥‥」と鳴って、約３秒間「ｼｮｳｷｮ ﾃﾞｷﾏｾﾝ」と表示します。

# 3．外部チャイム、外部 BGM の再生

## ■ 外部チャイムの再生のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
   13:37:30
```

```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```

```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```

```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【2-3 ｶﾞｲﾌﾞ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
```

```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** セット を押す

＊CHM/BGM の選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、CHM（チャイム）を選ぶ

＊「装置表示名」は固定です。
＊表示時間は、装置設定で登録した「外部チャイムの継続時間」です。

**4** セット を押す

＊装置設定で登録した「外部チャイムの起動時間」を表示し、起動待ちになります。

```
CHM EXT
  ｷﾄﾞｳ ｼﾞｶﾝ  5s [ｾｯﾄ]
```

セット を押す

＊起動時間のカウントダウンのあと、外部チャイムの再生が始まります。（放送はされません。）
＊再生音は、モニター音量ツマミで調節できます。
＊下段に再生レベルが表示されます。
＊再生が終わると、CHM/BGM の選択画面に戻ります。

```
CHM EXT............5s
```

```
CHM EXT          25s
[ｶﾞｲﾌﾞ ﾁｬｲﾑ        ]
```

**5** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
   13:38:03
```

## ■ 外部 BGM の再生のしかた（一般用のみ）

学校用でお使いのときは、BGM 放送の機能はありません。

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
   13:37:30
```

```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```

```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```

```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【2-3 ｶﾞｲﾌﾞ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
```

```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** セット を押す

＊CHM/BGM の選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、BGM（外部 BGM）を選ぶ

＊「装置表示名」は固定です。

```
BGM EXT
[ｶﾞｲﾌﾞ BGM         ]
```

装置表示名

**4** セット を押す

＊装置設定で登録した「BGM の起動時間」を表示し、起動待ちになります。

```
BGM EXT
  ｷﾄﾞｳ ｼﾞｶﾝ  5s [ｾｯﾄ]
```

セット を押す

＊起動時間のカウントダウンのあと、外部 BGM の再生が始まります。（放送はされません。）
＊再生音は、モニター音量ツマミで調節できます。
＊下段に再生レベルが表示されます。

```
BGM EXT............5s
```

**5** 外部 BGM の再生を終わるときは、終了 を押す。

＊CHM/BGM の選択画面に戻ります。

```
BGM EXT
[ｶﾞｲﾌﾞ BGM         ]
```

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
   13:38:03
```

### ワンポイント

● 再生を中止したいときは、終了 を押してください。再生を停止し、CHM/BGM の選択画面に戻ります。
● 学校用でお使いのときは、手順３で次の表示となり、CHM/BGM の選択はできません。

```
CHM EXT          25s
[ｶﾞｲﾌﾞ ﾁｬｲﾑ        ]
```

セット を押すか、選択ロータリースイッチを右に回して、手順４の起動待ちに進みます。

## 4．録音可能時間の確認

メッセージおよび自作チャイムの録音可能な残り時間を確認できます。

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```

```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```

```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```

```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
```

```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** セット を押す

＊現在の音質設定の状態と録音可能時間を表示します。

＊音質設定によって、録音可能時間は異なります。

録音可能時間

```
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
    uLAW  52m58s
```

音質設定：標準

録音可能時間

```
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
    PCM1  26m29s
```

音質設定：高音質 1

録音可能時間

```
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
    PCM2  13m15s
```

音質設定：高音質２

**4** 録音可能時間の確認を終わるときは、終了 を押す。

＊【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー選択画面に戻ります。

```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```

**5** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

## 5．音源の全消去

録音されている全てのメッセージおよび自作チャイムを消去することができます。

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ｵﾝｹﾞﾝ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```

```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```

```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```

```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 ﾒｯｾｰｼﾞ
2-2 ﾁｬｲﾑ
```

```
2-3 ｶﾞｲﾌﾞ
2-4 ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
```

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**3** セット を押す

＊音源全て消去の確認画面を表示します。

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
  ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

セット を押す

＊消去を開始します。

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
I████████████████████I
```

＊消去が終わると、録音可能な残り時間の画面を表示します。

```
ﾛｸｵﾝ ｶﾉｳ ｼﾞｶﾝ
    uLAW 60m00s
```

＊約３秒後、【ｵﾝｹﾞﾝ】のメニュー選択画面に戻ります。

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
```

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

**ワンポイント**

● 手順３で セット を押したとき、本体装置に音源が無いときは、「ピツ・ピッ・・・・」と鳴って、約３秒間、次の画面を表示します。

```
2-5 ｵﾝｹﾞﾝ ｽﾍﾞﾃ ｼｮｳｷｮ
  ｵﾝｹﾞﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
```

# スケジュールの確認／変更

年間スケジュールの確認・変更、本日スケジュールの確認、放送スケジュールの繰上げ・繰下げ、および放送の休止の設定などができます。なお、変更したスケジュールは、その日のみ有効です。

## 1．年間スケジュールの確認と変更

年月日を指定して、スケジュール（日課パターン）の確認と変更ができます。

### ■ 確認のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す

選択ロータリースイッチで、【1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー画面を表示します。

```
1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
1-4 ｷｭｳｼ
1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ
```

**3** セット を押す

＊本日の日付と日課パターン番号を表示し、パターン名が確認できます。

日課パターン番号

```
2007/ 7/ 9 MON  PT 1
[*********       ]
```

パターン名

**●他の日のスケジュール確認**

《年の選択》

選択ロータリースイッチで、確認したい「年」を選ぶ

```
2008/ 7/ 9 WED  PT 2
[*********       ]
```

《月の選択》

セット を押して「月」を選び、選択ロータリースイッチで、確認したい「月」を選ぶ

```
2008/ 8/ 9 SAT  PT 0
[*********       ]
```

《日の選択》

セット を押して「日」を選び、選択ロータリースイッチで、確認したい「日」を選ぶ

＊選択した日付の日課パターン番号が表示され、スケジュールが確認できます。

```
2008/ 8/28 THU  PT 1
[*********       ]
```

終了 を押すと、「年」の選択画面になります。

```
2008/ 8/28 THU  PT 1
[*********       ]
```

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ■ 年間スケジュールを変更するには

**1** スケジュールの確認の手順３で変更したい年月日を選んだあと、セット を押して「PT（パターン）」を選択する

```
2008/ 8/28 THU  PT 1
[ﾂｳｼﾞｮｳｷﾞｮｳﾑ       ]
```

**2** 選択ロータリースイッチで、変更する日課パターン番号を選択する

＊日課パターン番号は、登録のある番号を表示します。

＊表示例は、「2008 年８月 28 日木曜日」を「パターン１（通常業務）」のスケジュールから、「パターン０（放送休止）」に変更した例です。

```
2008/ 8/28 THU  PT 0
[ﾎｳｿｳｷｭｳｼ         ]
```

セット を押す

＊「年」の選択画面になります。

```
2008/ 8/28 THU  PT 0
[ﾎｳｿｳｷｭｳｼ         ]
```

**3** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

**ワンポイント**

● 登録したスケジュールの有効期間は、登録した年を含め最大 10 年です。

（例１）2014/1/1 に登録した場合

⇒ 有効期限：2023/12/31

**（有効期間：10 年）**

（例２）2014/10/1 に登録した場合

⇒ 有効期限：2023/12/31

**（有効期間：９年と 92 日）**

そのため、**有効期間内にスケジュールを再登録してください。**

● 年月日の選択範囲は次のとおりです。

年：スケジュールデータを作成した年から 10 年

月：１月～ 12 月

日：１日～ 31 日（年月に対応した最大日）

## 2．本日スケジュールの確認

本日のスケジュール（定時放送のステップなど）を確認することができます。ただし、放送時刻などの変更はできません。

**1** 待機画面のとき、［ﾒﾆｭｰ］を押し、選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊［ﾒﾆｭｰ］を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
   13:37:30
```
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** ［ｾｯﾄ］を押す
選択ロータリースイッチで、【1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊［ｾｯﾄ］を押したとき【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー画面を表示します。

```
1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
```
```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
1-4 ｷｭｳｼ
```
```
1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ
```

**3** ［ｾｯﾄ］を押す

＊本日の日付と日課パターン番号を表示します。

日課パターン番号

```
2007/ 7/ 9 MON  PT 1
[*********        ]
```

パターン名

［ｾｯﾄ］を押す、または選択ロータリースイッチを右（＋）方向に回す

＊［ﾃｲｼﾞ］［ｶﾝｶｸ］［BGM］の選択画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON  PT 1
 [ﾃｲｼﾞ][ｶﾝｶｸ][BGM]
```

● **定時放送の内容確認**

選択ロータリースイッチで、［ﾃｲｼﾞ］を選んで、［ｾｯﾄ］を押す

＊次に放送されるステップが表示されます。
＊選択ロータリースイッチで、登録されている全てのステップが確認できます。

放送ステップ　放送時刻

```
[ﾃｲｼﾞ] STEP 7    12:00
   CHM 2, MSG 4(1)
```

チャイムチャンネル　メッセージチャンネル（送出回数）

● **間隔放送の内容確認**

選択ロータリースイッチで、［ｶﾝｶｸ］を選んで、［ｾｯﾄ］を押す

＊間隔放送の内容が表示されます。

放送時間　間隔時間

```
[ｶﾝｶｸ]  9:00 ~ 19:00 30m
MSG 25-26-30-34-35-18
```

放送チャンネル

● **BGM 放送の内容確認**

選択ロータリースイッチで、［BGM］を選んで、［ｾｯﾄ］を押す

＊次に放送される BGM のステップが表示されます。
＊選択ロータリースイッチで、登録されている全ての BGM ステップが確認できます。

［終了］を押すと、［ﾃｲｼﾞ］［ｶﾝｶｸ］［BGM］の選択画面になります。

```
2007/ 7/ 9 MON  PT 1
 [ﾃｲｼﾞ][ｶﾝｶｸ][BGM]
```

**4** ［終了］を、必要回数押して待機画面に戻す

＊1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
   13:38:03
```

●**定時放送の内容画面例**

《チャイム放送なし／メッセージ放送有り》の場合

```
[ﾃｲｼﾞ] STEP 6   10:00
   CHM--, MSG 9(1)
```

《チャイム放送有り、メッセージ放送なし》の場合

```
[ﾃｲｼﾞ] STEP 4    8:40
   CHM 1, MSG--(-)
```

《連結放送》の場合

```
[ﾃｲｼﾞ] STEP 3 ﾚﾝｹﾂﾎｳｿｳ
   CHM 3, MSG--(-)
```

《時報》の場合

```
[ﾃｲｼﾞ] STEP13   18:00
       ｼﾞﾎｳ
```

※「装置設定　時刻の最小単位」（74 ページ）が「秒」に設定されている場合は、放送時刻は「時／分／秒」で表示します。
（学校用でお使いのときは、「秒」の設定はできません。）

### ワンポイント

● 本日が、放送休止のときは、手順３で［ｾｯﾄ］を押したとき、次の画面を表示します。

```
2007/ 7/14 SAT  PT 0
[ﾎｳｿｳｷｭｳｼ          ]
```

● 手順３で、本日の放送が全て終了している場合は、「ピッ・ピッ ･･･」と鳴って、次の画面を表示します。

《定時放送の場合》

```
ﾎﾝｼﾞﾂ ﾉ ﾃｲｼﾞﾎｳｿｳ ﾊ
        ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ
```

《間隔放送の場合》

```
ﾎﾝｼﾞﾂ ﾉ ｶﾝｶｸﾎｳｿｳ ﾊ
        ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ
```

《BGM 放送の場合》

```
ﾎﾝｼﾞﾂ ﾉ BGMﾎｳｿｳ ﾊ
        ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ
```

選択ロータリースイッチで、各スケジュールの確認ができます。

● 確認中に日替わりしたときは､「ピッ･ピッ ･･･」と鳴って、約３秒間、次の画面を表示します。

```
1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
   ﾋﾆﾁ ｶﾞ ｶﾜﾘﾏｼﾀ
```

● 学校用でお使いのときは、［ｶﾝｶｸ］（間隔放送）および［BGM］（ＢＧＭ放送）は表示されません。

## 3．スケジュールの繰上げ／繰下げ

定時放送などの放送時刻を、一斉に繰上げたり繰下げたりすることができます。繰上げ／繰下げは、年月日を指定して、繰上げ／繰下げを開始する時刻および、繰上げ／繰下げの時間を登録します。

### ■ 登録のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```

```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```

```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```

```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【1-3 ｸﾘｱｹﾞ／ｸﾘｻｹﾞ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー画面を表示します。

```
1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
```

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
1-4 ｷｭｳｼ
```

```
1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ
```

**3** セット を押す

＊繰上げ／繰下げの登録画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、ステップを選ぶ

＊新規に登録するときは、未入力 “--” のステップを選びます。
＊変更するときは該当のステップを選びます。

ステップ
```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   ----/--/-- --:--  --m
```

セット を押して、選択ロータリースイッチで、繰上げ／繰下げをする「年」を選ぶ

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   2007/--/-- --:--  --m
```

同様に「月」「日」、繰上げ／繰下げを開始する「時」「分」、繰上げ／繰下げの時間を登録する

＊繰上げ：時間を “－” で設定します。
＊繰下げ：時間を “＋” で設定します。
＊繰上げ／繰下げの時間は、1 分単位でそれぞれ最大 60 分まで設定できます。

繰上げ時間
```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   2007/ 7/ 9  8:00 -10m
```
年月日　繰上げ／繰下げ開始時刻
```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   2007/ 7/ 9  8:00 +10m
```
繰下げ時間

繰上げ／繰下げの時間を選んで セット を押すと次のステップの登録画面になります。

＊続けて登録するときは、手順 3 を繰り返します。
＊繰上げ／繰下げの登録は、10 ステップまで登録できます。

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 2
   ----/--/-- --:--  --m
```

終了 を押すと、【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー選択画面になります。

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
1-4 ｷｭｳｼ
```

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ■ 削除のしかた

**1** 登録のしかたの手順 3 で、セット を押したとき、登録済のステップを表示します。
選択ロータリースイッチで、削除するステップを選ぶ

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   2007/ 7/ 9  8:00 -10m
```

**2** セット を押して、「年」を選択する

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   2007/ 7/ 9  8:00 -10m
```

**3** 選択ロータリースイッチを、左（－）に回して「年」を “－－－－” の表示にする

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   ----/ 7/ 9  8:00 -10m
```

**4** セット を押すと、全ての項目が “－－” となり、そのステップが削除されます。

＊続けて削除するときは、手順 1 ～ 4 を繰り返します。

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ   STEP 1
   ----/--/-- --:--  --m
```

### ■ 繰上げ／繰下げを設定すると

繰上げ／繰下げを設定した日の日課パターンには、スケジュールの確認をしたときに、パターン番号の前にマークが付きます。

スケジュール変更マーク
```
2007/ 7/ 9 MON ▸PT 1
[*********        ]
```

また、「本日スケジュールの確認」では、定時放送・間隔放送・BGM 放送の時刻は、繰上げ／繰下げされた時刻に変更されています。

**ワンポイント**

● USB メモリなどにより、新たにスケジュールデータを読み込んだ場合は、登録されている繰上げ／繰下げデータは、すべて消去されます。

●「装置設定　時刻の最小単位」（74 ページ）を「秒」でご使用の場合は、繰上げ／繰下げはできません。「ピツ・ピッ････」と鳴って、約 3 秒間、次の表示となります。

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
     ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

※ 学校用でお使いのときは、「装置設定　時刻の最小単位」（114 ページ）は使用できません。

●繰上げ登録をした場合、繰上げ時間内の設定はすべてスキップされます。32 ページの「繰上げ登録時のスケジュール例」を参照してください。

## 4．放送の休止

定時放送などの放送を休止することができます。休止は、年月日を指定して、休止を開始する時刻を登録します。

### ■ 登録のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```
```
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
```
```
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
```
```
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【1-4 ｷｭｳｼ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー画面を表示します。

```
1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
```
```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
1-4 ｷｭｳｼ
```
```
1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ
```

**3** セット を押す
＊放送休止の登録画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、ステップを選ぶ
＊新規に登録するときは、未入力 “--” のステップを選びます。
＊変更するときは該当のステップを選びます。

ステップ
```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 1
 ----/--/-- --:--
```

セット を押して、選択ロータリースイッチで、放送休止をする「年」を選ぶ

```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 1
 2007/--/-- --:--
```

同様に「月」「日」、放送休止を開始する「時」「分」を登録する

```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 1
 2007/ 7/ 9 12:00
```
年月日　放送休止開始時刻

放送休止の開始時間を選んで セット を押すと次のステップの登録画面になります。
＊続けて登録するときは、手順３を繰り返します。
＊放送休止の登録は、10 ステップまで登録できます。

```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 2
 ----/--/-- --:--
```

終了 を押すと、【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー選択画面になります。

```
1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
1-4 ｷｭｳｼ
```

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ■ 削除のしかた

**1** 登録のしかたの手順３で、セット を押したとき、登録済のステップを表示します。
選択ロータリースイッチで、削除するステップを選ぶ

```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 1
 2007/ 7/ 9 12:00
```

**2** セット を押して、「年」を選択する

```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 1
 2007/ 7/ 9 12:00
```

**3** 選択ロータリースイッチを、左（－）に回して「年」を “－－－－” の表示にする

```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 1
 ----/ 7/ 9 12:00
```

**4** セット を押すと、全ての項目が “－－” となり、そのステップが削除されます。
＊続けて削除するときは、手順１～４を繰り返します。

```
1-4 ｷｭｳｼ          STEP 1
 ----/--/-- --:--
```

### ■ 放送の休止を設定すると

放送の休止を設定した日の日課パターンには、スケジュールの確認をしたときに、パターン番号の前にマークが付きます。

スケジュール変更マーク
```
2007/ 7/ 9 MON ▸PT 1
[*********        ]
```

また、「本日スケジュールの確認」では、定時放送／間隔放送／BGM 放送の、休止設定時刻以後のスケジュールは表示されません。

**●放送休止の時刻になると**

自動放送セット中に放送休止に設定した時刻になると、【ﾎﾝｼﾞﾂｽｹｼﾞｭｰﾙ ｼｭｳﾘｮｳ】と表示されます。

● USB メモリなどにより、新たにスケジュールデータを読み込んだ場合は、登録されている放送休止データは、すべて消去されます。

## 5．スケジュールファイルの表示

本体装置に読み込まれているスケジュールファイルの「スケジュール名」と「作成日時」が確認できます。

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ】を選ぶ

＊セット を押したとき【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー画面を表示します。

1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
1-2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ

1-3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
1-4 ｷｭｳｼ

1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ

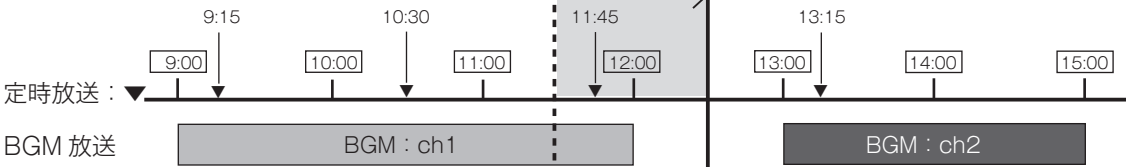
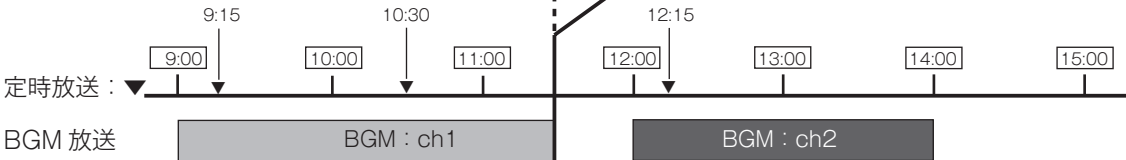
**3** セット を押す
＊スケジュールファイルの情報を表示します。

スケジュール名
Name:*********
Date:2007/ 7/ 9  10:45
作成年月日・時刻

終了 を押すと、【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】のメニュー選択画面になります。

1-5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ

**4** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊1回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

## 6．スケジュールの変更について

放送スケジュールを書き換えたり臨時で年間スケジュールなどを変更した場合、各々のスケジュールは次のように変更されます。

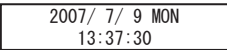
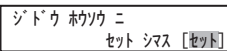
### ■ スケジュールの種類

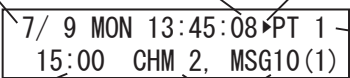
本システムで運用するスケジュールには、年間を通して動作する［通年スケジュール］と、臨時に変更して動作する［臨時スケジュール］の２種類があります。
また、[臨時スケジュール] には [本日スケジュール] [繰上げ･繰下げ／休止] および [年間スケジュール] の３つのスケジュールがあります。

| 種類 | 通年スケジュール | 臨時スケジュール | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本日スケジュール | 繰上げ・繰下げ／休止 | 年間スケジュール |
| 内容 | 年間を通じて動作する、自動放送の基本となるスケジュールです。 | 本日のみに適用される臨時スケジュールです。 | 指定した日付に適用される臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。 | 日付を指定して日課パターン番号を変更した臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。 |
| 本体装置への書き込み方法 | データ入力ソフト（装置用データ作成）で作成し、USB メモリから書き込み、または LAN 経由で制御用パソコンから書き込みます。 | データ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN 経由で本体装置に転送します。 | 本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN 経由で本体装置に転送します。 | 本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN 経由で本体装置に転送します。 |

### ■ スケジュールの変更状態

通年スケジュールを新しく書き込んだり、臨時スケジュールを書き込んだ場合、本体装置のスケジュールは次のようになります。

| 変更方法 | 変更するスケジュールの種類 | 本体装置のスケジュール | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 通年スケジュール | 臨時スケジュール | | |
| | | | 本日スケジュール | 繰上げ・繰下げ／休止 | 年間スケジュール |
| USB メモリから本体装置に書き込み | 通年スケジュール | 書き込んだスケジュールに変更されます。 | 消去されます。 | 消去されます。 | 消去されます。 |
| 制御用パソコンから LAN 経由で転送 | 通年スケジュール | 書き込んだスケジュールに変更されます。 | 消去されます。 | 消去されます。 | 消去されます。 |
| | 本日スケジュール | 変更されません。 | 転送したスケジュールに変更されます。 | 本日分のスケジュールが消去されます。 | 変更されません。 |
| | 繰上げ・繰下げ／休止 | 変更されません。 | 変更されません。 | 転送したスケジュールに変更されます。 | 変更されません。 |
| | 年間スケジュール（本日以外） | 転送したスケジュールに変更されます。（10 年分） | 変更されません。 | 変更されません。 | 転送したスケジュールに変更されます。 |
| | 年間スケジュール（本日分） | 転送したスケジュールに変更されます。（10 年分） | 転送した日課パターンのスケジュールに変更されます。 | 本日分のスケジュールが消去されます。 | 転送したスケジュールに変更されます。 |
| 本体装置で変更操作 | 繰上げ・繰下げ／休止 | 変更されません。 | 変更されません。 | 変更したスケジュールになります。 | 変更されません。 |
| | 年間スケジュール（本日以外） | 変更されません。 | 変更されません。 | 変更されません。 | 変更したスケジュールになります。 |
| | 年間スケジュール（本日分） | 変更されません。 | 変更した日課パターンのスケジュールになります。 | 変更されません。 | 変更したスケジュールになります。 |

# 放送

## 1．自動放送

自動放送をセットしておけば、登録されたスケジュールに従って、自動放送します。

### ■ 自動放送のセット／解除

#### ●自動放送のセット

**1** 待機画面のとき、自動放送 を押す

＊自動放送セットの確認画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
```
↓
```
ｼﾞﾄﾞｳ ﾎｳｿｳ ﾆ
セット シマス [セット]
```

**2** セット を押す

＊自動放送ランプが点灯し、自動放送がセットされます。

```
7/ 9 MON 13:45:08 PT 1
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```

#### 自動放送中の画面

現在の「月日・曜日・時刻」

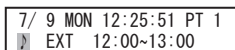
時刻表示は“秒”がカウントしています。

スケジュール変更マーク

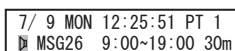
```
7/ 9 MON 13:45:08▸PT 1
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```

放送中の日課パターン番号

次の放送時刻

次の放送内容

◆現在の「月日・曜日・時刻」

この現在時刻に従って、自動放送します。時刻は 24 時間制で表示します。（表示例：７月９日、月曜日、午後１時 45 分８秒）

◆放送中の日課パターン番号

現在、放送中の日課パターン番号を表示します。（表示例：日課パターン１で放送中を表します）

◇ＢＧＭ放送中は、次の表示となり、左端に「♪」が点滅します。

```
7/ 9 MON 12:25:51 PT 1
♪ EXT  12:00~13:00
```

＊BGM 放送中に、定時放送／間隔放送があると、放送の間その画面を表示します。

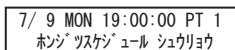
◇間隔放送が設定されていると、画面は次の表示となり、放送時間になると左端の「◁□」が点滅します。

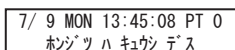
```
7/ 9 MON 12:25:51 PT 1
◁ MSG26  9:00~19:00 30m
```

＊間隔放送の設定時間内に、定時放送／ BGM 放送があると、放送の間その画面を表示します。

◆次に放送する内容

次の放送時刻に放送する内容を表示します。

CHM：チャイムのチャンネル

MSG：メッセージのチャンネル（送出回数）

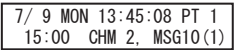
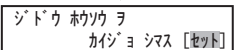
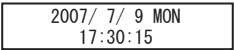
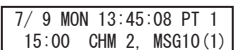
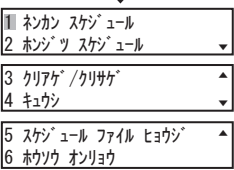
◆スケジュール変更マーク

繰上げ・繰下げなどでスケジュールが変更されているときにマークが付きます。

◆その他の画面

◇本日の放送が終了したとき

```
7/ 9 MON 19:00:00 PT 1
ﾎﾝｼﾞﾂｽｹｼﾞｭｰﾙ ｼｭｳﾘｮｳ
```

◇本日の日課パターンが「放送休止」のとき

```
7/ 9 MON 13:45:08 PT 0
ﾎﾝｼﾞﾂ ﾊ ｷｭｳｼ ﾃﾞｽ
```

#### ●自動放送の解除

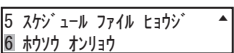
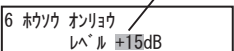
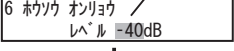
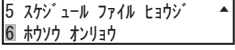
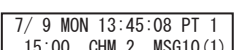
**1** 自動放送中に、自動放送 を押す

＊自動放送解除の確認画面を表示します。

```
7/ 9 MON 13:45:08 PT 1
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```
↓
```
ｼﾞﾄﾞｳ ﾎｳｿｳ ｦ
ｶｲｼﾞｮ ｼﾏｽ [セット]
```

**2** セット を押す

＊自動放送ランプが消灯し、自動放送が解除され待機画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
17:30:15
```

### ■ 自動放送中にできること

自動放送がセット中でも、「スケジュールの確認／変更」と同じ操作で、「年間スケジュール」「本日スケジュール」「スケジュールの繰上げ／繰下げ」「放送の休止」「スケジュールファイルの表示」の内容確認ができます。ただし、スケジュールの変更はできません。

また、放送音量を調節することもできます。

**1** 自動放送中に、メニュー を押す

＊メニュー を押したとき、【1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ】【2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ】【3 ｸﾘｱｹﾞ / ｸﾘｻｹﾞ】【4 ｷｭｳｼ】【5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ】【6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ】の選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、確認項目を選ぶ

＊以下の操作は、【6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ】を除き「スケジュールの確認／変更」と同じです。

```
7/ 9 MON 13:45:08 PT 1
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```
↓
```
1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ﾎﾝｼﾞﾂ ｽｹｼﾞｭｰﾙ
```
```
3 ｸﾘｱｹﾞ/ｸﾘｻｹﾞ
4 ｷｭｳｼ
```
```
5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ
6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
```

#### ●放送音量の調節

**2** 選択ロータリースイッチで、【6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ】を選び、セット を押す

＊「ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ」の設定画面になります。

選択ロータリースイッチで、「音量レベル」を選び セット を押す

＊右（＋）方向に回すと、音量レベルが大きくなります。最大＋ 15dB まで設定できます。

＊左（－）方向に回すと、音量レベルが小さくなります。最小－ 40dB まで設定できます。

＊「ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ」の設定が終わると、メニュー選択画面になります。

```
5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ
6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
```
```
6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
   ﾚﾍﾞﾙ  0dB
```
最大音量
```
6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
   ﾚﾍﾞﾙ +15dB
```
最小音量
```
6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
   ﾚﾍﾞﾙ -40dB
```
↓
```
5 ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾌｧｲﾙ ﾋｮｳｼﾞ
6 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
```

**3** 終了 を押すと、自動放送画面に戻ります。

```
7/ 9 MON 13:45:08 PT 1
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```

## ■ 自動放送のセットができないときは

次のようなときは、「ピッ・ピッ・・・」と鳴って、自動放送のセットができません。

●スケジュールデータがないとき

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾃﾞｰﾀ ｦ
          ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

データを確認してください。

●スケジュールで指定されたメッセージおよび自作チャイムが、録音されていないとき

```
ﾁｬｲﾑ ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
 ch 25,26
```

```
ﾒｯｾｰｼﾞ ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
 ch  1, 2,10,18,20,30
```

＊表示が複数画面あるときは、順次表示されます。

表示されるチャンネルを、全て録音してください。

## ■ 自動放送の優先順位について

定時放送が一番優先順位が高く、次に間隔放送、BGM 放送の順に放送されます。
例えば、BGM 放送中に、定時放送の時刻になると、BGM 放送を中断して定時放送に切り替わります。

### ワンポイント

● 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。（右に回すと大きく、左に回すと小さくなります）
● アナキーパー機能を使用すると、BGM 放送中に間隔放送や定時放送があった場合、BGM の音量を小さく残したまま放送することができます。ただし､外部チャイムを使用する場合は、アナキーパー機能を使用することはできません。
● 定時放送中に次の定時放送が始まったときは、前の放送を中止して新しい放送を行ないます。
● 自動放送セット中に、放送休止に設定された時刻になると、【ﾎﾝｼﾞﾂｽｹｼﾞｭｰﾙ ｼｭｳﾘｮｳ】と表示して、定時放送／間隔放送／ BGM 放送を終了します。

※学校用でご使用の場合は、間隔放送、BGM 放送の機能はありません。

## 2．手動放送

自動放送セット中や待機中に、チャイムやメッセージを、任意に放送することができます。

### ■ チャイムの手動放送

**1** 自動放送セット中や待機画面のとき、手動放送の [チャイム] を押す

＊チャイムのチャンネル選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、放送するチャイムのチャンネルを選ぶ

＊チャイムは、固定チャイムと、録音されている自作チャイムおよび外部チャイムが選択できます。

```
7/ 9 MON 13:45:08 PT 1
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```
↓
```
CHM 1ch PCM1      28s
[ｳｴｽﾄﾐﾝｽﾀｰﾉｶﾈ 28s  ]
```

外部チャイムの場合
```
CHM EXT           25s
[ｶﾞｲﾌﾞ ﾁｬｲﾑ        ]
```

**2** [セット] を押す

＊手動チャイム放送の確認画面を表示します。

```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾁｬｲﾑﾎｳｿｳ >
     CHM 1ch [ｾｯﾄ]
```
```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾁｬｲﾑﾎｳｿｳ >
     CHM EXT [ｾｯﾄ]
```
外部チャイムの場合

[セット] を押す

＊チャイム放送を開始します。
＊放送が終わると、元の画面に戻ります。

```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾁｬｲﾑﾎｳｿｳ >
     CHM 1ch
```
放送中の画面

#### ●手動放送を途中で止めるには

**1** 放送中に [終了] を押す

＊手動放送終了の確認画面を表示します。

```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾁｬｲﾑﾎｳｿｳ >
ﾎｳｿｳ ｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

**2** [セット] を押す

＊手動放送を中止して、元の画面に戻ります。

#### ●放送音量を変えるには

**1** 放送中に [ﾒﾆｭｰ] を押す

＊「ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ」の設定画面になります。

選択ロータリースイッチで、「音量レベル」を選び [セット] を押す

＊放送中の画面になります。

```
ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
    ﾚﾍﾞﾙ   0dB
```

### ■ メッセージの手動放送

**1** 自動放送セット中や待機画面のとき、手動放送の [ﾒｯｾｰｼﾞ] を押す

＊メッセージのチャンネル選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、放送するメッセージのチャンネルを選ぶ

＊録音されているメッセージのチャンネルと外部 BGM が選択できます。

```
7/ 9 MON 13:45:08 PT 1
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```
↓
```
MSG 1ch uLAW      30s
[*********         ]
```

外部 BGM の場合
```
BGM EXT
[ｶﾞｲﾌﾞ BGM         ]
```

**2** [セット] を押す

＊手動メッセージ放送の確認画面を表示します。

```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾒｯｾｰｼﾞ ﾎｳｿｳ >
     MSG 1ch [ｾｯﾄ]
```
```
< ｼｭﾄﾞｳ BGMﾎｳｿｳ >
     BGM EXT [ｾｯﾄ]
```
外部 BGM の場合

[セット] を押す

＊メッセージ放送を開始します。
＊放送が終わると、元の画面に戻ります。
＊外部 BGM 放送の場合は、[終了] を押すと、元の画面に戻ります。

```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾒｯｾｰｼﾞ ﾎｳｿｳ >
     MSG 1ch
```
放送中の画面

#### ●手動放送を途中で止めるには

**1** 放送中に [終了] を押す

＊手動放送終了の確認画面を表示します。

```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾒｯｾｰｼﾞ ﾎｳｿｳ >
ﾎｳｿｳ ｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

**2** [セット] を押す

＊手動放送を中止して、元の画面に戻ります。

#### ●放送音量を変えるには

左記、チャイムの手動放送と同じです。

### ■ 手動放送の優先順位について

手動放送は、自動放送より優先順位が高く、自動放送中であっても、その自動放送を中断して、手動放送に切り替わります。

**ワンポイント**

- 「アナキーパー機能を使用する」に設定した場合は、手動放送で外部チャイムは選択できません。（手順 1 で、表示されません。）
- 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。（右に回すと大きく、左に回すと小さくなります）

**ワンポイント**

- 自動放送セット中は、手動放送で外部 BGM は選択できません。（手順 1 で、表示されません。）
- 手順 1 で [セット] を押したとき、メッセージが 1 つも録音されていないときは、「ピッ・ピッ …」と鳴って、約 3 秒間、次の表示となります。

```
< ｼｭﾄﾞｳ ﾒｯｾｰｼﾞ ﾎｳｿｳ >
   ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
```

- 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。（右に回すと大きく、左に回すと小さくなります）

## 3．リモート放送

自動放送セット中や待機中に、外部からの起動信号で、チャイムやメッセージを放送することができます。

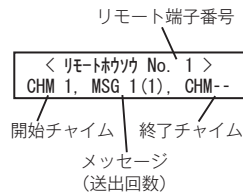
### ■ リモート放送の開始

**1** 次の準備が必要です。

1．リモート起動用の外部機器を接続してください。
※「設置工事　リモート端子の接続、拡張端子の接続」（40 ページ）を参照してください。

2．データ入力ソフトで、リモート放送の使用条件を設定します。
※「データ入力ソフト編　装置設定の登録」（一般用 72 ページ、学校用 114 ページ）を参照してください。

**2** 自動放送中、手動放送中、待機画面のとき、本体装置後面のリモート端子、拡張端子または LAN コネクタへ起動信号が来ると、リモート放送を開始します。

＊リモート放送が終わると、元の画面に戻ります。

#### リモート放送の動作順序

①起動
自動放送中、手動放送中、待機画面のとき、本体装置後面のリモート端子（1 ～ 5）、拡張端子または LAN コネクタへ起動信号が来ると、リモート放送を開始します。

②開始チャイムの放送
開始チャイムのチャンネルが指定されているときは、そのチャンネルのチャイムを放送します。
＊「OFF」に設定されているときは、チャイム放送をせず、③へ進みます。

③メッセージの放送
指定されているメッセージチャンネルの内容を、送出回数で指定された回数、放送します。
＊「OFF」に設定されているときは、メッセージ放送をせず、④へ進みます。

④終了チャイムの放送
終了チャイムのチャンネルが指定されているときは、そのチャンネルのチャイムを放送し、チャイム放送が終わると、自動的にリモート放送を終了します。
＊「OFF」に設定されているときは、チャイム放送をせず、自動的にリモート放送を終了します。

手順 2 の表示例の場合は、次のように放送します。
・リモート端子 1 の起動信号があると、
・開始チャイムとして、1 チャンネルのチャンネルを放送します。
・1 チャンネルのメッセージを 1 回放送します。
・終了チャイムの設定が無いので、リモート放送を終了します。

#### ●リモート放送を途中で止めるには

**1** 放送中に 終了 を押す
＊リモート放送終了の確認画面を表示します。

```
< ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ No. 1 >
ﾎｳｿｳ ｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

**2** セット を押す
＊リモート放送を中止して、元の画面に戻ります。

※拡張端子および LAN コネクタに放送中止信号がきたときは、放送中止の確認を行なわず放送を中止します。

#### ●放送音量を変えるには

前ページ、チャイムの手動放送と同じです。

### ■ リモート放送の優先順位について

リモート放送は、最優先順位で、他の放送中であっても、その放送を中断して、リモート放送に切り替わります。

### ■ リモート放送中の自動放送動作について

自動放送のセット中に、リモート放送の起動があり、そのリモート放送中に、定時放送などの放送時刻が来た場合は、次のように動作します。

【定時放送の時刻になった場合】
その定時放送は放送されません。

【間隔放送の時刻になった場合】
その時点での間隔放送は放送されず、リモート放送終了後の最初の間隔放送時間に放送されます。

【BGM 放送の開始時刻になった場合】
リモート放送終了後から BGM 放送されます。
ただし、アナキーパー機能を使用している場合は、BGM 放送開始時刻からリモート放送のバックで放送が始まります。

※学校用でご使用の場合は、間隔放送、BGM 放送の機能はありません。

#### ワンポイント

● リモート放送端子に起動信号が来たとき、指定されているメッセージが録音されていないときは、「ピッ・ピッ･･･」と鳴って、約 3 秒間、次の表示となります。

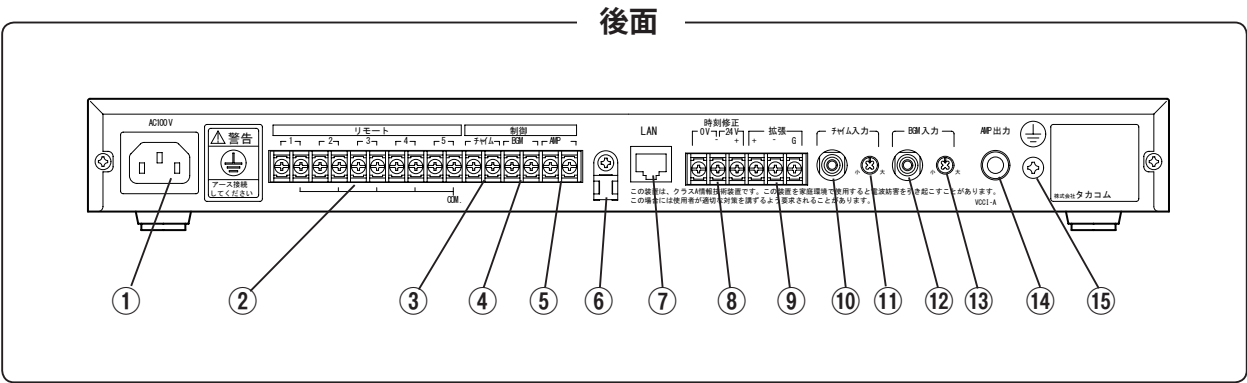
```
< ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ No. 1 >
ﾐﾛｸｵﾝ          MSG 1
```

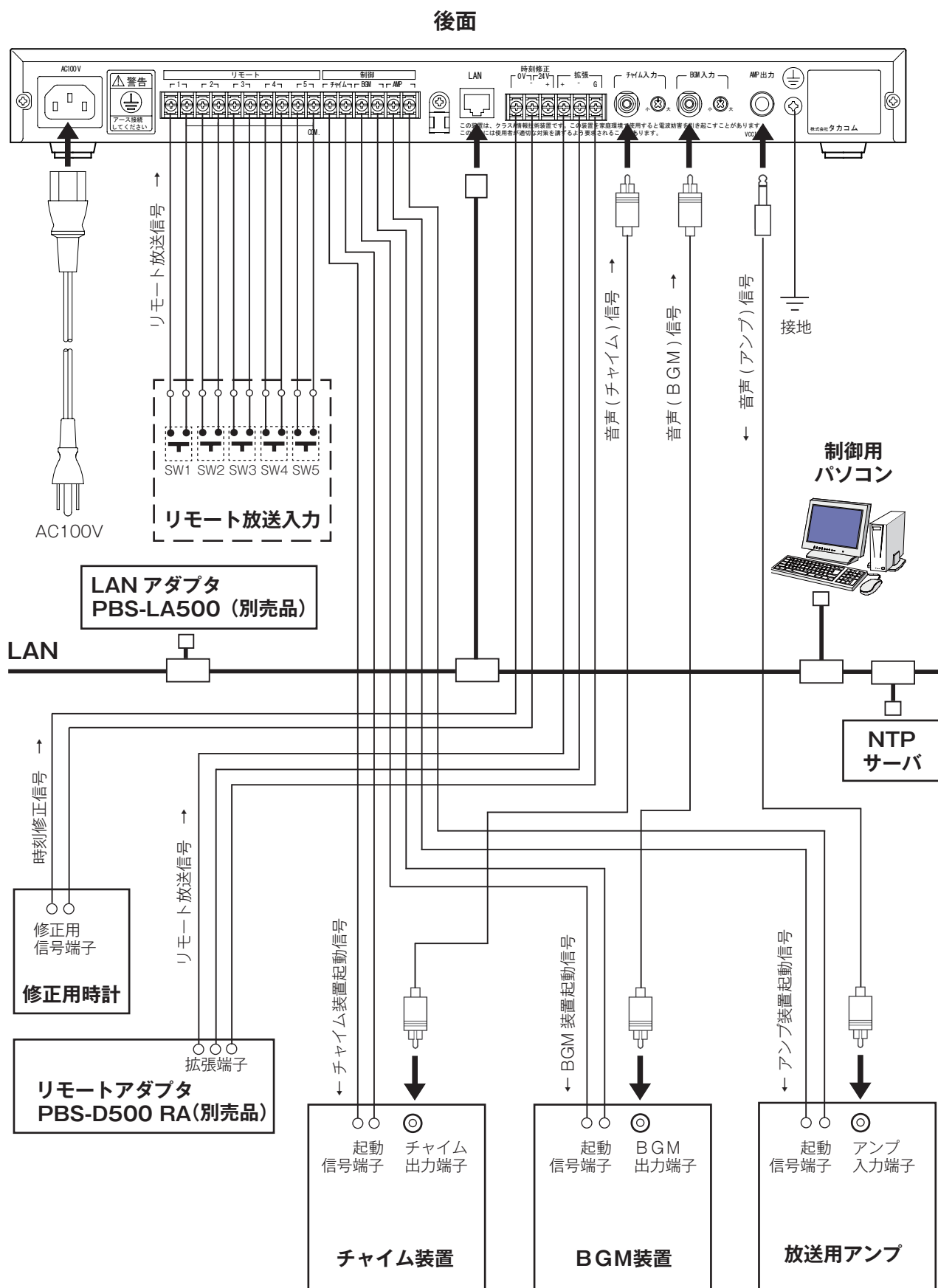
● 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。（右に回すと大きく、左に回すと小さくなります）

● リモート放送中に新たな起動信号がくると、先の放送を中止して、新しいリモート放送を行ないます。

● 起動信号の入力は、標準 5 入力ですが、31 または 50 入力にすることもできます。別売のリモートアダプタ装置が必要になります。また、ネットワーク（LAN）経由でのリモート放送には、別売の LAN アダプタ装置が必要になります。くわしくは販売店または最寄りの当社営業所へお問い合わせください。

# 設置工事

## 1．後面端子部の名前とはたらき

| | 名前 | 機能（はたらき） | 仕様／接続条件 |
|---|---|---|---|
| ① | AC 電源コネクタ | 電源ケーブルを接続して、AC100V を供給するためのコネクタです。 | ・添付の電源コードで、AC100V に接続してください。 |
| ② | リモート端子 1 ～ 5 | リモート放送するための起動信号入力端子です。 | ・無電圧メーク接点で入力してください。<br>（端子間をリレー接点などでショートします。）<br>・接点容量：DC10V 10mA 以上<br>・信号時間：0.2 秒以上 |
| ③ | チャイム制御端子 | 外部チャイムを起動する制御用出力端子です。 | ・無電圧メーク接点で出力します。<br>・接点容量：DC30V 500mA 以下 |
| ④ | BGM 制御端子 | BGM 装置を起動する制御用出力端子です。 | ・無電圧メーク接点で出力します。<br>・接点容量：DC30V 500mA 以下 |
| ⑤ | アンプ制御端子 | 放送設備のアンプを起動する制御用出力端子です。 | ・無電圧メーク接点で出力します。<br>・接点容量：DC30V 500mA 以下 |
| ⑥ | 配線結束具 | 放送設備などに接続した配線を固定します。 | |
| ⑦ | LAN コネクタ | 本装置をネットワーク（LAN）に接続して使用するときに、LAN ケーブルを接続するコネクタです。 | ・通信プロトコル：TCP/IP<br>・インターフェース：10BASE-T/100BASE-TX |
| ⑧ | 時刻修正端子 | 内蔵の時計を、外部から修正するための入力端子です。 | ・無電圧メーク接点で入力してください。<br>（端子間をリレー接点などでショートします。）<br>・接点容量：DC10V 10mA 以上<br>・信号時間：0.2 秒以上<br>または、<br>・DC 電圧 24 Vで入力してください。<br>（端子間に DC24V を印加します。）<br>・信号時間：0.2 秒以上 |
| ⑨ | 拡張端子 | 別売のリモートアダプタ PBS-D500 RA を使用するときに接続します。 | |
| ⑩ | チャイム入力ジャック | 外部チャイムを、本装置に入力するためのジャックです。 | ・インピーダンス：10KΩ、不平衡<br>・レベル：-10dBV（ピンジャック） |
| ⑪ | チャイム入力ボリューム | 外部チャイムの入力レベルを調節するためのボリュームです。 | |
| ⑫ | BGM 入力ジャック | 外部の音源を、BGM として本装置に入力するためのジャックです。 | ・インピーダンス：10KΩ、不平衡<br>・レベル：-10dBV（ピンジャック） |
| ⑬ | BGM 入力ボリューム | BGM の入力レベルを調節するためのボリュームです。 | |
| ⑭ | アンプ出力ジャック | 放送用の音声などを、外部アンプ（放送設備）へ出力するためのジャックです。 | ・インピーダンス：600 Ω、不平衡<br>・レベル：0dBV（6.5mm ジャック） |
| ⑮ | 接地端子 | 本装置を接地するための端子です。 | |

## 2．各機器との接続のしかた

## ■ 放送用アンプとの接続

**●音声 ( アンプ ) 信号**

・シールドケーブルで接続してください。
・「本体装置の設定　3. 放送音量の設定」で、本体装置からの出力を調節します。14 ページを参照してください。

**●アンプ装置起動信号**

・無電圧メーク接点で出力します。
・接点容量は、DC30V500mA 以下です。

## ■ チャイム装置との接続

**●音声 ( チャイム ) 信号**

・シールドケーブルで接続してください。
・本体装置後面の「チャイム入力ボリューム」で、本体装置への入力を調節します。

**●チャイム装置起動信号**

・無電圧メーク接点で出力します。
・接点容量は、DC30V500mA 以下です。

## ■ ＢGM装置との接続

**●音声 ( ＢGM ) 信号**

・シールドケーブルで接続してください。
・本体装置後面の「ＢＧＭ入力ボリューム」で、本体装置への入力を調節します。

**●ＢGM装置起動信号**

・無電圧メーク接点で出力します。
・接点容量は、DC30V500mA 以下です。

## ■ 電源の接続

添付の電源コードで、AC100V に接続してください。

・本体装置には、電源スイッチおよび電源ランプがありません。電源プラグを電源コンセントへ接続すると、ディスプレイに待機画面が表示されます。
・電源は、AC100V 以外に接続したり、たこ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

## ■ アースの接続

雑音防止と安全のために、「接地端子」をＡＣコンセントのアース端子へ接続してください。

・アース線は、絶対に、ガス管にはつながないでください。火災などの原因になります。

## ■ LAN の接続

本体装置と制御用パソコン、および別売の LAN アダプタ PBS-LA500 をネットワーク接続して使用する場合に LAN ケーブルを接続します。
LAN の仕様は次のとおりです。

・プロトコル　　　：TCP/IP
・インターフェース：10BASE-T/100BASE-TX

本体装置の IP アドレスなどの登録については、「本体装置編　本体装置の設定　2. ネットワークの設定」(12 ページ) を参照してください。また、LAN アダプタ PBS-LA500 の接続、設定などについては、LAN アダプタ PBS-LA500 の取扱説明書、および「共通編　LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する」(141 ページ) を参照してください。

## ■ 修正用時計との接続

**●時刻修正信号**

・無電圧メーク接点または DC24V で出力してください。

《無電圧メーク接点の場合》

・接点容量は、DC10V10mA 以上あること。
・信号時間は、0.2 秒以上あること。

《DC24V の場合》

・信号時間は、0.2 秒以上あること。

**●修正動作**

修正用時計から 0.2 秒以上のメーク信号または電圧信号を受け取ると、本体装置の内蔵時計を「０秒」に修正します。修正は、次の２つの方法があります。

**◆± 30 秒で修正する**

１日１回程度、修正信号が来る修正用時計に接続してください。(30 秒ごとにパルスが来る時計には接続しないでください。誤動作の原因になります)

・本体装置の時計が０秒から 29 秒のときは、０秒に戻します。
・本体装置の時計が 30 秒から 59 秒のときは、１分進めて０秒に戻します。

例：13 時 12 分 12 秒→ 13 時 12 分０秒
　　13 時 12 分 39 秒→ 13 時 13 分０秒

**◆ 50 秒から 10 秒以内で修正する**

30 秒ごとにパルスが来る時計に接続してください。

・本体装置の時計が０秒から 10 秒のときは、０秒に戻します。
・本体装置の時計が 50 秒から 59 秒のときは、１分進めて０秒に戻します。

例：13 時 12 分８秒→ 13 時 12 分０秒
　　13 時 12 分 55 秒→ 13 時 13 分０秒

## ■ リモート端子の接続

**●リモート信号**

・無電圧メーク接点で出力してください。
・接点容量は、DC10V10mA 以上あること。
・メーク時間は、0.2 秒以上あること。

**●リモート放送**

・ＳＷ１が「ON」になると、端子１にあらかじめ登録してあるチャンネルの内容を放送します。
・以下同様に、ＳＷ２は端子２、ＳＷ３は端子３、ＳＷ４は端子４、ＳＷ５は端子５に、それぞれあらかじめ登録してあるチャンネルの内容を放送します。

## ■ 拡張端子の接続

別売のリモートアダプタ PBS-D500 RA を接続します。詳しくは、リモートアダプタ PBS-D500 RA の取扱説明書を参照してください。

**ワンポイント**

● 時刻修正を行なう場合、修正する時刻は放送時間帯を避けてください。放送中に修正信号を受信すると、放送が途切れる場合があります。修正する時刻の設定については「装置設定の登録」(一般用 74 ページ、学校用 116 ページ) を参照してください。

## 3．外部チャイムの音量調節

外部チャイムの音量調節は、チャイム入力ボリュームおよびチャイム装置の出力調節の両方で調節します。

### ■ 外部チャイムの再生と調節のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 オンゲン】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン
```

**2** セット を押す

選択ロータリースイッチで、【2-3 ガイブ】を選ぶ

＊セット を押したとき【オンゲン】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 メッセージ
2-2 チャイム
2-3 ガイブ
2-4 ロクオン カノウ ジカン
2-5 オンゲン スベテ ショウキョ
```

**3** セット を押す

＊CHM/BGM の選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、CHM（チャイム）を選ぶ

＊「装置表示名」は固定です。

＊表示時間は、装置設定で登録した「外部チャイムの継続時間」です。

外部チャイムの継続時間

```
CHM EXT         25s
[ガイブ チャイム     ]
```

装置表示名

**4** セット を押す

＊装置設定で登録した「外部チャイムの起動時間」を表示し、起動待ちになります。

```
CHM EXT
  キドウ ジカン  5s [セット]
```

セット を押す

＊起動時間のカウントダウンのあと、外部チャイムの再生が始まります。（放送はされません。）

＊下段に再生レベルが表示されます。

```
CHM EXT.............5s
```

**5** ●**音量調節**

本体装置後面のチャイム入力ボリュームおよびチャイム装置の出力調節の両方で調節します。

＊レベルがオーバー表示にならないように調節してください。

＊再生が終わると、CHM/BGM の選択画面に戻ります。

```
CHM EXT         25s
[ガイブ チャイム     ]
```

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊1回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

**ワンポイント**

● 学校用でお使いのときは、手順３で次の表示となり、CHM/BGM の選択はできません。

```
CHM EXT         25s
[ガイブ チャイム     ]
```

セット を押すか、選択ロータリースイッチを右に回して、手順４の起動待ちに進みます。

## 4．外部 BGM の音量調節（一般用のみ）

外部 BGM の音量調節は、BGM 入力ボリュームおよび BGM 装置の出力調節の両方で調節します。

学校用でお使いのときは、BGM 放送の機能はありません。

### ■ 外部 BGM の再生と調節のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【2 オンゲン】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン
```

**2** セット を押す

選択ロータリースイッチで、【2-3 ガイブ】を選ぶ

＊セット を押したとき【オンゲン】のメニュー画面を表示します。

```
2-1 メッセージ
2-2 チャイム
2-3 ガイブ
2-4 ロクオン カノウ ジカン
2-5 オンゲン スベテ ショウキョ
```

**3** セット を押す

＊CHM/BGM の選択画面を表示します。

選択ロータリースイッチで、BGM（外部 BGM）を選ぶ

＊「装置表示名」は固定です。

```
BGM EXT
[ガイブ BGM        ]
```

装置表示名

**4** セット を押す

＊装置設定で登録した「BGM の起動時間」を表示し、起動待ちになります。

```
BGM EXT
  キドウ ジカン  5s [セット]
```

セット を押す

＊起動時間のカウントダウンのあと、外部 BGM の再生が始まります。（放送はされません。）

＊下段に再生レベルが表示されます。

```
BGM EXT.............5s
```

**5** ●**音量調節**

本体装置後面の BGM 入力ボリュームおよび BGM 装置の出力調節の両方で調節します。

＊レベルがオーバー表示にならないように調節してください。

**6** 外部 BGM の再生を終わるときは、終了 を押します。

＊CHM/BGM の選択画面に戻ります。

```
BGM EXT
[ガイブ BGM        ]
```

**7** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す

＊1回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

**ワンポイント**

● 手順４で、本体装置のスピーカからの再生音はモニター音量ツマミで調節できますが、この調節では外部チャイムや外部 BGM の音量調節はできません。

# 第 2 章
# データ入力ソフト
# 準備編

# データを登録する前に

既存の放送設備を制御する放送スケジュールデータや本体装置の初期設定は、お手持ちのパソコンで行います。お手持ちのパソコンの動作環境や、放送スケジュールデータ作成の流れを理解した上でデータ作成を行ってください。

## １．データ入力ソフトをセットアップする

### 1-1. パソコンの推奨仕様

お手持ちのパソコンが次の仕様に合っているかお確かめください。動作環境が違うと、正常にデータ作成ができない場合があります。

**●ＯＳ**

Microsoft Windows Vista/7/8/8.1 日本語版をご使用ください。

**●ＣＰＵ**

OS が推奨する環境以上をご使用ください。

**●メモリ**

OS が推奨する環境以上をご使用ください。

**●ＨＤＤ（ハードディスクドライブ）の空き容量**

100MB 以上の容量を確保してください。

・空き容量が少ないと、正常に登録ができない場合があります。

**●ソフトウェア**

Adobe Acrobat Reader 5.0 以上をご用意ください。

**●ディスプレイ**

解像度 1024 × 768 以上のディスプレイをご使用ください。

High Color（16bit）以上を推奨します。

・解像度が小さいと、登録画面の全体が表示されない場合があります。画面上に表示されていない作業領域を、スクロールバーを利用して表示する必要があります。

**● USB ポート（２．０／１．１）**

データ媒体としての USB メモリは、添付品をご使用ください。

市販の USB メモリをご使用になる場合は、セキュリティ機能がない USB メモリをご使用ください。

・放送プログラムデータや音源ファイルを USB メモリへ書き込むとき使用します。

**● LAN ポート**

ネットワーク機能を使用する場合に必要です。

・通信プロトコル　：TCP/IP

・インターフェース：10BASE-T、100BASE-TX

**●サウンド**

録音方式の Wave ファイルが再生できること。

**●ＣＤ－ＲＯＭドライブ**

ＣＤ－ＲＯＭを読み込むことができるドライブをご用意ください。

・「PBS-D500 データ入力ソフト」などをインストールするとき使用します。

※ Windows Vista/7/8/8.1 は米国 Microsoft Corporation の商標です。

## 1-2. データ入力ソフトをインストールする

お手持ちのパソコンへ、添付のＣＤから「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールします。他のソフトをすべて終了してからインストールを行なってください。
（Windows 7 の操作例、クラッシック画面の例）

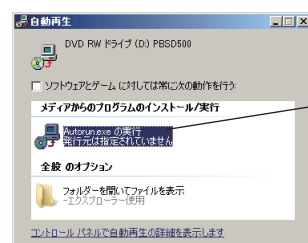
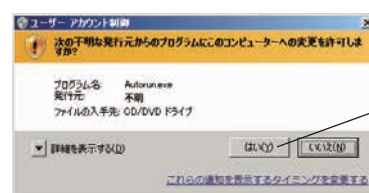
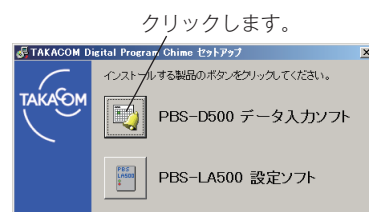
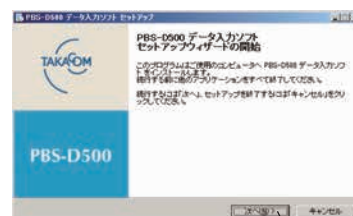
### ■ インストールのしかた

**1**

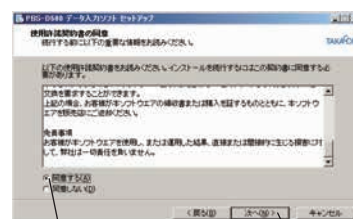
① インストール用 CD をセットすると、【自動再生】画面が表示されます。
② [autorun.exe の実行] をクリックします。
・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

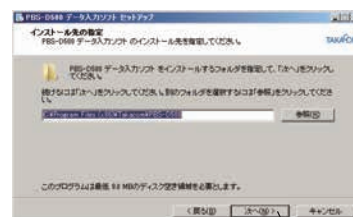
**2**

① [はい] をクリックします。
※ Windows Vista の場合は、[許可] をクリックします。
・【Digital Program Chime セットアップ】画面が表示されます。

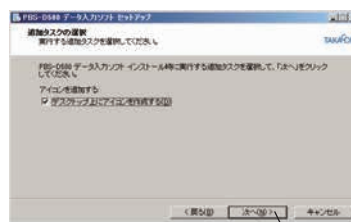
**3**

① [PBS-D500 データ入力ソフト ] ボタンをクリックします。
・【PBS-D500 データ入力ソフトセットアップ】画面になります。

**4**

① [ 次へ ] ボタンをクリックします。
・【使用許諾契約書の同意】の画面になります。

**5**

①「使用許諾契約書」をお読みいただき、ご同意いただける場合は [同意する] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。
・【インストール先の指定】画面になります。

**6**

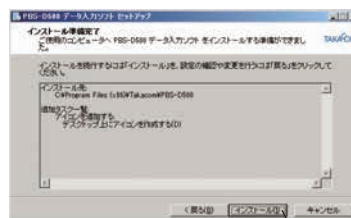
①【インストール先の指定】画面で、そのままでよければ [ 次へ ] ボタンをクリックします。変更が必要であれば、[ 参照 ] ボタンをクリックしてインストール先を指定し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。
・【追加タスクの選択】画面になります。

**7**

① デスクトップにアイコンを作成する場合はチェックをして、[ 次へ ] ボタンをクリックします。

・【インストール準備完了】画面になります。

**8**

①内容を確認して、[ インストール ] ボタンをクリックします。

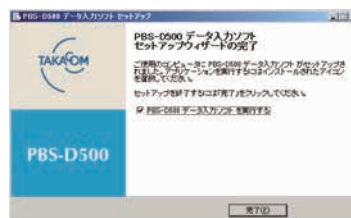
・インストールが始まります。

・インストールが終了すると【セットアップウィザード完了】の画面が表示されます。

**9**

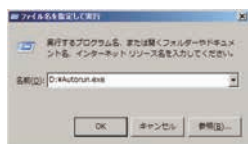
① 「PBS-D500 データ入力ソフト」を、すぐに実行する場合は、チェックボックスにチェックを付けて、[ 完了 ] ボタンをクリックします。

・「一般用または学校用ソフトの選択」手順２に進みます。

② 「PBS-D500 データ入力ソフト」を、あとで実行する場合は、チェックボックスのチェックを外して、[ 完了 ] ボタンをクリックします。

・必要であればシステムを再起動します。

### ワンポイント

● 【【Digital Program Chime セットアップ】画面が自動的に開かないときは、次のようにして【Digital Program Chime セットアップ】画面を表示します。（Windows 7 の操作例）

(1) タスクバーの「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

(2) 「名前」欄に、キーボードから「D:¥autorun.exe」と入力して［OK］ボタンをクリックします。

・「D:」は CD のドライブ名です。お使いになっているパソコンによって異なります。

### ワンポイント

● 本ソフトのインストールおよび削除は、必ず、“Administrators（管理者）”としての権限を持つユーザーが行ってください。

● インストールするフォルダは、必ずフルコントロール（読み書き、削除等）ができるフォルダにしてください。

● 操作の途中で【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合は、［はい］または［許可］をクリックしてインストールを進めてください。

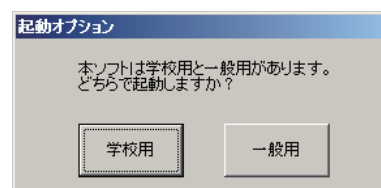
## 1-3. 一般用または学校用ソフトの選択

本ソフトは、一般用と学校用の２種類ありますが、両方同時にセットアップできません。最初に本ソフトを起動して、一般用でお使いになるか、または、学校用でお使いになるかを選択します。一旦、選択したあとは、以後、そのソフトで起動します。（Windows 7 の操作例、クラッシック画面の例）

**1**

① [ スタート ] ボタンをクリックします。
・「スタートメニュー」が表示されます。
② [ すべてのプログラム ] → [TAKACOM] → [PBS-D500 データ入力ソフト ] を選択してクリックします。
・一般用または学校用の選択画面が表示されます。

**2**

①一般用または学校用を選択します。
●一般用でお使いになるときは、[ 一般用 ] ボタンをクリックします。
●学校用でお使いになるときは、[ 学校用 ] ボタンをクリックします。

**3**

①本ソフトが起動し、初期画面が表示されます。
② [ 終了 ] ボタンをクリックします。
・本ソフトを終了します。

【初期画面】学校用　　【初期画面】一般用

**ワンポイント**

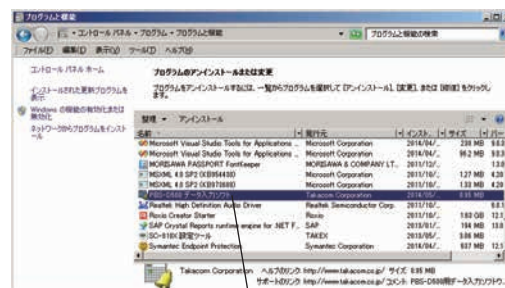
●一般用と学校用は、最初の起動時にどちらか選択しますので、インストールされるファイルは同じものです。従って、一般用と学校用を同じフォルダにインストールすることはできません。
●セットアップ時に、お使いのパソコンによっては、メッセージウインドウが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。

**ワンポイント**

●学校用システムでは一般用で使用できる機能の内、以下の機能が使用できません。
・BGM ／間隔放送
・連結放送
・時報放送
・時刻の最小単位（秒）
・振替休日の日課パターン変更

## 1-4. データ入力ソフトを削除する

一般用と学校用を間違えてインストールしたときや、本ソフトを削除したいときは、次の操作をします。
（Windows 7 の操作例、クラッシック画面の例）

① 本ソフトを終了します。
② タスクバーを「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
③「プログラムのアンインストール」を開きます。
④「PBS-D500 データ入力ソフト」を選んでアンインストールします。

選択してアンインストールします。

## 2．スケジュール作成作業の手順

「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールした後、次の手順で放送スケジュールを作成します。

| 手順 | 項目 | 作成内容 |
|---|---|---|
| 1 | チャイム・メッセージを設定する | 本体装置で作成したチャイムやメッセージの名前・送出回数などを設定します。 |
| 2 | 日課パターンを作成する | ◆放送の基本となる日課パターンを作成します。<br>・定時放送は、何時に何を（チャイム、メッセージ）放送するか、1 日の放送内容を登録します。<br>・BGM 放送は、何時から何時まで、何を（外部音源／メッセージ ch）放送するかを登録します。<br>・間隔放送は、何時から何時までの間、どのメッセージをどの順序で、何分ごとに放送するかを登録します。<br>◆この日課パターンを、以下の各スケジュールに割り付けることで、そのスケジュールに従って自動放送します。<br>※学校用でお使いの場合は、BGM 放送および間隔放送は使用できません。 |
| 3 | 一般用：月間スケジュールを作成する<br>学校用：週間スケジュールを作成する | ◆月間スケジュール（一般用でお使いのとき）<br>第何週の何曜日に、どの「日課パターン」を放送するかを登録します。<br>年間を通じての自動放送の基本となります。<br>◆週間スケジュール（学校用でお使いのとき）<br>月ごとの何曜日に、どの「日課パターン」を放送するかを登録します。<br>年間を通じての自動放送の基本となります。<br>また、土曜日については、特定の週に、週間スケジュールと異なる日課パターン（放送休止など）を登録することができます。 |
| 4 | 祝日スケジュールを作成する | ◆祝日の放送スケジュール（放送休止または他の日課パターン）を登録します。 |
| 5 | 休日スケジュールを作成する | ◆祝日とは別の、行事のためなどの休日スケジュール（放送休止または他の日課パターン）を登録します。 |
| 6 | 特定日スケジュールを作成する | ◆特定の日のみ、年月日を指定して臨時で放送するスケジュール（放送休止または他の日課パターン）を登録します。 |

### スケジュールの優先度について

スケジュールが重なった場合の優先度は、下表の通りです。

| 一般用でお使いのとき | | | |
|---|---|---|---|
| スケジュール名 | 画面の表示色 | 毎年の繰り返し | 優先度 |
| 月間スケジュール | 白 | あり | 低い |
| 祝日スケジュール | 赤 | あり | ↓ |
| 休日スケジュール | 橙 | あり | ↓ |
| 特定日スケジュール | 緑 | なし | 高い |

| 学校用でお使いのとき | | | |
|---|---|---|---|
| スケジュール名 | 画面の表示色 | 毎年の繰り返し | 優先度 |
| 週間スケジュール | 白 | あり | 低い |
| 土曜日登録 | 白 | あり | ↓ |
| 祝日スケジュール | 赤 | あり | ↓ |
| 休日スケジュール | 橙 | あり | ↓ |
| 特定日スケジュール | 緑 | なし | 高い |

### ■ スケジュールの種類

| 種類 | 通年スケジュール | 臨時スケジュール | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 本日スケジュール | 繰上げ・繰下げ／休止 | 年間スケジュール |
| 内容 | 年間を通じて動作する、自動放送の基本となるスケジュールです。 | 本日のみに適用される臨時スケジュールです。 | 指定した日付に適用される臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。 | 日付を指定して日課パターン番号を変更した臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。 |
| 本体装置への書き込み方法 | データ入力ソフト（装置用データ作成）で作成し、USB メモリから書き込み、または LAN 経由で制御用パソコンから書き込みます。 | データ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN 経由で本体装置に転送します。 | 本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN 経由で本体装置に転送します。 | 本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN 経由で本体装置に転送します。 |

# データ入力ソフトを起動／終了する

「PBS-D500 データ入力ソフト」を起動すると、「データを登録する前に　1．PBS-D500 データ入力ソフトをセットアップをする　1-3 一般用または学校用ソフトの選択」（46 ページ）で選択した、「一般用」または「学校用」のデータ入力ソフトが立ち上がります。
（Windows 7 の操作例、クラッシック画面の例）

## 1．起動／終了のしかた

**1**

①タスクバーから、[ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [Takacom] → [PBS-D500 データ入力ソフト ] を選択してクリックします。

**2**

①本ソフトが起動し、一般用または学校用の【初期画面】が表示されます。
②［スケジュール設定タブ］および［ネットワーク機能タブ］で登録選択ボタンを切り替えて、登録するボタンをクリックし、その登録画面を呼び出し、データを登録します。
・登録のしかたは、それぞれの説明をご覧ください。

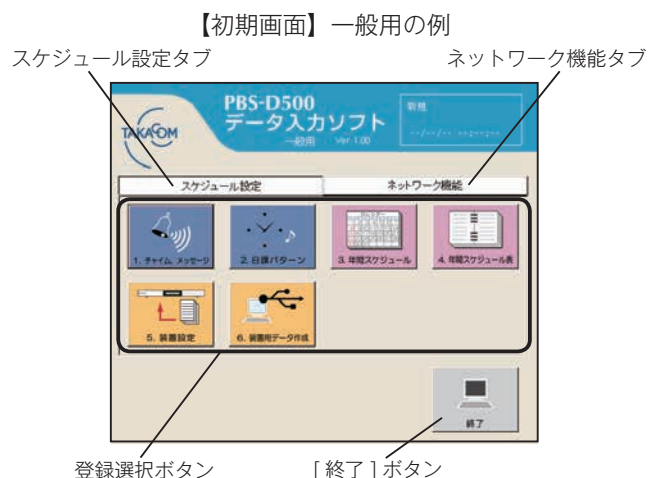
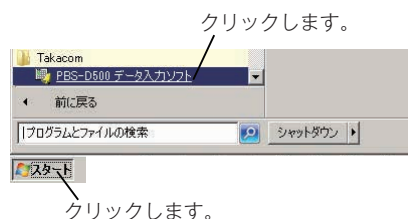
【初期画面】一般用の例

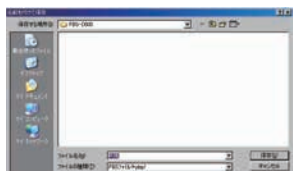
**3**

①データ登録を終わるとき、およびネットワーク機能の使用を終了するときは、[ 終了 ] ボタンをクリックします。

**4**

①［終了］ボタンをクリックしたとき、保存されていないデータがあると、保存確認の画面を表示します。

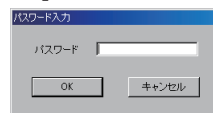
・[ はい ] ボタンをクリックすると、上書き保存をしてから終了します。
・[ いいえ ] ボタンをクリックすると、最後に保存された状態のまま終了します。
・[ キャンセル ] ボタンをクリックすると、終了をキャンセルして、初期画面に戻ります。

**ワンポイント**

● 手順 4 で［終了］ボタンをクリックしたとき、データ入力ソフトをインストールして最初のデータ保存の場合は、ファイルの保存場所を指定する画面を表示します。

保存場所を指定して保存してください。以後は、自動的にそのフォルダに保存されます。

**お願い**

● データの保存場所に、「C ドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダを指定しないでください。

**ワンポイント**

● パスワードを設定している場合は、［PBS-D500 データ入力ソフト］を選択してクリックしたときに、【パスワード入力】画面を表示します。

パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックすると、【初期画面】が表示されます。

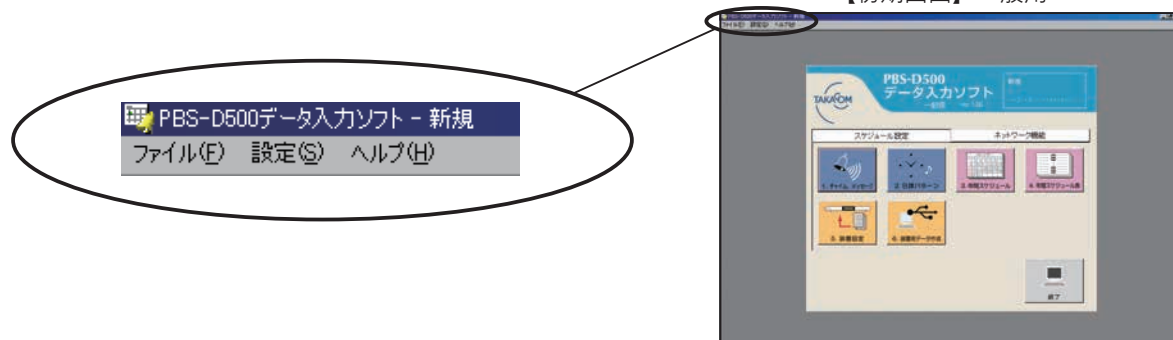
●【初期画面】では、パスワード設定で使用を許可された項目の作業ボタンのみが使用できます。

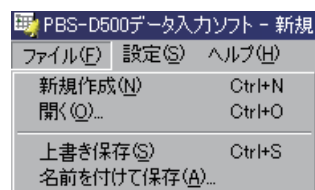
※【初期画面の例】
ネットワーク機能で、スケジュールに関する操作が使用できます。

## 2．メニューバーについて

【初期画面】左上メニューには、次の機能ボタンがあります。

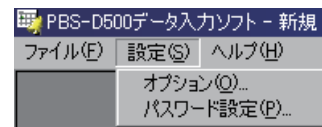
PBS-D500データ入力ソフト - 新規
ファイル(F)　設定(S)　ヘルプ(H)

【初期画面】一般用

### 2-1. ファイル

「データ入力ソフト」で作成したデータファイルを、制御用パソコンに「保存／開く」などの操作ができます。
［ファイル］ボタンをクリックすると、右のメニューが表示されます。機能・操作は Windows と同じです。

**ワンポイント**

● USB メモリに保存したスケジュールデータを、新しくインストールした「PBS-D500 データ入力ソフト」で利用することができます。詳細については、「共通編　USB メモリのデータ読み込み」（155 ページ）を参照してください。

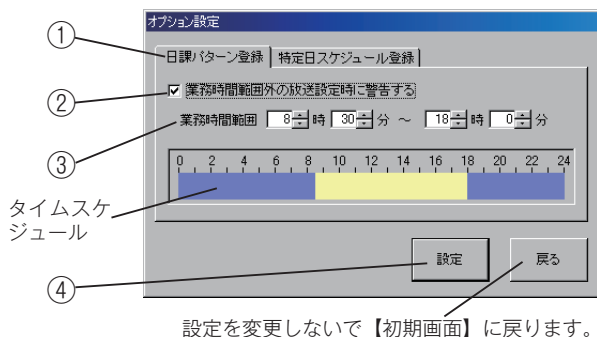
## 2-2. 設定

［設定］ボタンをクリックすると、右のメニューが表示されます。

### ■ オプション

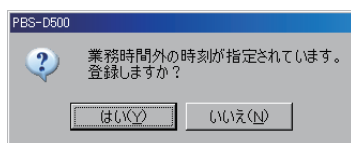
放送スケジュールのデータを登録するときに、時間外の自動放送や休日の自動放送などの登録の間違いが発生しないように警告を表示することができます。

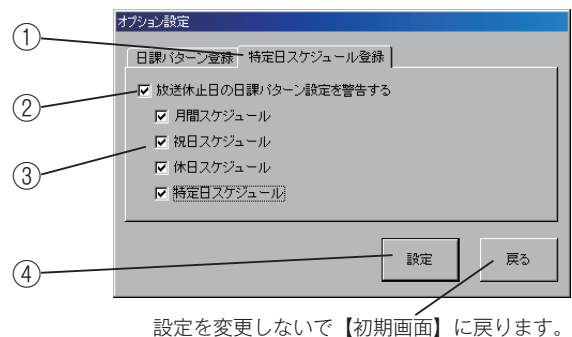
［オプション］ボタンをクリックすると、次の【オプション設定】画面（日課パターン登録と特定日スケジュール登録）を表示します。

**●日課パターン登録**

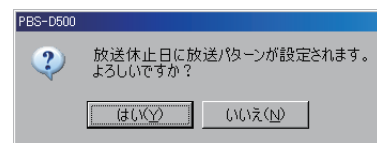
日課パターンを登録するときに、ここで設定した業務時間範囲外の時間帯に「定時放送・BGM／間隔」を指定すると、警告の画面を表示するように設定できます。

設定を変更しないで【初期画面】に戻ります。

①［日課パターン登録］タブをクリックします。
②「業務時間範囲外の放送設定時に警告する」をクリックしてチェックを付けます。
③業務時間範囲を設定します。
　・タイムスケジュールに設定時刻範囲が表示されます。
④［設定］ボタンをクリックします。

※日課パターン表の登録で、設定時間範囲外に時刻設定しようとしたときの警告画面

**●特定日スケジュール登録**

特定日スケジュールを登録するときに、放送休止に指定した日に登録しようとした場合に、警告の画面を表示するように設定できます。

設定を変更しないで【初期画面】に戻ります。

①［特定日スケジュール登録］タブをクリックします。
②「放送休止日の日課パターン設定を警告する」をクリックしてチェックを付けます。
③警告表示の対象とするスケジュールをクリックしてチェックを付けます。
④［設定］ボタンをクリックします。

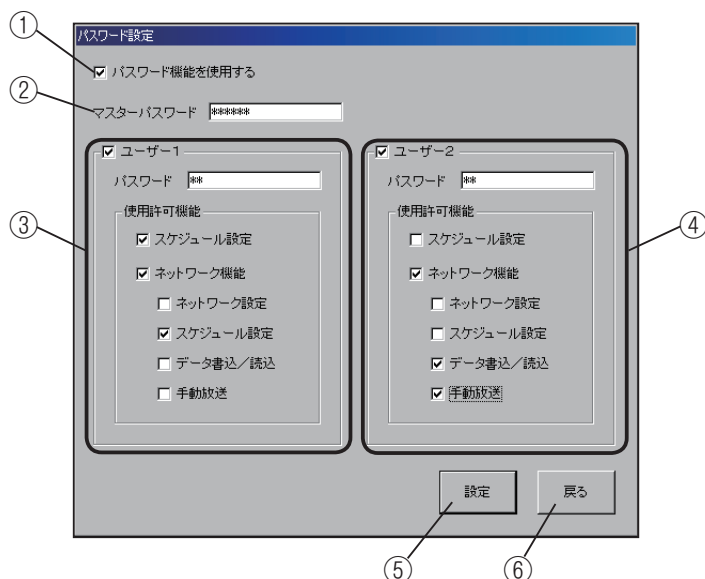
※特定日スケジュールの登録で、放送休止日に特定日スケジュールを登録しようとしたときの警告画面

**ワンポイント**

●上記は「データ入力ソフト 一般用」の場合です。「データ入力ソフト 学校用」の場合は、「業務時間」が「授業時間」に変わります。また「BGM／間隔」の登録はありません。

**ワンポイント**

●上記は「データ入力ソフト 一般用」の場合です。「データ入力ソフト 学校用」の場合は、「月間スケジュール」が「週間スケジュール」に変わります。

## ■ パスワード設定

データ入力ソフトの「スケジュール設定」および「ネットワーク機能」で行う各操作を、パスワードで制限することができます。パスワードは、マスター・ユーザー１・ユーザー２の３種類が設定できます。
［パスワード設定］ボタンをクリックすると、次の【パスワード設定】画面を表示します。

※パスワードは半角英数で 10 文字まで設定できます。

**※左の例のパスワード登録のとき‥‥**

・**ユーザー１**でログインしたときの【初期画面】

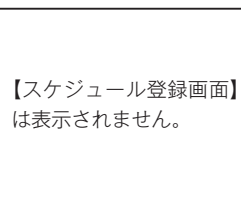
【スケジュール登録画面】

【ネットワーク機能画面】

・**ユーザー２**でログインしたときの【初期画面】

【スケジュール登録画面】は表示されません。

【ネットワーク機能画面】

①パスワード機能を使用する
　パスワードで操作項目を制限するときにクリックしてチェックを付けます。
　パスワード機能の使用を止める場合は、クリックしてチェックを外します。
②マスターパスワード
　マスターとなるパスワードを設定します。このパスワードは、すべての操作項目が使用できます。
③ユーザー１パスワード
　ユーザー１パスワードを使用するときにチェックしてパスワードを設定し、使用を許可する操作項目をチェックします。
　マスターパスワードを設定したときに設定できます。
④ユーザー２パスワード
　ユーザー２パスワードを使用するときにチェックしてパスワードを設定し、使用を許可する操作項目をチェックします。
　マスターパスワードを設定したときに設定できます。

⑤［設定］ボタン
　パスワードを設定するときにクリックします。
⑥［戻る］ボタン
　登録した内容をキャンセルして【初期画面】に戻ります。

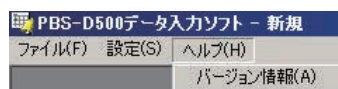
**ワンポイント**

- パスワードは忘れないように注意してください。
  本ソフトの操作ができなくなります。
- パスワードを削除・変更するときは、「マスターパスワード」でログインしてください。
  パスワードの設定画面で、表示されているパスワードを削除または変更して［設定］ボタンをクリックします。
- ユーザー１･ユーザー２のパスワードは設定しないで、マスターパスワードのみ設定して使用できます。

## 2-3. ヘルプ

［ヘルプ］ボタンをクリックすると、右のメニューが表示されます。

## ■ バージョン情報

［バージョン情報］をクリックすると「データ入力ソフト」のバージョンを表示します。

【バージョン情報】画面例　一般用

# 第 3 章
# データ入力ソフト
# 一般用編

# スケジュール設定（一般用）

自動放送で使用するチャイム、メッセージ、放送スケジュールなどの作成、および、本体装置の機能設定、装置用データの作成を行います。
登録したスケジュールの有効期間は、登録した年を含め最大 10 年です。

（例 1）2014/1/1 に登録した場合　⇒ 有効期限：2023/12/31（**有効期間：10 年**）
（例 2）2014/10/1 に登録した場合　⇒ 有効期限：2023/12/31（**有効期間：9 年と 92 日**）

そのため、**有効期間内にスケジュールを再登録してください。**

## ■ 初期画面の構成

【初期画面】で［スケジュール設定］タブをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】を表示します。

**登録選択ボタン**
各登録は、次の登録選択ボタンをクリックすることから始めます。

● **［1. チャイム、メッセージ］**ボタン
チャイム一覧およびメッセージ一覧の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［2. 日課パターン］**ボタン
日課パターン一覧および日課パターン表の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［3. 年間スケジュール］**ボタン
年間スケジュールの登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［4. 年間スケジュール表］**ボタン
年間スケジュールの確認画面を呼び出すときクリックします。

● **［5. 装置設定］**ボタン
装置設定の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［6. 装置用データ作成］**ボタン
装置へ入力するスケジュールデータなどを USB フラッシュメモリへ書き込む画面を呼び出すときクリックします。

# 1．チャイム・メッセージの登録

自動放送などで使用する、チャイムおよびメッセージの名前などの登録を行ないます。なお、メッセージなどの録音は、本体装置で行います。

## 1-1. チャイムの登録

### ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、[１．チャイム、メッセージ] ボタンをクリックします。
・【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

### ■ 登録のしかた

**①チャイム登録の呼び出し**
[チャイム] タブをクリックします。
・チャイムの登録画面になります。

**[メッセージ] タブ**
メッセージを登録するときクリックします。

**②チャンネル番号の指定**
《チャンネル指定》ボックスへチャンネル番号を入力します。
・チャイム一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
A：[▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
B：チャイム一覧の行をクリックする。

**③チャイム名の入力**
《チャイム》ボックスへチャイム名を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で、15 文字以内です。

**④装置表示の入力**
チャイム名を入力すると、半角で自動表示されます。（この表示が装置のディスプレイに表示されます）
・修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで 18 文字以内です。

**チャイム一覧**
登録内容を一覧で表示します。

**[削除] ボタン**

**⑤送出回数の指定**
《送出回数》ボックスへ送出回数（１～９）を入力します。
・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・初期値は１回です。

**⑥登録**
[登録] ボタンをクリックすると、チャイム一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑥を繰り返します。

**⑦登録の終了**
登録を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

**[印刷] ボタン**
クリックすると、チャイム一覧を印刷します。詳しくは、「第５章 共通編　登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

### ■ 修正をするには

1．「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいチャンネル番号を選び、修正します。
2．[登録] ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・チャイム一覧に、修正された内容が表示されます。

### ■ 削除をするには

1．「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいチャンネル番号を選びます。
2．[削除] ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・チャイム一覧から削除されます。

**ワンポイント**

● チャイムのチャンネルは、ch1 ～ 30 の 30ch と外部チャイムです。チャンネルの割り当ては次のとおりです。
・ch1 ～ 15 は固定チャイムで、本体装置に内蔵しています。
・ch16 ～ 30 は自作チャイムとして使用できます。
・外部チャイムは外部チャイムを使用するときに指定します。
● チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

## 1-2. メッセージの登録

### ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［1．チャイム、メッセージ］ボタンをクリックします。
　・【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

### ■ 登録のしかた

### ■ 修正をするには

1．「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいメッセージ番号を選び、修正します。
2．［登録］ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
　［はい］ボタンをクリックします。
　・メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

### ■ 削除をするには

1．「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいメッセージ番号を選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
　［はい］ボタンをクリックします。
　・メッセージ一覧から削除されます。

**ワンポイント**

● メッセージは、99種類（ch1 ～ 99）登録できます。
● チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

# 2．日課パターンの登録

日課パターン一覧表に「パターン名」を、また日課パターン表に「放送内容」を登録します。

## 2-1. 日課パターン一覧表の登録

### ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、[2．日課パターン］ボタンをクリックします。
・【日課パターン一覧表】の登録画面になります。

### ■ 登録のしかた

## ■ 修正をするには

1．「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したいパターン番号を選び修正します。
2．［登録］ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
　　［はい］ボタンをクリックします。
　　・日課パターン一覧に、修正された内容が表示されます。

## ■ 削除をするには

1．「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したいパターン番号を選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
　　・削除の確認画面を表示します。

　　・パターン名と一緒に放送内容も削除する場合は、［はい］ボタンをクリックします。
　　・パターン名だけを削除する場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。
　　・削除を中止するときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
3．日課パターン一覧から削除されます。

**ワンポイント**

● 日課パターンは、1 ～ 99 まで登録できます。

## ■ パターンをコピー編集するには

登録済みの日課パターンの一部を修正して、新たな日課パターンとして登録することができます。

**ワンポイント**

● コピー編集は、コピー元の日課パターンが未登録のときはコピーできません。
● コピー先にパターン名・装置名が登録されていない場合は、パターン名・装置名もコピーされます。パターン名・装置名が登録されている場合は、放送内容だけがコピーされます。

## 2-2. 日課パターン表の登録

日課パターン表には、定時放送、BGM および間隔放送の 3 種類の登録があります。

## （1）定時放送の登録

指定した時刻（定時）に自動放送を行なうための登録を行ないます。

### ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、[ 2．日課パターン ] ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧表の登録画面になります。

2．《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも選択できます。
A：[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定する。
B：日課パターン一覧の行をクリックする。

3．[日課パターン表の登録] ボタンをクリックします。
＊日課パターン表の登録画面になります。
＊定時放送タブをクリックすると、定時放送の登録画面になります。

日課パターン一覧表の登録画面

### ■ 定時放送の登録のしかた

**① 定時放送登録の呼び出し**
[定時放送] タブをクリックします。
・定時放送の登録画面になります。

**[BGM ／間隔放送] タブ**
BGM や間隔放送を登録するときクリックします。

**②ステップの指定**
定時放送一覧のステップをクリックします。
・定時放送一覧の選択されたステップが反転表示になります。

**日課パターン表示欄**
登録中の日課パターンが表示されます。
・各ボックスで修正することもできます。

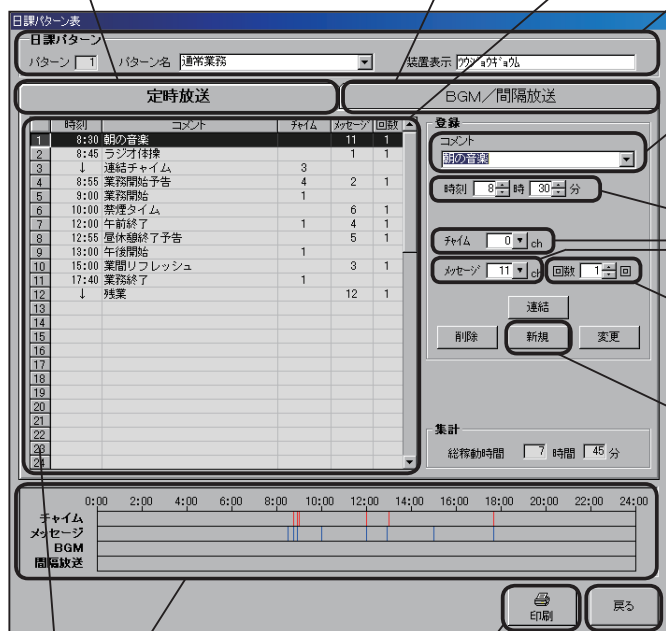
**③ステップのコメント入力**
《コメント》ボックスへ、その時刻に放送する内容のコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で 15 文字以内です。

**④放送時刻の入力**
《時刻》ボックスへ、放送する時刻を入力します。
・[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は 24 時間制で入力します。

**⑤チャイムの入力**
《チャイム》ボックスへ、その時刻に放送するチャイム番号を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

**⑥メッセージの入力**
《メッセージ》ボックスへ、その時刻に放送するメッセージ番号を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできてきます。
・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

**⑦送出回数の入力**
《送出回数》ボックスへ、メッセージの送出回数を入力します。
・[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできてきます。

**⑧ 新規**
[新規] ボタンをクリックすると、登録した内容が定時放送一覧に新しいステップとして表示されます。
・続けて、登録するときは、②～⑧を繰り返します。

**放送タイムチャート**
放送時刻をタイムチャートで表示します。

**定時放送一覧**
ステップごとに放送内容を表示します。

**[印刷] ボタン**
クリックすると、日課パターン表を印刷します。詳しくは、「第 5 章 共通編　登録内容を印刷する」(138 ページ) を参照してください。

**⑨ 登録の終了**
登録を終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧表の登録画面に戻ります。

## ■ 連結放送をするには

複数のチャンネルのチャイムやメッセージを連結して放送することができます。

1．「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、連結放送する最初のステップを選択します。
2．「登録のしかた」の手順③および手順⑤～手順⑦と同じ方法で、連結するチャイムまたはメッセージを登録します。
3．［連結］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧に、連結された内容が表示されます。

定時放送

| | 時刻 | コメント | チャイム | メッセージ | 回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 8:30:00 | 朝の音楽 | | 11 | 1 |
| 2 | 8:45:00 | ラジオ体操 | | 1 | 1 |
| 3 | ↓ | 連結チャイム | 3 | | |
| 4 | 8:55:00 | 業務開始予告 | 4 | 2 | 1 |

８時４５分のラジオ体操に、チャイム（3ch）が連結された例

※連結放送は、最大 20 ステップまで登録できます。

## ■ 時報を放送するには

「装置設定　時報の使用」（74 ページ）を「する」に設定すると、設定した時刻に時報 “午後（午前）○時○分をお知らせします。” を放送することができます。

1．「定時放送の登録のしかた」の手順②～④のあと、［時報］をクリックしてチェックを付けます。
2．［新規］ボタンをクリックします。
・定時放送一覧に、登録した内容が時報として表示されます。

| | 時刻 | コメント | チャイム | メッセージ | 回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 17:40:00 | 業務終了 | 1 | | |
| 12 | ↓ | 残業 | | 12 | 1 |
| 13 | 18:00:00 | 18時の時報 | 時報 | | |
| 14 | | | | | |

## ■ 修正をするには

1．「定時放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいステップを選び、修正します。
2．［変更］ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

## ■ 削除をするには

1．「定時放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいステップを選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧から削除されます。

**ワンポイント**

● 連続した複数行を選ぶには
最初の行をクリックします。
キーボードの「Shift」キーを押したままで、最後の行をクリックします。
● 連続しない複数行を選ぶには
キーボードの「Ctrl」キーを押したままで、希望の行をクリックします。

## ■ ステップを挿入するには

1．「定時放送の登録のしかた」の手順④で、挿入したい放送時刻を入力します。
2．［新規］ボタンをクリックすします。
・入力した時刻で新しいステップが追加挿入されます。

## ■ 総稼動時間について

集計表示欄には、「登録のしかた」の手順③で、コメントが「開始」と付いた時刻から「終了」と付いた時刻までの合計時間が表示されます。

**ワンポイント**

● 定時放送は、１パターンあたり最大 64 ステップまで登録できます。
●「装置設定　時刻の最小単位」（74 ページ）で、［秒］を選択している場合は、放送時刻の入力欄が次の表示となり、秒単位で時刻設定ができます。

時刻 8 時 30 分 0 秒

● 定時放送の放送時刻を秒単位で指定する場合は、直前のステップから 30 秒以上の間隔を開けてください。
● 連結放送の登録で、定時放送の設定のない時刻で［連結］ボタンをクリックすると、次の警告表示となり登録できません。

● 時報は、分単位で放送されます。放送時刻が秒まで設定されている場合、秒の単位は “0” になります。
● 時報に続けて他のチャンネルを連結放送することができますが、時報を連結放送に設定することはできません。

## （2）BGM 放送の登録

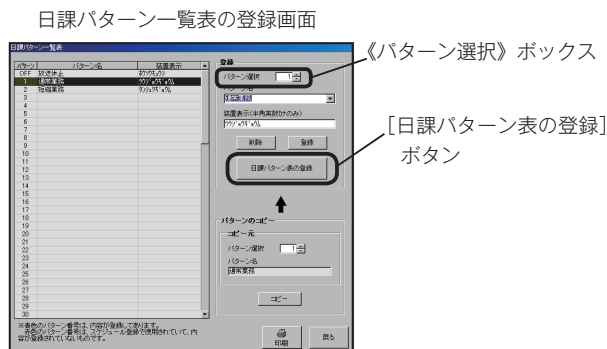
BGM 放送では、外部の音源または本体装置内のメッセージチャンネルの音源が使用できます。

### ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、[ 2． 日課パターン ] ボタンをクリックします。
　・日課パターン一覧表の登録画面になります。

2．《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
　・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
　・次の方法でも選択できます。
　　A：[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定する。
　　B：日課パターン一覧の行をクリックする。

3．[日課パターン表の登録] ボタンをクリックします。
　＊日課パターン表の登録画面になります。
　＊ BGM ／間隔放送タブをクリックすると、BGM ／間隔放送の登録画面になります。

日課パターン一覧表の登録画面

### ■ BGM 放送の登録のしかた

**[定時放送] タブ**
定時放送を登録するときクリックします。

**BGM 一覧**
ステップごとに BGM 内容を表示します。1 パターンあたり、最大 6 ステップまで登録できます。

**③開始時刻の入力**
《開始時刻》ボックスへ、BGM 開始時刻を入力します。
・[▲ / ▼]ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は、24 時間制で入力します。

**④終了時刻の入力**
《終了時刻》ボックスへ、BGM 終了時刻を入力します。
・[▲ / ▼]ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は、24 時間制で入力します。

**① BGM 放送登録の呼び出し**
[BGM ／間隔放送] タブをクリックします。
・BGM ／間隔放送の登録画面になります。

**[削除] ボタン**

**[印刷] ボタン**
クリックすると、日課パターン表を印刷します。詳しくは、「第 5 章 共通編　登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

**②ステップの指定**
BGM 一覧のステップをクリックします。
・BGM 一覧の選択されたステップが反転表示になります。

**⑤ BGM のコメント入力**
《コメント》ボックスへ、その時刻に放送する内容のコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で、15 文字以内です。

**⑥ BGM 種類の選択**
BGM として放送するメッセージ ch または外部音源を選択します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定します。

**⑦登録**
[登録] ボタンをクリックすると、登録した内容が BGM 一覧に表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑥を繰り返します。

**⑧登録の終了**
登録を終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧表の登録画面に戻ります。

### ■ 修正をするには

1．「BGM 放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいステップを選び、修正します。
2．[登録] ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
　[はい] ボタンをクリックします。
　・BGM 一覧に、修正された内容が表示されます。

### ■ 削除をするには

1．「BGM 放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいステップを選びます。
2．[削除] ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
　[はい] ボタンをクリックします。
　・BGM 一覧から削除されます。

## （3）間隔放送の登録

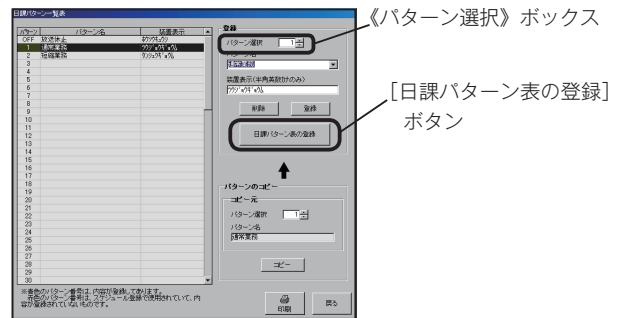
間隔放送では、本体装置内のメッセージチャンネルの音源６種類が使用できます。

### ■ 登録画面の呼び出し

日課パターン一覧表の登録画面

1．【スケジュール設定初期画面】で、［２．日課パターン］ボタンをクリックします。
  ・日課パターン一覧表の登録画面になります。

2．《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
  ・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
  ・次の方法でも選択できます。
   A：［▲／▼］ボタンをクリックして、指定する。
   B：日課パターン一覧の行をクリックする。

3．［日課パターン表の登録］ボタンをクリックします。
  ＊日課パターン表の登録画面になります。
  ＊ BGM ／間隔放送タブをクリックすると、BGM ／間隔放送の登録画面になります。

### ■ 間隔放送の登録のしかた

**［定時放送］タブ**
定時放送を登録するときクリックします。

**間隔放送欄**
間隔放送の内容を表示します。１パターンあたり、１ステップのみ登録できます。

**①間隔放送登録の呼び出し**
［BGM ／間隔放送］タブをクリックします。
・BGM ／間隔放送の登録画面になります。

**②間隔放送の指定**
間隔放送欄をクリックします。
・間隔放送欄が反転表示になります。

**③開始時刻の入力**
《開始時刻》ボックスへ、放送開始時刻を入力します。
・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は、24 時間制で入力します。

**④終了時刻の入力**
《終了時刻》ボックスへ、放送終了時刻を入力します。
・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は、24 時間制で入力します。

**⑤間隔時間の入力**
《間隔時間》ボックスへ、間隔時間を入力します。
・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・１分単位で最大 99 分まで指定できます。

※間隔放送は、開始時刻からカウントした間隔時間で放送します。

**［削除］ボタン**

**［印刷］ボタン**
クリックすると、日課パターン表を印刷します。詳しくは、「第５章 共通編　登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

**⑥メッセージの入力**
《メッセージ》ボックスへ、放送１から順に、メッセージのチャンネル番号を入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・放送しないボックスは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

**⑦登録**
［登録］ボタンをクリックすると、登録した内容が間隔放送欄に表示されます。

**⑧登録の終了**
登録を終わるとき、［戻る］ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧表の登録画面に戻ります。

### ■ 修正をするには

1．間隔放送欄をクリックして選び、修正します。
2．［登録］ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
  ［はい］ボタンをクリックします。
  ・間隔放送欄に、修正された内容が表示されます。

### ■ 削除をするには

1．間隔放送欄をクリックして選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
  ［はい］ボタンをクリックします。
  ・間隔放送欄から削除されます。

# 3．年間スケジュールの登録

日課パターンの登録で作成した日課パターン番号をカレンダーに割り付けして、年間スケジュールを登録します。
年間スケジュールには、通年スケジュールと特定日スケジュールがあります。

◆通年スケジュールは、毎年、繰り返されるスケジュールで、月間スケジュール・祝日スケジュール・休日スケジュールがあります。

◆特定日スケジュールは、臨時休業など指定した年月日にのみ、適用されます。

## 3-1. 年間スケジュール登録画面

### ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［3．年間スケジュール］ボタンをクリックします。

・【年間スケジュール】の登録画面になります。

・登録画面は、月毎のカレンダーで６ヶ月分表示され、登録済みの日課パターン番号を表示します。

### ■ 登録画面の構成

| | 名　前 | 機　能 |
|---|---|---|
| ① | 《ジャンプ》ボックス | ［▼］ボタンをクリックして年月を指定すると、その年月から６ヶ月分を表示します。<br>※年は、現在の年から９年先まで指定できます。 |
| ② | ［前の６ヶ月］ボタン | クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、６ヶ月前から６ヶ月分を表示します。 |
| ③ | ［次の６ヶ月］ボタン | クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、６ヶ月後から６ヶ月分を表示します。 |
| ④ | ［今日］ボタン | クリックすると、今日の月から６ヶ月分を表示します。 |
| ⑤ | ［全て削除］ボタン | クリックすると、登録されている特定日スケジュールを全て削除します。 |
| ⑥ | ［カレンダー年月］タブ | タブをポイントすると、（＋）の拡大アイコンが表示され、クリックするとその月を拡大表示します。拡大表示のときにタブをポイントすると、（−）のアイコンが表示され、クリックすると元に戻ります。 |
| ⑦ | ［月間スケジュール］ボタン | 月間スケジュールを登録するときにクリックします。 |
| ⑧ | ［祝日スケジュール］ボタン | 祝日スケジュールを登録するときにクリックします。 |
| ⑨ | ［休日スケジュール］ボタン | 休日スケジュールを登録するときにクリックします。 |
| ⑩ | ［印刷］ボタン | 特定日または年間スケジュールを印刷するときにクリックします。 |
| ⑪ | ［戻る］ボタン | 【スケジュール設定初期画面】に戻すときにクリックします。 |

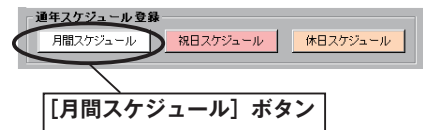
## 3-2. 月間スケジュールの登録

通年で使用する月間の曜日スケジュールを登録します。この月間スケジュールが自動放送の基本となります。

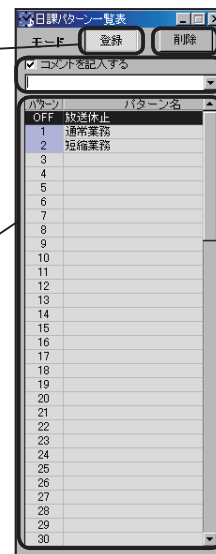
### ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［3．年間スケジュール］ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】の画面になります。

2．【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、［月間スケジュール］ボタンをクリックします。
・月間スケジュールの登録画面になります。（【月間スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面）

**通年スケジュール登録欄**

［月間スケジュール］ボタン

### ■ 登録のしかた

**①登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・第何週の曜日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**②パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**［削除］ボタン**

**《コメント》ボックス**
コメントを登録しておくと
＊該当曜日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2.《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

日課パターン一覧表
モード　登録　削除
コメントを記入する

| パターン | パターン名 |
|---|---|
| OFF | 放送休止 |
| 1 | 通常業務 |
| 2 | 短縮業務 |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |
| 6 | |
| 7 | |
| 8 | |
| 9 | |
| 10 | |
| 11 | |
| 12 | |
| 13 | |
| 14 | |
| 15 | |
| 16 | |
| 17 | |
| 18 | |
| 19 | |
| 20 | |
| 21 | |
| 22 | |
| 23 | |
| 24 | |
| 25 | |
| 26 | |
| 27 | |
| 28 | |
| 29 | |
| 30 | |

**［曜日］ボタン**

**［全選択］ボタン**

**［週］ボタン**

月間スケジュール

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 第2 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 第3 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 第4 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 第5 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |

印刷　戻る

**③パターン番号の登録**
第何週の該当曜日をクリックします。
・続けて登録するときは、②〜③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［曜日］ボタンをクリックすると、その曜日の全部の週に同じ日課パターンを登録します。
＊［週］ボタンをクリックすると、その週の全曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊［全選択］ボタンをクリックすると、全曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**［印刷］ボタン**
クリックすると、月間スケジュールを印刷します。詳しくは、「第５章 共通編　登録内容を印刷する」（138ページ）を参照してください。

**④登録の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

### ■ スケジュールを削除するには

1．日課パターン一覧表の、［削除］ボタンをクリックします。
・第何週の曜日をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。

2．削除したい第何週の該当曜日をクリックします。
・前のスケジュールが削除され、「OFF（放送休止）」が表示されます。

**ワンポイント**

● 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。［戻る］ボタンなどをクリックして、再表示させると黒色になります。

## 3-3. 祝日スケジュールの登録

通年で使用する祝日スケジュールを登録します。国民の祝日は、あらかじめ登録されていますが、それ以外にも全体で 25 日分登録できます。

### ■ 登録画面の呼び出し

1.【スケジュール設定初期画面】で、［3. 年間スケジュール］ボタンをクリックします。
   ・【年間スケジュール】の画面になります。
2.【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、［祝日スケジュール］ボタンをクリックします。
   ・祝日スケジュールの登録画面になります。（【祝日スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面）

**通年スケジュール登録欄**

**［祝日スケジュール］ボタン**

### ■ 登録のしかた

**①登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・祝日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**②パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**［削除］ボタン**

### ■ スケジュールを削除するには

1. 日課パターン一覧表の、[削除]ボタンをクリックします。
   ・祝日一覧をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
2. 祝日一覧で削除したい日課パターン番号をクリックします。
   ・日課パターン番号が空欄になります。

**祝日一覧**
祝日の内容を表示します。

**③パターン番号の登録**
該当の祝日をクリックします。
・続けて登録するときは、②〜③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［祝日］ボタンをクリックすると、全部の祝日に同じ日課パターンを登録します。
＊［振替休日］ボタンをクリックすると、全振替休日に同じ日課パターンを登録します。
＊［日曜祝日］ボタンをクリックすると、全日曜祝日に同じ日課パターンを登録します。
＊［全選択］ボタンをクリックすると、祝日・振替休日・日曜祝日の全てに同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**［祝日の編集］ボタン**
祝日の変更や追加、削除するとき、クリックします。

**④登録の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

**［印刷］ボタン**
クリックすると、祝日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第５章 共通編 登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

## ■ 祝日の編集のしかた

国民の祝日に変更があったり、追加、削除があるときこの編集機能で登録します。

1．【祝日スケジュール】画面で、［祝日の編集］ボタンをクリックします。
　・祝日スケジュールの編集画面になります。

### ● 祝日を追加する場合

### ● 祝日を修正する場合

1．祝日一覧の修正したい行をクリックします。
2．修正したい項目を選んで、「祝日を追加する場合」の手順②～⑤と同じ手順で修正します。
　・⑤で［登録］ボタンをクリックすると、「上書きしますか？」と表示されます。［はい］ボタンをクリックします。
3．［祝日の編集］ボタンをクリックして、祝日スケジュールの登録画面に戻り、日課パターン番号を登録します。
　・月日順に並び替えて、祝日一覧に表示されます。

### ● 祝日を削除する場合

1．祝日一覧で削除したい行をクリックします。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
　［はい］ボタンをクリックします。
　・祝日一覧から削除されます。

● 振替休日とは、祝日が日曜日と重なった場合、その直後の「国民の祝日でない日」をいいます。
● 日曜祝日とは、祝日が日曜日と重なった祝日をいいます。
● 変動日の祝日は、振替休日と日曜祝日がありません。

**ワンポイント**

● 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。
　[ 戻る ] ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。
● 祝日として登録できる日数は最大 25 日です。

## 3-4. 休日スケジュールの登録

通年で使用する祝日以外のお客様独自の休日スケジュール（例えば、夏休みや正月休みなど）を登録します。

### ■ 登録画面の呼び出し

1.【スケジュール設定初期画面】で、［3. 年間スケジュール］ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】の画面になります。

2.【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、［休日スケジュール］ボタンをクリックします。
・休日スケジュールの登録画面になります。(【休日スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面)

**通年スケジュール登録欄**

［休日スケジュール］ボタン

### ■ 登録のしかた

**①登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・休日一覧の日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**［削除］ボタン**

**《コメント》ボックス**
コメントを登録しておくと
＊該当休日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2.《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

**②パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**［全選択］ボタン**

**［日］ボタン**

**③パターン番号の登録**
該当の休日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［日］ボタンをクリックすると、全月のその日に同じ日課パターンを登録します。
＊［月］ボタンをクリックすると、その月全部に同じ日課パターンを登録します。
＊［全選択］ボタンをクリックすると、1年間の全てに同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**［月］ボタン**

**休日一覧**
年間の休日を表示します。

**④登録の終了**
登録を終わるとき、［戻る］ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

**［印刷］ボタン**
クリックすると、休日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編　登録内容を印刷する」(138ページ) を参照してください。

### ■ スケジュールを削除するには

1. 日課パターン一覧表の、［削除］ボタンをクリックします。
・休日一覧の日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。

2. 削除したい日付をクリックします。
・空欄になります。

**ワンポイント**

● 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。
［戻る］ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

## 3-5. 特定日スケジュールの登録

臨時休業など、指定した年月日のみに適用される特定日スケジュールを登録します。

### ■ 登録のしかた

登録画面は、年間スケジュールの登録画面を使います。

**①カレンダー選択**
カレンダーを選択します。くわしくは、「年間スケジュール登録画面」（64 ページ）をご覧ください。

**②登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**③パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**［全て削除］ボタン**

**［削除］ボタン**

**《コメント》ボックス**
コメントを登録しておくと
＊該当特定日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2.《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

**［曜日］ボタン**

**④パターン番号の登録**
該当の日付をクリックします。
・続けて登録するときは、①〜④を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［曜日］ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると､その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**［印刷］ボタン**
クリックすると、特定日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第５章 共通編　登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

**⑤登録の終了**
登録を終わるとき、［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

### ■ 特定日スケジュールを削除するには

1.「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2. 日課パターン一覧表の､［削除］ボタンをクリックします。
   ・年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
3. 削除したいカレンダーの日付をクリックします。
   ・特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

### ■ 全ての特定日スケジュールを削除するには

1.［全て削除］ボタンをクリックします。
2.【削除しますか？　削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。】と表示されます。
   ［はい］ボタンをクリックします。
   ・全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

**ワンポイント**

● ［カレンダー年月］タブをポイントすると、〈＋〉の拡大アイコンが表示され、クリックすると、その月のみ拡大表示します。
拡大表示のとき［カレンダー年月］タブをポイントすると、〈－〉の縮小アイコンが表示され、クリックすると、元に戻ります。

●登録や削除をしたときは、パターン番号は赤色で表示されます。［戻る］ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

# 4．年間スケジュール表の確認

登録してあるスケジュールを確認します。ここでは、登録や修正はできません。

## ■ 確認画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［4．年間スケジュール表］ボタンをクリックします。

・【年間スケジュール表】画面（確認画面）になります。

## ■ 確認のしかた

## 5．装置設定の登録

本装置が接続される放送設備との信号のやりとりや、使用するチャイムの条件、リモート放送の設定などを登録します。

### ■ 装置設定の内容一覧

| 番号 | 項目 | 登録内容 | 設定可能範囲 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | アンプの起動時間 | 放送設備のアンプなどが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。 | 0 ～ 15 秒 | 5 秒 |
| 2 | BGM の起動時間 | BGM 音源（外部音源装置）が起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。<br>起動信号を必要としない場合は、“0” を登録します。 | 0 ～ 15 秒 | 5 秒 |
| 3 | 外部チャイムの起動時間 | 外部チャイムが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。 | 0 ～ 15 秒 | 5 秒 |
| 4 | 外部チャイムの継続時間 | 外部チャイムの放送時に、外部チャイムを何秒間鳴らすか設定します。 | 1 ～ 999 秒 | 25 秒 |
| 5 | 外部チャイムの自己保持 | 外部チャイムの起動信号自己保持の有無を設定します。自己保持機能がある場合は「あり」に設定します。 | なし／あり | なし |
| 6 | 時刻修正 | 後面の時刻修正端子を使用するときに、時刻修正信号の種類によって設定します。 | ± 30 秒／ 50 ～ 10 秒／<br>NTP サーバ | ± 30 秒 |
| 7 | NTP サーバ | ネットワークで時刻修正を行なう場合のNTP サーバアドレスを設定します。未使用の場合はすべて 0 を設定します。 | — | 設定なし |
| 8 | ［± 30 秒／ 50 ～ 10 秒］<br>修正する時間帯 | 時刻修正を行なう時間帯を設定します。 | 0 時 0 分～ 23 時 59 分 | 0 時 50 分<br>1 時 10 分 |
|  | ［NTP サーバ］<br>修正する時刻　（※ 1） | 時刻修正を行なう時刻を設定します。 | 0 時 0 分～ 23 時 59 分 | 1 時 0 分 |
| 9 | 時刻の最小単位 | 登録時刻の最小単位を設定します。 | 分／秒 | 分 |
| 10 | 時報の使用 | 日課パターンの設定で、音源に時報を使用するか設定します。 | 使用しない／使用する | 使用しない |
| 11 | アナキーパー（※ 2） | 外部 BGM 放送中に定時放送が始まったときのフェードアウトした BGM の音量を設定します。完全にフェードアウトする場合は「なし」を登録します。 | なし／小／中／大 | なし |
| 12 | リモート放送の使用 | 後面のリモート端子を使った、リモート放送を使用する／使用しないを設定します。使用する場合はモードを選択します。 | 使用しない<br>使用する（標準：5）<br>使用する（オプション：31）<br>使用する（オプション：50） | 使用しない |

（※ 1）NTP サーバによる時刻修正は、PBS-D500Ⅱ 本体と NTP サーバの日付が異なる場合には修正できません。
（※ 2）外部チャイムを使用する場合は、アナキーパー機能は使用できません。「なし」に設定してください。

## ■ 登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［5．装置設定］ボタンをクリックします。

・【装置設定】の登録画面になります。

## ■ 登録のしかた

**●アンプ・BGM・外部チャイムの起動時間／外部チャイムの継続時間（項目番号：1～4）**

1．設定一覧の該当する行をクリックします。

・右の登録画面を表示します。

2．［テンキー］をクリックして秒数を入力します。

・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

・［クリア］ボタンをクリックすると、最小値が登録されます。

**●外部チャイムの自己保持（項目番号：5）**

1．設定一覧の「項目番号5」の行をクリックします。

・右の登録画面を表示します。

2．［なし］または［あり］のオプションボタンをクリックします。

・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

**●時刻修正（項目番号：6）**

1．設定一覧の「項目番号6」の行をクリックします。

・右の登録画面を表示します。

2．[±30秒]、[50～10秒]、[NTPサーバ]のオプションボタンをクリックして選択します。

・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

### ● NTP サーバ（項目番号：7）

「項目番号 6：時刻修正」で「NTP サーバ」を選択したときに有効になります。

1．設定一覧の「項目番号 7」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．NTP サーバの IP アドレスを登録します。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※［クリア］ボタンをクリックすると、すべて 0 に設定されます。

### ●修正する時刻（項目番号：8）

◆「項目番号 6:時刻修正」が［± 30 秒］、[50 ～ 10 秒］の場合

1．設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．時および分の[▼]をクリックして、時分を登録します。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

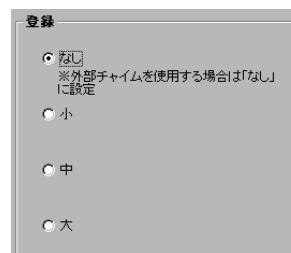
※修正する時間帯は、放送時間帯を避けて登録してください。

◆「項目番号 6：時刻修正」が［NTP サーバ］の場合

1．設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．時および分の[▼]をクリックして、時分を登録します。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※修正する時刻は、放送時間帯を避けて登録してください。

### ●時刻の最小単位（項目番号：9）

1．設定一覧の「項目番号 9」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．日課パターン登録時の時刻設定の最小単位［分］または［秒］のオプションボタンをクリックします。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
　・［秒］を選択すると【日課パターン表】の登録画面で、時刻の設定が「時」「分」「秒」で登録できます。

### ●時報の使用（項目番号：10）

1．設定一覧の「項目番号 10」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．日課パターン登録時、音源に時報を使用「する／しない」のオプションボタンをクリックします。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
　・［する］を選択すると【日課パターン表】の登録画面で、時報の設定ができます。

### ●アナキーパー（項目番号：11）

1．設定一覧の「項目番号 11」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．「なし」、［小］、「中」、［大］のオプションボタンをクリックします。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
　・外部チャイムを使用する場合は、アナキーパー機能は使用できません。［なし］に設定します。

### ●リモート放送の使用（項目番号：12）

1．設定一覧の「項目番号 12」の行をクリックします。
 ・右の登録画面を表示します。

2．［使用しない］、［使用する（標準：5）］、［使用する（オプション：31）］または［使用する（オプション：50）］のオプションボタンをクリックします。
 ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
 ・［使用する］を選択すると、設定一覧にリモート端子番号を表示します。

リモート端子番号を
表示します。

### ●リモート端子の設定（標準：5 の例）

1．設定一覧の「項目番号 13 ～ 17」（リモート 1 ～ 5）の設定する行をクリックします。
 ・右の登録画面を表示します。

2．［開始チャイム］および［終了チャイム］を使用する場合は、チャイムのチャンネル番号を入力します。
 ・［▼］ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

3．メッセージ一覧で、放送するメッセージをクリックして選択します。
 ・送出回数設定欄が有効になります。
 ・メッセージ放送をしない場合は［OFF］を選択します。

4．メッセージの送出回数をクリックして選択します。
 ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

続けて他のリモート端子の設定を行なう場合は、1 ～ 4 を繰り返します。

クリックすると、チャイム一覧を表示します。

チャイム一覧

メッセージを選択して、送出回数を指定します。

**ワンポイント**

●リモート放送で、別売の「リモートアダプタ PBS-D500 RA」、または「LAN アダプタ PBS-LA500」を使用する場合は、（項目番号 12：リモート放送の使用）を“使用する（オプション：50）”に設定してください。（オプション:31）は使用できません。

# 6．装置用データの作成

本ソフトで作成した放送スケジュールデータやメッセージなどを、本体装置で読み込むための装置用データを作成します。
装置用データは、USB メモリを使用して本体装置で読み込みます。
1 個の USB メモリには 1 種類の装置用データが書き込みできます。複数の装置用データを書き込むことはできません。

## ■ 登録画面の呼び出し

1．USB メモリを接続します。
2．【スケジュール設定初期画面】で、［6．装置用データ作成］ボタンをクリックします。
・【装置用データ作成】画面になります。

### ●スケジュールデータの作成

**①スケジュール名の登録**
スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付け、スケジュール名を入力します。
・スケジュール名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

**作成対象**
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・スケジュールチェックボックスをチェックすると、スケジュールのアイコンが有効表示します。

**②作成先選択**
［▼］をクリックして、USB メモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は［更新］ボタンをクリックします。

**［音源ファイルの割り付け］ボタン**
外部音源を自作チャイムやメッセージに割り付けるときクリックします。

**④装置用データ作成の終了**
装置用データ作成を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

**③作成**
［作成］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。※

USB メモリが接続されたドライブを選択して［停止］ボタンをクリックします。
・USB メモリが安全に取り外しできます。

※ Windows Vista 以外ではハードウェア取り外しの案内メッセージが表示されません。タスクバーの隠れているインジケーターにおける「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして取り外してください。

### 装置用データ作成時の確認画面について

スケジュールデータを作成するとき、USB メモリに以前に作成したスケジュールファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることが有ります。案内の指示に従って操作してください。
・古いスケジュールファイルがある場合

［はい］ボタンをクリックすると、新しいスケジュールファイルに書き換わります。
［いいえ］ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

### ワンポイント

●USB メモリを接続するドライブ名は、あらかじめ確認しておいてください。
●作成先ドライブを制御用パソコンのハードディスクなど、USB メモリ以外に指定することもできます。
●チャイムやメッセージの音源も同時に作成する場合は、［音源ファイルの割付］ボタンをクリックして割付画面を開いた状態にしてください。音源の割り付けを行なっても、画面を閉じるとデータの作成ができません。

### エラー表示について

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。
●警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。
●注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ［次へ］ボタンをクリックすると装置用データの作成を継続します。
・エラー表示例

## ●音源ファイルの割り付け

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて装置用データとして作成します。
スケジュールデータを作成しない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。
スケジュールデータと同時に作成する場合は、「スケジュールデータの作成」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

### ◆自作チャイムの作成

**①作成先選択**
［▼］をクリックして、USBメモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は［更新］ボタンをクリックします。

**②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**③【チャイム】画面の呼び出し**
［チャイム］タブをクリックします。
・【自作チャイム一覧】画面を表示します。

**作成対象**
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**④音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。

音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**⑤音源の割り付け**
チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**（A）割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**（B）音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_＊＊.wav」として作成してください。“＊＊”は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**⑥作成**
［作成］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。※

USBメモリが接続されたドライブを選択して［停止］ボタンをクリックします。
・USBメモリが安全に取り外しできます。

**⑦装置用データ作成の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

※ Windows Vista 以外ではハードウェア取り外しの案内メッセージが表示されません。タスクバーの隠れているインジケーターにおける「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして取り外してください。

### 装置用データ作成時の確認画面について

音声データを作成するとき、USBメモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることが有ります。案内の指示に従って操作してください。
・古い音声ファイルがある場合

［はい］ボタンをクリックすると、古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。
［いいえ］ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

## ◆メッセージの作成

**①作成先選択**
［▼］をクリックして、USB メモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は［更新］ボタンをクリックします。

**②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**③【メッセージ】画面の呼び出し**
［メッセージ］タブをクリックします。
・【メッセージ一覧】画面を表示します。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**作成対象**
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**④音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。

音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**⑤音源の割り付け**
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**（A）割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**（B）音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_＊＊.wav」として作成してください。“＊＊” はメッセージのチャンネル番号（ch1 ～ 99）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**⑥作成**
［作成］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。※

USB メモリが接続されたドライブを選択して［停止］ボタンをクリックします。
・USB メモリが安全に取り外しできます。

**⑦装置用データ作成の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

※ Windows Vista 以外ではハードウェア取り外しの案内メッセージが表示されません。タスクバーの隠れているインジケーターにおける「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして取り外してください。

### 装置用データ作成時の確認画面について

音声データを作成するとき、USB メモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることが有ります。案内の指示に従って操作してください。
・古い音声ファイルがある場合

［はい］ボタンをクリックすると、古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。
［いいえ］ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

**ワンポイント**

●本システムで使用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。本体装置以外で音源を作成する場合は、これらのファイル形式で作成してください。
・μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz

# ネットワーク機能（一般用）

本体装置と制御用パソコンを同じネットワーク（LAN）に接続して、放送スケジュールの臨時変更やデータの転送、自動放送の開始／停止、手動放送などを、制御用パソコンからネットワーク経由で行うことができます。
これらのネットワーク経由の操作は、本体装置が自動放送セット中でも行なうことができます。

## ■ 初期画面の構成

【初期画面】で[ネットワーク機能]タブをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】を表示します。

**操作選択ボタン**
各操作は、次の操作選択ボタンをクリックすることから始めます。
グレー表示のボタンは、ネットワーク設定で「ネットワーク接続を使用する」に設定すると有効になります。

● **［ネットワーク設定］ボタン**
ネットワーク機能を「使用する／使用しない」、IP アドレスの登録など、ネットワーク接続の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［本日スケジュール］ボタン**
本日スケジュールのステップ変更や、放送時間の繰上げ・繰下げ／休止の登録画面を呼び出すときにクリックします。

● **［繰上げ、繰下げ、休止］ボタン**
設定済みのスケジュールを、翌日以降の指定した日付単位で「繰上げ、繰下げまたは放送休止」する登録画面を呼び出すときにクリックします。

● **［年間スケジュール］ボタン**
年間スケジュールで、特定日を登録する画面を呼び出すときにクリックします。

● **［データ書込］ボタン**
スケジュールやメッセージなどのデータを、制御用パソコンから本体装置へ書き込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。

● **［データ読込］ボタン**
本体装置に登録されているスケジュールやメッセージなどのデータや、リモート放送の履歴を制御用パソコンに読み込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。

● **［スケジュール確認］ボタン**
本体装置に登録されているスケジュールを確認するときにクリックします。

● **［手動放送］ボタン**
制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送する操作画面を表示するときにクリックします。

### STOP お願い

●自動放送セット中にネットワーク機能でデータの転送や書き込みを行なうと、自動放送は一旦解除され、転送が終了すると自動的に再セットされます。従って定時放送などの放送中は放送が中断されます。放送中の操作は避けていただくことをお薦めします。
また、転送が終了したときに、本体装置がリモート放送を行なっている場合は、右の表示となり、自動再セットができません。
［自動放送］ボタンをクリックして、再セットしてください。

# 1．ネットワーク設定の登録

本体装置と制御用パソコンを LAN 接続で使用する場合のネットワーク接続の登録を行ないます。

## ■ 登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［ネットワーク設定］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク接続の設定】画面になります。

## ■ 登録のしかた

**①ネットワーク接続を使用する**
チェックボックスをクリックして「ネットワークを使用する」にします。
・接続先ネットワーク情報および［接続テスト］ボタンが有効になります。

**接続テスト**
［接続テスト］ボタンをクリックすると、本体装置との接続確認ができます。
・接続ができると、次の表示となります。

［OK］ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定】画面に戻ります。

・接続できない場合は、次の表示となります。

［OK］ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定画面】に戻ります。本体装置の登録などを確認してください。

**②接続先ネットワーク情報**
本体装置の IP アドレスを入力します。
通常、ポート番号は変更しないでください。

**③登録**
［登録］ボタンをクリックすると、【ネットワーク機能初期画面】（下図）を表示します。
・操作選択ボタンは、全てのボタンが有効になります。

**④ネットワーク接続設定の終了**
ネットワーク接続設定を終わるときに［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

【ネットワーク機能初期画面】

**［操作選択］ボタン**
パスワードを設定していないとき、およびマスターパスワードでログインしたときは、全てのボタンが選択できます。

**ワンポイント**

● ネットワーク機能を使用して、本日スケジュールの臨時変更や設定データの転送などを行なう場合、本体装置と接続できるパソコンは１台のみです。同時に２台以上のパソコンで操作することはできません。
・上記の場合でも、別のパソコンから「スケジュール確認」、「LAN 手動放送」の操作はできます。

● ネットワーク機能を使用しない場合は、チェックボックスのチェックを外して［登録］ボタンをクリックします。［ネットワーク設定］ボタン以外の操作選択ボタンがグレー表示の【ネットワーク機能初期画面】になります。

**ワンポイント**

● 本体装置で操作中は、「ネットワーク設定」以外のネットワーク機能は操作できません。［操作選択］ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。

**LAN 接続中の本体装置の表示**

LAN 接続でご使用の場合、制御用パソコンでの操作により本体装置に次のように表示される場合があります。
このときは、本体装置での操作はできません。

＜ LAN ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ ﾃﾞｽ ＞
ﾎﾝﾀｲｿｳｻ ﾃﾞｷﾏｾﾝ

ただし、自動放送およびリモート放送は動作します。

## 2．本日スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日のスケジュール変更ができます。本日スケジュール変更には「定時放送ステップの変更」、「BGM ／間隔放送の変更」、「定時放送　繰上げ・繰下げ／休止の変更」の３種類があります。

### ■ 登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［本日スケジュール］ボタンをクリックします。
　・本体装置と接続して、【本日スケジュール】の変更登録画面になります。（本体装置内の本日のスケジュールを表示します。）

### ■ 変更登録のしかた

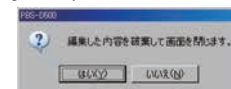
**●定時放送ステップの変更**

**【本体操作パネル】画面**
パネル上のボタンをクリックして、本体装置を操作します。

**①定時放送画面の呼び出し**
［定時放送］タブをクリックします。
・定時放送のスケジュール画面になります。

**②ステップ変更画面の呼び出し**
［ステップ変更］タブをクリックします。
・ステップ変更画面になります。

**③放送内容の変更**
定時放送の登録・修正・削除（60 ページ）と同じ方法で変更します。
・コメントの変更はできません。
・定時放送一覧に変更した内容を表示します。

**④転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。
・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**⑤変更登録の終了**
変更登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。
［はい］ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**［再読込］ボタン**
本体装置のデータを読み込むときにクリックします。

変更されたパターンには、“＊”が付きます。
パターン　1＊

**転送後の【本日スケジュール】画面**

変更された内容が表示されます。
・コメント欄は空欄になります。

**本日スケジュール変更時の本体装置の表示**

ネットワークで本日スケジュールの変更を行なうと、本体装置のパターン番号は、LAN と表示します。

《本日スケジュール確認時の例》

```
2014/ 7/ 9 WED  LAN
[LANｽｹｼﾞｭｰﾙ       ]
```

《自動放送中の例》

```
7/ 9 WED 13:45:08 LAN
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```

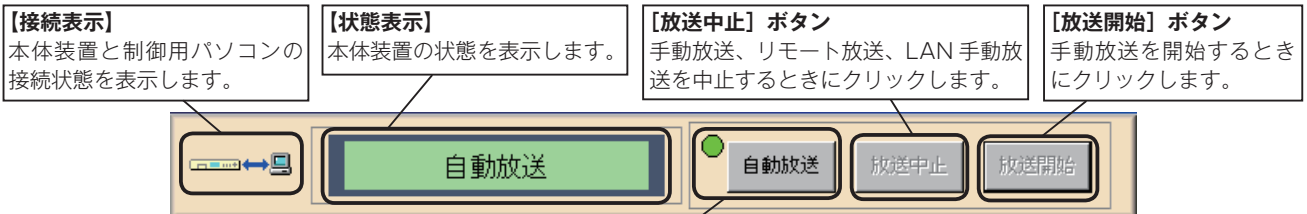
## 本体操作パネル画面について

【ネットワーク機能初期画面】の［ネットワーク設定］ボタン以外の操作ボタンをクリックすると､次の【本体操作パネル】画面を表示します。
※スケジュール確認のときは、【本体操作パネル】画面はグレー表示となります。

**【接続表示】**
本体装置と制御用パソコンの接続状態を表示します。

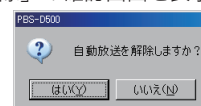
**【状態表示】**
本体装置の状態を表示します。

**［放送中止］ボタン**
手動放送、リモート放送、LAN 手動放送を中止するときにクリックします。

**［放送開始］ボタン**
手動放送を開始するときにクリックします。

**［自動放送］ボタン・ランプ**
自動放送を開始／停止するときにクリックします。

●自動放送の開始
①待機中に［自動放送］ボタンをクリックします。
・「自動放送セット」の確認画面を表示します。

②［はい］ボタンをクリックすると自動放送を開始します。
・自動放送ランプが緑色に変わり、状態表示に【自動放送】と表示します。

●自動放送の停止
①自動放送中に［自動放送］ボタンをクリックします。
・「自動放送解除」の確認画面を表示します。

②［はい］ボタンをクリックすると自動放送を停止します。
・自動放送ランプが黒色に変わります。

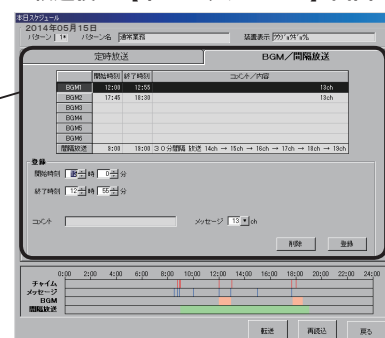
## ● BGM/ 間隔放送の変更

**① BGM ／間隔放送画面の呼び出し**
［BGM ／間隔放送］タブをクリックします。
・BGM ／間隔放送のスケジュール画面になります。

**②放送内容の変更**
BGM ／間隔放送の登録・修正・削除（62、63 ページ）と同じ方法で変更します。
・コメントの変更はできません。
・BGM ／間隔放送一覧に変更した内容を表示します。

**③転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。
・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**転送後の【本日スケジュール】画面**

変更された内容が表示されます。
・コメント欄は空欄になります。

## ●定時放送（繰上げ・繰下げ、休止の変更）

放送時間の繰上げ・繰下げおよび放送休止の変更は、定時放送および BGM ／間隔放送の両方に適用されます。

**①定時放送画面の呼び出し**
［定時放送］タブをクリックします。
・定時放送のスケジュール画面になります。

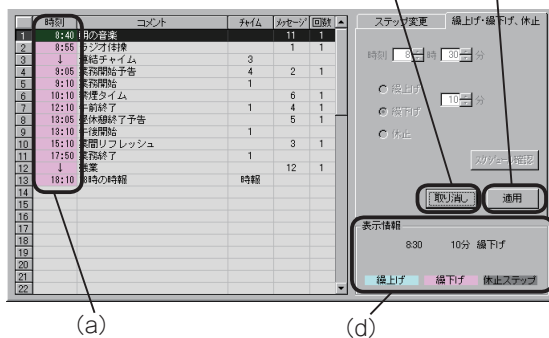
**②繰上げ・繰下げ、休止画面の呼び出し**
［繰上げ・繰下げ、休止］タブをクリックします。

**③時刻の指定**
《時刻》ボックスへ、繰上げ・繰下げ、休止を開始する時刻を入力します。
・［▲ / ▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は 24 時間制で入力します。

**④繰上げ・繰下げ、休止の指定**
繰上げ／繰下げ／休止いずれかのオプションボタンをクリックします。
繰上げ・繰下げの場合は、その時間を入力します。
・［▲ / ▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時間は 1 ～ 60 分の範囲で入力できます。

**⑤スケジュールの確認**
［スケジュール確認］ボタンをクリックすると、繰上げ、繰下げまたは休止を行なったスケジュールの確認ができます。
(a) 繰上げまたは繰下げされた時刻を表示します。
・休止の場合は、該当のステップが網掛けになります。

**定時放送のスケジュール確認画面例**

(b)［取り消し］ボタン
・設定を取り消して、繰上げ・繰下げ、休止画面に戻ります。
(c)［適用］ボタン
・設定を適用して、繰上げ・繰下げ、休止画面に戻ります。
(d) 表示情報
・定時放送一覧に表示されている、スケジュールの情報を表示します。

**BGM ／間隔放送のスケジュール確認画面例**

**⑥転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

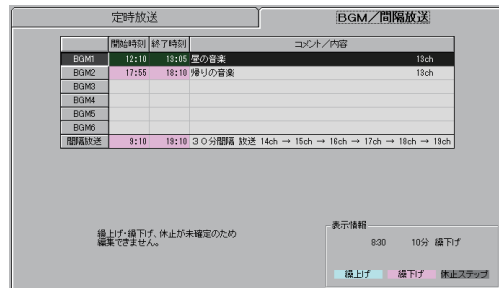
・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**休止のスケジュール確認画面例**

《スケジュール確認したとき》

休止のステップが網掛けになります。

《［適用］ボタンをクリックしたとき》

休止のステップは表示されません。

**ワンポイント**

● BGM ／間隔放送の「開始時刻」または「終了時刻」が休止の時間帯に重なる場合は、休止時間帯での放送は行ないません。

●「装置設定　時刻の最小単位」（74 ページ）を「秒」でご使用の場合は、繰上げ・繰下げはできません。

# 3．繰上げ・繰下げ、休止の変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で、翌日以降の放送スケジュールの繰上げ･繰下げ、休止の変更ができます。

## ■ 登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［繰上げ・繰下げ、休止］ボタンをクリックします。

・本体装置と接続して、【繰上げ・繰下げ、休止】の変更登録画面になります。（本体装置内の繰上げ・繰下げ／休止内容を表示します。）

## ■ 変更登録のしかた

### ●繰上げ・繰下げの変更登録

**①繰上げ・繰下げ変更画面の呼び出し**

［繰上げ・繰下げ］タブをクリックします。

・繰上げ・繰下げ変更画面になります。

**繰上げ・繰下げ一覧**

繰上げまたは繰下げする日付・時刻・時間（分）などを表示します。

・繰上げ・繰下げの変更は、10日間まで登録できます。

**②登録行の指定**

繰上げ・繰下げ一覧で空欄をクリックします。

**［削除］ボタン**

**⑧転送**

変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。

・確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**⑨変更登録の終了**

変更登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。

・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**③日付の指定**

《日付》ボックスへ、変更する日付（年、月、日）を入力します。

・翌日以降の日付が入力できます。

・年、月、日の各［▼］ボタンをクリックして、表示されるリストから指定することもできます。

日付指定欄右端の［▼］ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、日付を指定することもできます。

クリックするとカレンダーを表示します。

日付をクリックします。

※変更された日課パターンには、＊印が付きます。

（a）［《］ボタン

・クリックすると表示月が戻ります。

（b）［》］ボタン

・クリックすると表示月が進みます。

**④時刻の入力**

《時刻》ボックスへ、変更を開始する時刻を入力します。

・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。

・時刻は24時間制で入力します。

**⑤繰上げ・繰下げ時間の入力**

繰上げまたは繰下げ、いずれかのオプションボタンをクリックして、その時間を入力します。

・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。

・時間は1～60分の範囲で入力できます。

**⑥スケジュール参照**

［スケジュール参照］ボタンをクリックすると、該当日の変更後の放送スケジュールが確認できます。

・［定時放送］［BGM／間隔放送］タブで画面を切替えて確認します。

**⑦登録**

［登録］ボタンをクリックすると、繰上げ・繰下げ一覧に登録した内容が表示されます。

・続けて登録するときは、②～⑦を繰り返します。

### ●繰上げ・繰下げ登録を削除するには

1．繰上げ・繰下げ一覧の、削除したい日付を選びます。

2．［削除］ボタンをクリックします。

3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。

［はい］ボタンをクリックします。

・繰上げ・繰下げ一覧から削除されます。

4．［転送］ボタンをクリックします。

**ワンポイント**

●「装置設定　時刻の最小単位」（74ページ）を「秒」でご使用の場合は、繰上げ・繰下げはできません。

## ●休止の変更登録

**休止登録一覧**
放送を休止する日付・時刻を表示します。
・放送休止は、10日間まで登録できます。

**①休止登録画面の呼び出し**
［休止］タブをクリックします。
・休止登録画面になります。

**②登録行の指定**
休止登録一覧で空欄をクリックします。

**③日付の指定**
《日付》ボックスへ、放送休止する日付（年、月、日）を入力します。
・翌日以降の日付が入力できます。
・年、月、日の各［▼］ボタンをクリックして、表示されるリストから指定することもできます。

日付指定欄右端の［▼］ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、日付を指定することもできます。

クリックするとカレンダーを表示します。

日付をクリックします。
※変更された日課パターンには、＊印が付きます。

（a）［《］ボタン
・クリックすると表示月が戻ります。
（b）［》］ボタン
・クリックすると表示月が進みます。

**［削除］ボタン**

**④時刻の入力**
《時刻》ボックスへ、休止を開始する時刻を入力します。
・［▲/▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は24時間制で入力します。

**⑤スケジュール参照**
［スケジュール参照］ボタンをクリックすると、該当日の放送休止のスケジュールが確認できます。

・［定時放送］［BGM／間隔放送］タブで画面を切替えて確認します。

**⑥登録**
［登録］ボタンをクリックすると、休止登録一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑥を繰り返します。

**⑦転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

本体のスケジュールを編集内容で更新します。
はい(Y) いいえ(N)

・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**⑧変更登録の終了**
変更登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

編集した内容を破棄して画面を閉じます。
はい(Y) いいえ(N)

［はい］ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

## ●休止登録を削除するには

1. 休止登録一覧の、削除したい日付を選びます。
2. ［削除］ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか？】と表示されます。
   ［はい］ボタンをクリックします。
   ・休止登録一覧から削除されます。
4. ［転送］ボタンをクリックします。

### 繰上げ・繰下げ、休止変更時の本体装置の表示

ネットワークで繰上げ・繰下げ、休止の変更を行なうと、本体装置の該当日のパターン番号に変更マーク［▶］が付きます。

《年間スケジュール確認時の例》

スケジュール変更マーク

```
2014/ 7/ 9 WED ▸PT 1
[*********        ]
```

# 4．年間スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で年間スケジュールの特定日の変更ができます。

## ■ 登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、[年間スケジュール］ボタンをクリックします。
- 本体装置と接続して、【年間スケジュール】の特定日変更登録画面になります。（本体装置内の特定日カレンダーを表示します。）

## ■ 変更登録のしかた

登録方法は､｢スケジュール設定　3. 年間スケジュールの登録　3-5. 特定日スケジュールの登録｣（69 ページ）と同じです。

**①カレンダー選択**
カレンダーを選択します。

**[曜日］ボタン**

**[全て削除］ボタン**

**②登録**
[ 登録 ] ボタンをクリックします。
- 年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**[削除］ボタン**

**《コメント》ボックス**
コメントを登録しておくと
＊該当特定日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2.《コメント》ボックスへコメントを入力します。
- [▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

**③パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
- 反転表示になります。

**④パターン番号の登録**
該当の日付をクリックします。
- 続けて登録するときは、①～④を繰り返します。

登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［曜日］ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると､その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**⑤転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送］ボタンをクリックします。
- 確認画面を表示します。

- ［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**⑥変更登録の終了**
変更登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
- 【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
- 本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**●特定日スケジュールを削除するには**

1．「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2．日課パターン一覧表の､[削除]ボタンをクリックします。
- 年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。

3．削除したいカレンダーの日付をクリックします。
- 特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

**●全ての特定日スケジュールを削除するには**

1．［全て削除］ボタンをクリックします。
2．【削除しますか？　削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。】と表示されます。
[ はい ] ボタンをクリックします。
- 全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

**ワンポイント**

● 本日スケジュールの変更登録、繰上げ・繰下げ／休止の変更登録によって変更された日課パターンには、番号の前に＊印が付いて表示されます。(例:＊１､＊２)
● 変更されている日課パターンの内、本日分については特定日を登録することで元の日課パターンに戻ります。

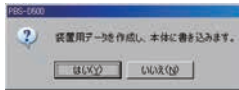
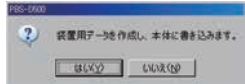
## 5．装置用データの書き込み

本ソフトで作成したスケジュールなどの装置用データを、ネットワーク（LAN）経由で本体装置に書き込みできます。

### ■ データ書き込み画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、[データ書込] ボタンをクリックします。
・本体装置と接続して、【装置用データ書込】画面になります。（編集中のスケジュール内容を表示します。）

### ■ 書き込みのしかた

**●スケジュールデータの書き込み**

**①スケジュール名の登録**
スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付け、スケジュール名を入力します。
・スケジュール名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

**書込対象**
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・スケジュールチェックボックスをチェックすると、スケジュールのアイコンが有効表示します。

**②書き込み**
[書込]ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。
[はい]ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。
[OK] ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体スケジュールの表示は、新しく書き込んだスケジュールの情報を表示します。

**本体スケジュール**
本体装置に登録されているスケジュール名、更新日時などが表示されます。

**[音源ファイルの割り付け] ボタン**
外部音源を自作チャイムやメッセージに割り付けるときクリックします。

**③装置用データ書込の終了**
装置用データの書き込みを終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**ワンポイント**

●スケジュールデータを書き込みしたときは、本体装置に設定されている「本日スケジュールの変更登録」､「繰上げ･繰下げ／休止の変更登録」は､全て消去されます。変更が必要な場合は、再度、変更登録してください。

**エラー表示について**

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。

●警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。

●注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ［次へ］ボタンをクリックすると装置用データの作成を継続します。

・エラー表示例

**●音源ファイルの割り付け**

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて本体装置に書き込みます。
スケジュールデータを書き込みしない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。
スケジュールデータと同時に書き込みする場合は、「スケジュールデータの書き込み」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

**◆自作チャイムの書き込み**

**①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
本体装置内の自作チャイムとメッセージの合計時間を表示します。
・外部音源のチャイムを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**書込対象**
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**②【チャイム】画面の呼び出し**
［チャイム］タブをクリックします。
・【チャイム一覧】画面を表示します。

本体装置内の自作チャイム情報

割り付けした外部音源のチャイム情報

**③音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。

音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。

・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**④音源の割り付け**
チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**(A) 割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**(B) 音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_＊＊.wav」として作成してください。"＊＊" は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**⑤書き込み**
［書込］ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。

［はい］ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間に変わります。
・総録音時間が再計算されて表示されます。

**⑥自作チャイム書込の終了**
自作チャイムの書き込みを終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**ワンポイント**

●録音時間が満杯の状態で、［書込］ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が60分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

## ◆メッセージの書き込み

**①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
本体装置内の自作チャイムとメッセージの合計時間を表示します。
・外部音源のメッセージを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**書込対象**
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**②【メッセージ】画面の呼び出し**
［メッセージ］タブをクリックします。
・【メッセージ一覧】画面を表示します。

本体装置内のメッセージ情報

割り付けした外部音源のメッセージ情報

**③音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。
音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。

・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**④音源の割り付け**
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**（A）割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**（B）音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_＊＊.wav」として作成してください。“＊＊”はメッセージのチャンネル番号（ch1 ～ 99）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**⑤書き込み**
［書込］ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。

［はい］ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間に変わります。
・総録音時間が再計算されて表示されます。

**⑥メッセージ書込の終了**
メッセージの書き込みを終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**ワンポイント**

●本システムで使用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。
・μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz
本体装置以外で音源を作成する場合は、上記のファイル形式で作成してください。

●録音時間が満杯の状態で、［書込］ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が 60 分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

## 6．データの読み込み

本体装置内のスケジュールデータや音源ファイル、および本体装置でリモート放送を行なった履歴（CSV 形式のファイル）などを、ネットワーク（LAN）経由で制御用パソコンに読み込みできます。

### ■ データ読み込み画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［データ読込］ボタンをクリックします。

・本体装置と接続して、【データ読込】画面になります。（本体装置内のスケジュール、チャイム、メッセージ情報を表示します。）

### ■ 読み込みのしかた

**①保存先の指定**

［保存先指定］ボタンをクリックして、本体装置データを保存するフォルダを指定します。

・表示される【フォルダの参照】画面で指定します。

**②スケジュールの選択**

スケジュールデータを読み込む場合は、スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

・スケジュール名、更新日時などが表示されています。

**③チャイム、メッセージの選択**

読み込みする自作チャイムおよびメッセージの選択欄をクリックしてチェックを付けます。

・チェックを外すときは、もう一度クリックします。

・［全選択／選択反転／全解除］ボタンで選択することもできます。

**④リモート放送履歴の選択**

リモート放送の履歴を読み込む場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

・必要であればファイル名を変更します。

**⑤読み込み**

選択した内容に間違いがないことを確認して、［読込］ボタンをクリックします。

・確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、データが指定したフォルダに読み込まれます。

・読み込みが終了すると、編集対象に「する／しない」の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、読み込みしたファイルが本ソフトで開かれ、編集ができます。

・［いいえ］ボタンをクリックした場合は、あとで保存フォルダからファイルを開いて編集します。

**読込対象**

読み込みするデータのアイコンを表示します。

・チャイム、メッセージは選択されたファイル数を表示します。

・選択されていないデータのアイコンは、グレー表示になります。

**［全選択／選択反転／全解除］ボタン**

［全選択］　：クリックすると、表示されている全てのファイルが選択されてチェックが付きます。

［選択反転］：クリックすると、選択ファイルと否選択ファイルが入れ替わります。

［全解除］　：クリックすると、選択されている全てのファイルの選択が解除されてチェックが外れます。

**［再生／停止］ボタン**

**［ログ消去］ボタン**

**［削除］ボタン**

本体装置内の自作チャイムまたはメッセージを削除するときに、該当ファイルをクリックして［削除］ボタンをクリックします。

・確認画面を表示します。

《チャイム削除の場合》

《メッセージ削除の場合》

・［はい］ボタンをクリックすると、録音は消去され、チャイム、メッセージ一覧から削除されます。

**⑥データ読込の終了**

データの読み込みを終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。

・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**ワンポイント**

●リモート放送履歴を読み込むときに、本体装置でリモート放送がない場合は、［読込］ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。

**●読み込んだチャイム、メッセージを再生するには**

チャイムおよびメッセージを選択して読み込みを終了すると、［再生／停止］ボタンが有効になります。
再生したいファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックすると再生が始まります。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

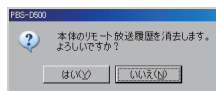
**●リモート放送履歴を確認するには**

読み込まれたリモート放送履歴は、指定した保存先にCSV形式のファイルで、次のように書き込まれます。
・ファイル名：REMOTE.CSV
※ファイル名は、保存時に変更できます。
リモート放送履歴は、表計算ソフトで確認できます。

《リモート放送履歴の例》

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 放送開始日 | 放送開始時刻 | リモート番号 | 開始チャイム | メッセージ | 送出回数 | 終了チャイム | 要求元 | 結果 |
| 2 | 2007/5/18 | 17:12:03 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | リモート端子 | 放送 |
| 3 | 2007/5/21 | 17:32:12 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | リモート端子 | 放送 |

**●リモート放送履歴を消去するには**

リモート放送履歴は、本体装置に100件まで記録され、以後は古い履歴から削除されます。
ネットワークで読み込みしても消去されません。消去するには、［ログ消去］ボタンをクリックします。

・［はい］ボタンをクリックすると、本体装置内のリモート放送履歴は全て消去されます。

**データ読み込み時の確認画面について**

データを読み込むとき、保存先フォルダに以前に作成したファイルがある場合には、次の様な確認画面が表示されます。

・［はい］ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
・［いいえ］ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

スケジュールデータを読み込むとき、現在編集中のスケジュールの場合には、次の様な確認画面が表示されます。

・［はい］ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
・［いいえ］ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

**ワンポイント**

●本体装置から読み込まれたチャイムおよびメッセージは、Waveファイルとして指定したフォルダに保存されます。
ファイル名は、自動的に各チャンネル番号により次のように付けられます。
・チャイム　：CHM_**.wav
（** はチャンネル番号 16 ～ 30）
・メッセージ：MSG_**.wav
（** はチャンネル番号 01 ～ 99）
●「データ読込」で読み込んだチャイムおよびメッセージは、そのときの【データ読込】画面を開いている間のみ再生ができます。

# 7．スケジュール確認

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日スケジュールの確認ができます。この画面では、スケジュールの変更などの操作はできません。

## ■ 確認画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［スケジュール確認］ボタンをクリックします。
・【スケジュール確認】画面になります。

## ■ 確認のしかた

### ●定時放送の確認

**日課パターン情報表示欄**
日付、パターン番号、パターン名、装置表示名が表示されます。

**①【定時放送画面】の呼び出し**
［定時放送］タブをクリックします。
・定時放送の登録画面になります。

**定時放送一覧**
本日の放送スケジュールが表示されます。
・スクロールバーで画面をスクロールして確認できます。

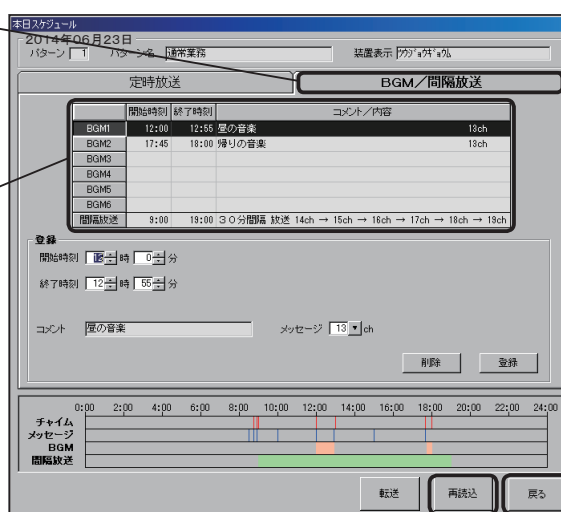
**放送タイムチャート**
放送時刻がタイムチャートで表示されます。

**［再読込］ボタン**
クリックすると最新の情報に更新されます。

**②定時放送確認の終了**
定時放送の確認を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

### ● BGM ／間隔放送の確認

**①【BGM 放送画面】の呼び出し**
［BGM ／間隔放送］タブをクリックします。
・BGM ／間隔放送の登録画面になります。

**BGM ／間隔放送一覧**
本日の放送スケジュールが表示されます。

**［再読込］ボタン**
クリックすると最新の情報に更新されます。

**② BGM ／間隔放送確認の終了**
BGM ／間隔放送の確認を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

# 8．LAN 手動放送

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送ができます。

## ■ 手動放送画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［手動放送］ボタンをクリックします。
・【手動放送】画面になります。

## ■ 放送のしかた

## ● LAN 手動放送を中止するとき

## ■ 放送パターンを設定するには

## ■ 放送パターンを削除するには

1. 放送パターンの設定画面で、削除したい放送パターンをクリックします。
2. ［削除］ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか？】と表示されます。
   ［はい］ボタンをクリックします。
   ・放送パターン一覧から削除されます。

## ■ LAN 手動放送の操作中に、本体装置でボタン操作を行なうと ････

本体装置と接続してLAN手動放送の操作を行なっているときに、本体装置でボタン操作が行なわれると、次の表示となり接続が切断されます。

・本体装置の状態を確認してください。

**ワンポイント**

●手順４で［登録］ボタンをクリックしたとき、選択したチャンネルが録音されていない場合は、次のように表示します。

該当チャンネルに録音をしてください。

# 第４章
# データ入力ソフト
# 学校用編

# スケジュール設定（学校用）

自動放送で使用するチャイム、メッセージ、放送スケジュールなどの作成、および、本体装置の機能設定、装置用データの作成を行います。

登録したスケジュールの有効期間は、登録した年を含め最大 10 年です。

（例１）2014/1/1 に登録した場合　　⇒ 有効期限：2023/12/31（**有効期間：10 年**）

（例２）2014/10/1 に登録した場合　⇒ 有効期限：2023/12/31（**有効期間：9 年と 92 日**）

そのため、**有効期間内にスケジュールを再登録してください。**

## ■初期画面の構成

【初期画面】で［スケジュール設定］タブをクリックします。

・【スケジュール設定初期画面】を表示します。

**登録選択ボタン**

各登録は、次の登録選択ボタンをクリックすることから始めます。

● **［1. チャイム、メッセージ］ボタン**
チャイム一覧およびメッセージ一覧の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［2. 日課パターン］ボタン**
日課パターン一覧および日課パターン表の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［3. 年間スケジュール］ボタン**
年間スケジュールの登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［4. 年間スケジュール表］ボタン**
年間スケジュールの確認画面を呼び出すときクリックします。

● **［5. 装置設定］ボタン**
装置設定の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［6. 装置用データ作成］ボタン**
装置へ入力するスケジュールデータなどを USB フラッシュメモリへ書き込む画面を呼び出すときクリックします。

# 1．チャイム・メッセージの登録

自動放送などで使用する、チャイムおよびメッセージの名前などの登録を行ないます。なお、メッセージなどの録音は、本体装置で行います。

## 1-1. チャイムの登録

### ■登録画面の呼び出し

1.【スケジュール設定初期画面】で、［1．チャイム、メッセージ］ボタンをクリックします。
・【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

### ■登録のしかた

### ■修正をするには

1.「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいチャンネル番号を選び、修正します。
2.［登録］ボタンをクリックします。
3.【上書きしますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧に、修正された内容が表示されます。

### ■削除をするには

1.「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいチャンネル番号を選びます。
2.［削除］ボタンをクリックします。
3.【選択行を削除しますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧から削除されます。

**ワンポイント**

● チャイムのチャンネルは、ch1～30の30chと外部チャイムです。チャンネルの割り当ては次のとおりです。
・ch1～15は固定チャイムで、本体装置に内蔵しています。
・ch16～30は自作チャイムとして使用できます。
・外部チャイムは外部チャイムを使用するときに指定します。

● チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

## 1-2. メッセージの登録

### ■登録画面の呼び出し

1.【スケジュール設定初期画面】で、［1．チャイム、メッセージ］ボタンをクリックします。
 ･【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

### ■登録のしかた

### ■修正をするには

1.「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいメッセージ番号を選び、修正します。
2.［登録］ボタンをクリックします。
3.【上書きしますか？】と表示されます。
 ［はい］ボタンをクリックします。
 ･メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

### ■削除をするには

1.「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいメッセージ番号を選びます。
2.［削除］ボタンをクリックします。
3.【選択行を削除しますか？】と表示されます。
 ［はい］ボタンをクリックします。
 ･メッセージ一覧から削除されます。

**ワンポイント**

●メッセージは、99種類（ch1～99）登録できます。
●チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

# 2．日課パターンの登録

日課パターン一覧表に「パターン名」を、また日課パターン表に「放送内容」を登録します。

## 2-1. 日課パターン一覧表の登録

### ■登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［2．日課パターン］ボタンをクリックします。
・【日課パターン一覧表】の登録画面になります。

### ■登録のしかた

## ■修正をするには

1．「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したいパターン番号を選び修正します。
2．［登録］ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
　［はい］ボタンをクリックします。
　・日課パターン一覧に、修正された内容が表示されます。

## ■削除をするには

1．「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したいパターン番号を選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
　・削除の確認画面を表示します。

　・パターン名と一緒に放送内容も削除する場合は、［はい］ボタンをクリックします。
　・パターン名だけを削除する場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。
　・削除を中止するときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
3．日課パターン一覧から削除されます。

●日課パターンは、1 ～ 99 まで登録できます。

## ■パターンをコピー編集するには

登録済みの日課パターンの一部を修正して、新たな日課パターンとして登録することができます。

**①コピー先のパターン番号の指定**
《パターン選択》ボックスへコピー先のパターン番号を入力します。
・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
　A　：［▲ / ▼］ボタンをクリックして、指定する。
　B　：日課パターン一覧の行をクリックする。

**②コピー元のパターン番号の指定**
《パターン選択》ボックスへコピー元のパターン番号を入力します。
・次の方法でも指定できます。
　A　：［▲ / ▼］ボタンをクリックして、指定する。

**③ コピー**
［コピー］ボタンをクリックすると、コピー元のデータが、そのまま、コピー先へコピーされ日課パターン一覧に表示されます。
・続けてコピー編集するときは、①～③を繰り返します。
・パターン名や日課パターンの内容を修正します。

**ワンポイント**

● コピー編集は、コピー元の日課パターンが未登録のときはコピーできません。
● コピー先にパターン名・装置名が登録されていない場合は、パターン名・装置名もコピーされます。パターン名・装置名が登録されている場合は、放送内容だけがコピーされます。

## 2-2. 日課パターン表の登録

日課パターン表は、定時放送を登録します。

## （1）定時放送の登録

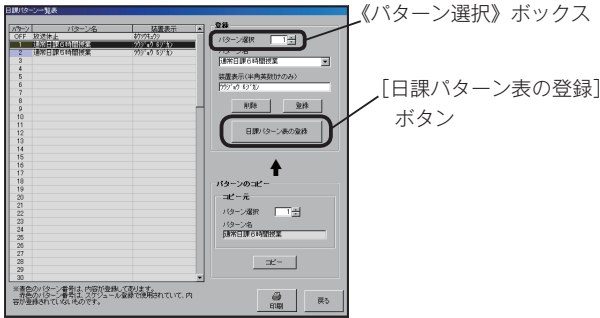
指定した時刻（定時）に自動放送を行なうための登録を行ないます。

### ■登録画面の呼び出し

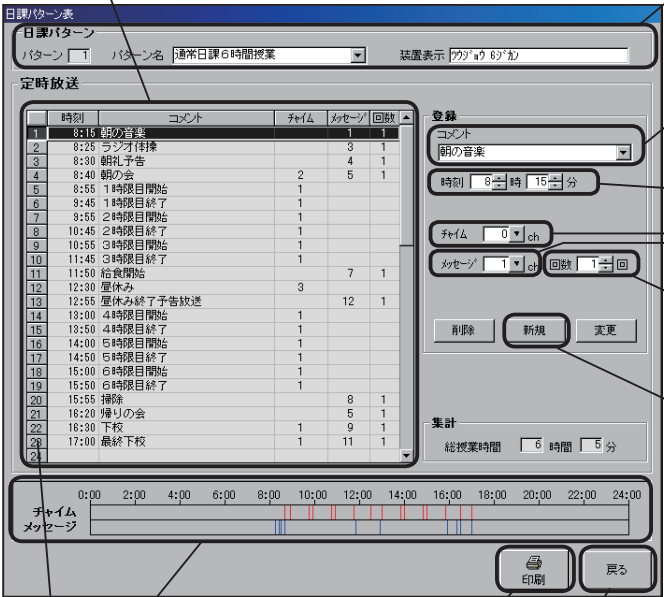
1．【スケジュール設定初期画面】で、[ 2．日課パターン ] ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧表の登録画面になります。

2．《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも選択できます。
A：[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定する。
B：日課パターン一覧の行をクリックする。

3．[日課パターン表の登録] ボタンをクリックします。
＊日課パターン表の登録画面になります。

日課パターン一覧表の登録画面

### ■定時放送の登録のしかた

**①ステップの指定**
定時放送一覧のステップをクリックします。
・定時放送一覧の選択されたステップが反転表示になります。

**日課パターン表示欄**
登録中の日課パターンが表示されます。
・各ボックスで修正することもできます。

**②ステップのコメント入力**
《コメント》ボックスへ、その時刻に放送する内容のコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で 15 文字以内です。

**③放送時刻の入力**
《時刻》ボックスへ、放送する時刻を入力します。
・[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は 24 時間制で入力します。

**④チャイムの入力**
《チャイム》ボックスへ、その時刻に放送するチャイム番号を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

**⑤メッセージの入力**
《メッセージ》ボックスへ、その時刻に放送するメッセージ番号を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもでもできます。
・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

**⑥送出回数の入力**
《送出回数》ボックスへ、メッセージの送出回数を入力します。
・[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできできます。

**⑦新規**
[新規] ボタンをクリックすると、登録した内容が定時放送一覧に新しいステップとして表示されます。
・続けて、登録するときは、①〜⑦を繰り返します。

**放送タイムチャート**
放送時刻をタイムチャートで表示します。

**定時放送一覧**
ステップごとに放送内容を表示します。

**⑧登録の終了**
登録を終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧表の登録画面に戻ります。

**[印刷] ボタン**
クリックすると、日課パターン表を印刷します。詳しくは、「第５章 共通編　登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

■**修正をするには**

1.「定時放送の登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したいステップを選び、修正します。
2.［変更］ボタンをクリックします。
3.【上書きしますか？】と表示されます。
　［はい］ボタンをクリックします。
　・メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

■**削除をするには**

1.「定時放送の登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したいステップを選びます。
2.［削除］ボタンをクリックします。
3.【選択行を削除しますか？】と表示されます。
　［はい］ボタンをクリックします。
　・メッセージ一覧から削除されます。

■**ステップを挿入するには**

1.「定時放送の登録のしかた」の手順③で、挿入したい放送時刻を入力します。
2.［新規］ボタンをクリックすします。
　・入力した時刻で新しいステップが追加挿入されます。

■**総授業時間について**

集計表示欄には、「登録のしかた」の手順②で、コメントが「開始」と付いた時刻から「終了」と付いた時刻までの合計時間が表示されます。

**ワンポイント**

●連続した複数行を選ぶには
　最初の行をクリックします。
　キーボードの「Shift」キーを押したままで、最後の行をクリックします。
●連続しない複数行を選ぶには
　キーボードの「Ctrl」キーを押したままで、希望の行をクリックします。
●定時放送は、１パターンあたり最大 64 ステップまで登録できます。

# 3．年間スケジュールの登録

日課パターンの登録で作成した日課パターン番号をカレンダーに割り付けして、年間スケジュールを登録します。
年間スケジュールには、通年スケジュールと特定日スケジュールがあります。
◆通年スケジュールは、毎年、繰り返されるスケジュールで、週間スケジュール・祝日スケジュール・休日スケジュールがあります。
◆特定日スケジュールは、臨時休校など指定した年月日にのみ、適用されます。

## 3-1. 年間スケジュール登録画面

### ■登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、[3. 年間スケジュール] ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】の登録画面になります。
・登録画面は、月毎のカレンダーで６ヶ月分表示され、登録済みの日課パターン番号を表示します。

### ■登録画面の構成

| | 名　前 | 機　能 |
|---|---|---|
| ① | 《ジャンプ》ボックス | [▼] ボタンをクリックして年月を指定すると、その年月から６ヶ月分を表示します。※年は、現在の年から９年先まで指定できます。 |
| ② | [前の６ヶ月] ボタン | クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、６ヶ月前から６ヶ月分を表示します。 |
| ③ | [次の６ヶ月] ボタン | クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、６ヶ月後から６ヶ月分を表示します。 |
| ④ | [今日] ボタン | クリックすると、今日の月から６ヶ月分を表示します。 |
| ⑤ | [全て削除] ボタン | クリックすると、登録されている特定日スケジュールを全て削除します。 |
| ⑥ | [カレンダー年月] タブ | タブをポイントすると、（＋）の拡大アイコンが表示され、クリックするとその月を拡大表示します。拡大表示のときにタブをポイントすると、（－）のアイコンが表示され、クリックすると元に戻ります。 |
| ⑦ | [週間スケジュール] ボタン | 週間スケジュールを登録するときにクリックします。 |
| ⑧ | [祝日スケジュール] ボタン | 祝日スケジュールを登録するときにクリックします。 |
| ⑨ | [休日スケジュール] ボタン | 休日スケジュールを登録するときにクリックします。 |
| ⑩ | [印刷] ボタン | 特定日または年間スケジュールを印刷するときにクリックします。 |
| ⑪ | [戻る] ボタン | 【スケジュール設定初期画面】に戻すときにクリックします。 |

## 3-2. 週間スケジュールの登録

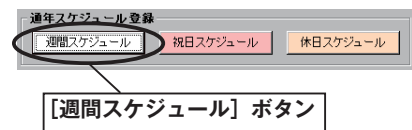
通年で使用する月ごとの曜日スケジュールを登録します。この週間スケジュールが自動放送の基本となります。

### ■登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［3．年間スケジュール］ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】の画面になります。

2．【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、［週間スケジュール］ボタンをクリックします。
・週間スケジュールの登録画面になります。（【週間スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面）

**通年スケジュール登録欄**

［週間スケジュール］ボタン

### ■登録のしかた

**①登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・月の該当曜日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

［削除］ボタン

**《コメント》ボックス**
コメントを登録しておくと
＊該当曜日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2.《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

**②パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**④土曜日の登録**
該当土曜日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～④を繰り返します。

［全選択］ボタン

［曜日］ボタン

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 2月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 3月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 4月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 5月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 6月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 7月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 8月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 9月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 10月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 11月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |
| 12月 | OFF | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | OFF |

［月］ボタン

**③パターン番号の登録**
月の該当曜日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［曜日］ボタンをクリックすると、その曜日の全部の月に同じ日課パターンを登録します。
＊［月］ボタンをクリックすると、その月の全曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊［全選択］ボタンをクリックすると、一年間、同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**［印刷］ボタン**
クリックすると、週間スケジュールを印刷します。詳しくは、「第５章　共通編　登録内容を印刷する」(138ページ）を参照してください。

**⑤登録の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

### ■スケジュールを削除するには

1．日課パターン一覧表の、［削除］ボタンをクリックします。
・月の該当曜日をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。

2．削除したい月の該当曜日をクリックします。
・前のスケジュールが削除され、「OFF（放送休止）」が表示されます。

**ワンポイント**

● 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。［戻る］ボタンなどをクリックして、再表示させると黒色になります。

## 3-3. 祝日スケジュールの登録

通年で使用する祝日スケジュールを登録します。国民の祝日は、あらかじめ登録されていますが、それ以外にも全体で 25 日分登録できます。

### ■登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［3．年間スケジュール］ボタンをクリックします。
- ・【年間スケジュール】の画面になります。

2．【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、［祝日スケジュール］ボタンをクリックします。
- ・祝日スケジュールの登録画面になります。（【祝日スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面）

**通年スケジュール登録欄**

**［祝日スケジュール］ボタン**

### ■登録のしかた

**①登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・祝日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**②パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**［削除］ボタン**

**［全選択］ボタン**　**［祝日］ボタン**

**祝日一覧**
祝日の内容を表示します。

**③パターン番号の登録**
該当の祝日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［祝日］ボタンをクリックすると、全部の祝日に同じ日課パターンを登録します。
＊［全選択］ボタンをクリックすると、全部の祝日に同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**［祝日の編集］ボタン**
祝日の変更や追加、削除するとき、クリックします。

**④登録の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

**［印刷］ボタン**
クリックすると、祝日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第５章 共通編　登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

### ■スケジュールを削除するには

1．日課パターン一覧表の、［削除］ボタンをクリックします。
- ・祝日一覧をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。

2．祝日一覧で削除したい日課パターン番号をクリックします。
- ・日課パターン番号が空欄になります。

## ■祝日の編集のしかた

国民の祝日に変更があったり、追加、削除があるときこの編集機能で登録します。

1．【祝日スケジュール】画面で、［祝日の編集］ボタンをクリックします。
  ・祝日スケジュールの編集画面になります。

### ●祝日を追加する場合

### ●祝日を修正する場合

1．祝日一覧の修正したい行をクリックします。
2．修正したい項目を選んで、「祝日を追加する場合」の手順②～⑤と同じ手順で修正します。
  ・⑤で［登録］ボタンをクリックすると、「上書きしますか？」と表示されます。［はい］ボタンをクリックします。
3．［祝日の編集］ボタンをクリックして、祝日スケジュールの登録画面に戻り、日課パターン番号を登録します。
  ・月日順に並び替えて、祝日一覧に表示されます。

### ●祝日を削除する場合

1．祝日一覧で削除したい行をクリックします。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
  ［はい］ボタンをクリックします。
  ・祝日一覧から削除されます。

**ワンポイント**

● 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。［ 戻る ］ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。
● 祝日として登録できる日数は最大 25 日です。
● 祝日が日曜日と重なった場合、その直後の「国民の祝日でない日」は振替休日となり､祝日で登録したパターン番号が放送されます。

## 3-4. 休日スケジュールの登録

通年で使用する祝日以外の学校独自の休日スケジュール（例えば、夏休みや春休みなど）を登録します。

### ■登録画面の呼び出し

1.【スケジュール設定初期画面】で、[3. 年間スケジュール］ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】の画面になります。

2.【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、[休日スケジュール］ボタンをクリックします。
・休日スケジュールの登録画面になります。(【休日スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面）

**通年スケジュール登録欄**

[休日スケジュール］ボタン

### ■登録のしかた

**①登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・休日一覧の日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**②パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**[削除］ボタン**

**《コメント》ボックス**
コメントを登録しておくと
＊該当休日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2.《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・[▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

**[全選択］ボタン**

**[日］ボタン**

**③パターン番号の登録**
該当の休日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［日］ボタンをクリックすると、全月のその日に同じ日課パターンを登録します。
＊［月］ボタンをクリックすると、その月全部に同じ日課パターンを登録します。
＊［全選択］ボタンをクリックすると、1年間の全てに同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**[月］ボタン**

**休日一覧**
年間の休日を表示します。

**[印刷］ボタン**
クリックすると、休日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編　登録内容を印刷する」(138ページ）を参照してください。

**④登録の終了**
登録を終わるとき、[戻る］ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

### ■スケジュールを削除するには

1. 日課パターン一覧表の、[削除]ボタンをクリックします。
・休日一覧の日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。

2. 削除したい日付をクリックします。
・空欄になります。

**ワンポイント**

● 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。
［戻る］ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

## 3-5. 特定日スケジュールの登録

臨時休校など、指定した年月日のみに適用される特定日スケジュールを登録します。

### ■登録のしかた

登録画面は、年間スケジュールの登録画面を使います。

**①カレンダー選択**
カレンダーを選択します。くわしくは、「年間スケジュール登録画面」（106 ページ）をご覧ください。

**②登録**
［登録］ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

**③パターン番号の指定**
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

**［全て削除］ボタン**

**［削除］ボタン**

**《コメント》ボックス**
コメントを登録しておくと
＊該当特定日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

**［曜日］ボタン**

**④パターン番号の登録**
該当の日付をクリックします。
・続けて登録するときは、①～④を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［曜日］ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると､その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

**⑤登録の終了**
登録を終わるとき、［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

**［印刷］ボタン**
クリックすると、特定日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第５章 共通編　登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

### ■特定日スケジュールを削除するには

1.「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2. 日課パターン一覧表の､［削除］ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
3. 削除したいカレンダーの日付をクリックします。
・特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

### ■全ての特定日スケジュールを削除するには

1. ［全て削除］ボタンをクリックします。
2. 【削除しますか？　削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

**ワンポイント**

● ［カレンダー年月］タブをポイントすると、〈＋〉の拡大アイコンが表示され、クリックすると、その月のみ拡大表示します。
拡大表示のとき［カレンダー年月］タブをポイントすると、〈ー〉の縮小アイコンが表示され、クリックすると、元に戻ります。

●登録や削除をしたときは、パターン番号は赤色で表示されます。［戻る］ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

## 4．年間スケジュール表の確認

登録してあるスケジュールを確認します。ここでは、登録や修正はできません。

### ■確認画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［4．年間スケジュール表］ボタンをクリックします。

・【年間スケジュール表】画面（確認画面）になります。

### ■確認のしかた

## 5．装置設定の登録

本装置が接続される放送設備との信号のやりとりや、使用するチャイムの条件、リモート放送の設定などを登録します。

### ■装置設定の内容一覧

| 番号 | 項目 | 登録内容 | 設定可能範囲 | 初期値 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | アンプの起動時間 | 放送設備のアンプなどが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。 | 0 ～ 15 秒 | 5 秒 |
| 2 | BGM の起動時間 | （一般用のみ） | ― | ― |
| 3 | 外部チャイムの起動時間 | 外部チャイムが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。 | 0 ～ 15 秒 | 5 秒 |
| 4 | 外部チャイムの継続時間 | 外部チャイムの放送時に、外部チャイムを何秒間鳴らすか設定します。 | 1 ～ 999 秒 | 25 秒 |
| 5 | 外部チャイムの自己保持 | 外部チャイムの起動信号自己保持の有無を設定します。自己保持機能がある場合は「あり」に設定します。 | なし／あり | なし |
| 6 | 時刻修正 | 後面の時刻修正端子を使用するときに、時刻修正信号の種類によって設定します。 | ± 30 秒／ 50 ～ 10 秒／ NTP サーバ | ± 30 秒 |
| 7 | NTP サーバ | ネットワークで時刻修正を行なう場合の NTP サーバアドレスを設定します。未使用の場合はすべて 0 を設定します。 | ― | 設定なし |
| 8 | [± 30 秒／ 50 ～ 10 秒]<br>修正する時間帯 | 時刻修正を行なう時間帯を設定します。 | 0 時 0 分～ 23 時 59 分 | 0 時 50 分<br>1 時 10 分 |
|  | [NTP サーバ]<br>修正する時刻 | 時刻修正を行なう時刻を設定します。 | 0 時 0 分～ 23 時 59 分 | 1 時 0 分 |
| 9 | 時刻の最小単位 | （一般用のみ） | ― | ― |
| 10 | 時報の使用 | （一般用のみ） | ― | ― |
| 11 | アナキーパー | （一般用のみ） | ― | ― |
| 12 | リモート放送の使用 | 後面のリモート端子を使った、リモート放送を使用する／使用しないを設定します。使用する場合はモードを選択します。 | 使用しない<br>使用する（標準：5）<br>使用する（オプション：31）<br>使用する（オプション：50） | 使用しない |

（※）NTP サーバによる時刻修正は、PBS-D500 Ⅱ本体と NTP サーバの日付が異なる場合には修正できません。

## ■登録画面の呼び出し

1．【スケジュール設定初期画面】で、［5．装置設定］ボタンをクリックします。
・【装置設定】の登録画面になります。

## ■登録のしかた

### ●アンプ・外部チャイムの起動時間／外部チャイムの継続時間（項目番号：1,3,4）

1．設定一覧の該当する行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2．［テンキー］をクリックして秒数を入力します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
・［クリア］ボタンをクリックすると、最小値が登録されます。

### ●外部チャイムの自己保持（項目番号：5）

1．設定一覧の「項目番号5」の行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2．［なし］または［あり］のオプションボタンをクリックします。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

### ●時刻修正（項目番号：6）

1．設定一覧の「項目番号6」の行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2．［±30秒］、［50～10秒］、［NTPサーバ］のオプションボタンをクリックして選択します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

### ● NTP サーバ（項目番号：7）

「項目番号 6：時刻修正」で「NTP サーバ」を選択したときに有効になります。

1．設定一覧の「項目番号 7」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．NTP サーバの IP アドレスを登録します。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※［クリア］ボタンをクリックすると、すべて 0 に設定されます。

### ●修正する時刻（項目番号：8）

◆「項目番号 6:時刻修正」が［± 30 秒］､[50 ～ 10 秒］の場合

1．設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．時および分の[▼]をクリックして､時分を登録します。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※修正する時間帯は、放送時間帯を避けて登録してください。

修正を行なう時間帯を範囲指定します。

◆「項目番号 6：時刻修正」が［NTP サーバ］の場合

1．設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．時および分の[▼]をクリックして､時分を登録します。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※修正する時刻は、放送時間帯を避けて登録してください。

### ●リモート放送の使用（項目番号：12）

1．設定一覧の「項目番号 12」の行をクリックします。
　・右の登録画面を表示します。
2．［使用しない］、［使用する（標準：5)］、［使用する（オプション：31)］または［使用する（オプション：50)］のオプションボタンをクリックします。
　・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
　・［使用する］を選択すると、設定一覧にリモート端子番号を表示します。

リモート端子番号を表示します。

**●リモート端子の設定（標準：5 の例）**

1．設定一覧の「項目番号 13 ～ 17」（リモート 1 ～ 5）の設定する行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。

2．［開始チャイム］および［終了チャイム］を使用する場合は、チャイムのチャンネル番号を入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

3．メッセージ一覧で、放送するメッセージをクリックして選択します。
・送出回数設定欄が有効になります。
・メッセージ放送をしない場合は［OFF］を選択します。

4．メッセージの送出回数をクリックして選択します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

続けて他のリモート端子の設定を行なう場合は、1 ～ 4 を繰り返します。

**ワンポイント**

●リモート放送で、別売の「リモートアダプタ PBS-D500 RA」、または「LAN アダプタ PBS-LA500」を使用する場合は、（項目番号 12：リモート放送の使用）を“使用する（オプション：50）”に設定してください。（オプション:31）は使用できません。

# 6．装置用データの作成

本ソフトで作成した放送スケジュールデータやメッセージなどを、本体装置で読み込むための装置用データを作成します。
装置用データは、USB メモリを使用して本体装置で読み込みます。
1 個の USB メモリには 1 種類の装置用データが書き込みできます。複数の装置用データを書き込むことはできません。

## ■登録画面の呼び出し

1．USB メモリを接続します。
2．【スケジュール設定初期画面】で、［6．装置用データ作成］ボタンをクリックします。
・【装置用データ作成】画面になります。

### ●スケジュールデータの作成

**①スケジュール名の登録**
スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付け、スケジュール名を入力します。
・スケジュール名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

**作成対象**
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・スケジュールチェックボックスをチェックすると、スケジュールのアイコンが有効表示します。

**②作成先選択**
［▼］をクリックして、USB メモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は［更新］ボタンをクリックします。

**［音源ファイルの割り付け］ボタン**
外部音源を自作チャイムやメッセージに割り付けるときクリックします。

**④装置用データ作成の終了**
装置用データ作成を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

**③作成**
［作成］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。※

USB メモリが接続されたドライブを選択して［停止］ボタンをクリックします。
・USB メモリが安全に取り外しできます。

※ Windows Vista 以外ではハードウェア取り外しの案内メッセージが表示されません。タスクバーの隠れているインジケーターにおける「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして取り外してください。

### 装置用データ作成時の確認画面について

スケジュールデータを作成するとき、USB メモリに以前に作成したスケジュールファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることが有ります。案内の指示に従って操作してください。
・古いスケジュールファイルがある場合

［はい］ボタンをクリックすると、新しいスケジュールファイルに書き換わります。
［いいえ］ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

### ワンポイント

●USB メモリを接続するドライブ名は、あらかじめ確認しておいてください。
●作成先ドライブを制御用パソコンのハードディスクなど、USB メモリ以外に指定することもできます。
●チャイムやメッセージの音源も同時に作成する場合は、［音源ファイルの割付］ボタンをクリックして割付画面を開いた状態にしてください。音源の割り付けを行なっても、画面を閉じるとデータの作成ができません。

### エラー表示について

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。
●警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。
●注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ［次へ］ボタンをクリックすると装置用データの作成を継続します。
・エラー表示例

## ●音源ファイルの割り付け

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて装置用データとして作成します。
スケジュールデータを作成しない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。
スケジュールデータと同時に作成する場合は、「スケジュールデータの作成」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

### ◆自作チャイムの作成

**①作成先選択**
［▼］をクリックして、USBメモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は［更新］ボタンをクリックします。

**②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**③【チャイム】画面の呼び出し**
［チャイム］タブをクリックします。
・【自作チャイム一覧】画面を表示します。

**作成対象**
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**④音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。

音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**⑤音源の割り付け**
チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**(A）割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**(B）音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_＊＊.wav」として作成してください。“＊＊”は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**⑥作成**
［作成］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。

USBメモリが接続されたドライブを選択して［停止］ボタンをクリックします。
・USBメモリが安全に取り外しできます。

**⑦装置用データ作成の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

## 装置用データ作成時の確認画面について

音声データを作成するとき、USBメモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることが有ります。案内の指示に従って操作してください。
・古い音声ファイルがある場合

［はい］ボタンをクリックすると、古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。
［いいえ］ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

※ Windows Vista 以外ではハードウェア取り外しの案内メッセージが表示されません。タスクバーの隠れているインジケーターにおける「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして取り外してください。

## ◆メッセージの作成

**①作成先選択**
［▼］をクリックして、USBメモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は［更新］ボタンをクリックします。

**作成対象**
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**④音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。

音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**③【メッセージ】画面の呼び出し**
［メッセージ］タブをクリックします。
・【メッセージ一覧】画面を表示します。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［ ▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**⑤音源の割り付け**
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**（A）割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**（B）音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_＊＊.wav」として作成してください。“＊＊” はメッセージのチャンネル番号（ch1 ～ 99）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**⑥作成**
［作成］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。※

USBメモリが接続されたドライブを選択して［停止］ボタンをクリックします。
・USBメモリが安全に取り外しできます。

**⑦装置用データ作成の終了**
登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

※ Windows Vista 以外ではハードウェア取り外しの案内メッセージが表示されません。タスクバーの隠れているインジケーターにおける「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして取り外してください。

### 装置用データ作成時の確認画面について

音声データを作成するとき、USBメモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることが有ります。案内の指示に従って操作してください。
・古い音声ファイルがある場合

［はい］ボタンをクリックすると､古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。
［いいえ］ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

**ワンポイント**

●本システムで使用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。本体装置以外で音源を作成する場合は、これらのファイル形式で作成してください。
・μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz

# ネットワーク機能（学校用）

本体装置と制御用パソコンを同じネットワーク（LAN）に接続して、放送スケジュールの臨時変更やデータの転送、自動放送の開始／停止、手動放送などを、制御用パソコンからネットワーク経由で行うことができます。
これらのネットワーク経由の操作は、本体装置が自動放送セット中でも行なうことができます。

## ■初期画面の構成

【初期画面】で［ネットワーク機能］タブをクリックします。

・【ネットワーク機能初期画面】を表示します。

**操作選択ボタン**
各操作は、次の操作選択ボタンをクリックすることから始めます。
グレー表示のボタンは、ネットワーク設定で「ネットワーク接続を使用する」に設定すると有効になります。

● **［ネットワーク設定］ボタン**
ネットワーク機能を「使用する／使用しない」、IP アドレスの登録など、ネットワーク接続の登録画面を呼び出すときクリックします。

● **［本日スケジュール］ボタン**
本日スケジュールのステップ変更や、放送時間の繰上げ・繰下げ／休止の登録画面を呼び出すときにクリックします。

● **［繰上げ、繰下げ、休止］ボタン**
設定済みのスケジュールを、翌日以降の指定した日付単位で「繰上げ、繰下げまたは放送休止」する登録画面を呼び出すときにクリックします。

● **［年間スケジュール］ボタン**
年間スケジュールで、特定日を登録する画面を呼び出すときにクリックします。

● **［データ書込］ボタン**
スケジュールやメッセージなどのデータを、制御用パソコンから本体装置へ書き込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。

● **［データ読込］ボタン**
本体装置に登録されているスケジュールやメッセージなどのデータや、リモート放送の履歴を制御用パソコンに読み込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。

● **［スケジュール確認］ボタン**
本体装置に登録されているスケジュールを確認するときにクリックします。

● **［手動放送］ボタン**
制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送する操作画面を表示するときにクリックします。

**STOP お願い**

●自動放送セット中にネットワーク機能でデータの転送や書き込みを行なうと、自動放送は一旦解除され、転送が終了すると自動的に再セットされます。従って定時放送などの放送中は放送が中断されます。放送中の操作は避けていただくことをお薦めします。
また、転送が終了したときに、本体装置がリモート放送を行なっている場合は、右の表示となり、自動再セットができません。
［自動放送］ボタンをクリックして、再セットしてください。

# 1．ネットワーク設定の登録

本体装置と制御用パソコンを LAN 接続で使用する場合のネットワーク接続の登録を行ないます。

## ■登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［ネットワーク設定］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク接続の設定】画面になります。

## ■登録のしかた

**①ネットワーク接続を使用する**
チェックボックスをクリックして「ネットワークを使用する」にします。
・接続先ネットワーク情報および［接続テスト］ボタンが有効になります。

**接続テスト**
［接続テスト］ボタンをクリックすると、本体装置との接続確認ができます。
・接続ができると、次の表示となります。

［OK］ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定】画面に戻ります。

・接続できない場合は、次の表示となります。

［OK］ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定画面】に戻ります。本体装置の登録などを確認してください。

**②接続先ネットワーク情報**
本体装置の IP アドレスを入力します。
通常、ポート番号は変更しないでください。

**③登録**
［登録］ボタンをクリックすると、【ネットワーク機能初期画面】（下図）を表示します。
・操作選択ボタンは、全てのボタンが有効になります。

**④ネットワーク接続設定の終了**
ネットワーク接続設定を終わるときに［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

【ネットワーク機能初期画面】

**［操作選択］ボタン**
パスワードを設定していないとき、およびマスターパスワードでログインしたときは、全てのボタンが選択できます。

**ワンポイント**

● ネットワーク機能を使用して、本日スケジュールの臨時変更や設定データの転送などを行なう場合、本体装置と接続できるパソコンは１台のみです。同時に２台以上のパソコンで操作することはできません。
・上記の場合でも、別のパソコンから「スケジュール確認」、「LAN 手動放送」の操作はできます。

● ネットワーク機能を使用しない場合は、チェックボックスのチェックを外して［登録］ボタンをクリックします。［ネットワーク設定］ボタン以外の操作選択ボタンがグレー表示の【ネットワーク機能初期画面】になります。

**ワンポイント**

● 本体装置で操作中は、「ネットワーク設定」以外のネットワーク機能は操作できません。［操作選択］ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。

**LAN 接続中の本体装置の表示**

LAN 接続でご使用の場合、制御用パソコンでの操作により本体装置に次のように表示される場合があります。このときは、本体装置での操作はできません。

< LAN ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ ﾃﾞｽ >
ﾎﾝﾀｲｿｳｻ ﾃﾞｷﾏｾﾝ

ただし、自動放送およびリモート放送は動作します。

## 2．本日スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日のスケジュール変更ができます。本日スケジュール変更には「定時放送ステップの変更」、「定時放送　繰上げ・繰下げ／休止の変更」の２種類があります。

### ■登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［本日スケジュール］ボタンをクリックします。
・本体装置と接続して、【本日スケジュール】の変更登録画面になります。（本体装置内の本日のスケジュールを表示します。）

### ■変更登録のしかた

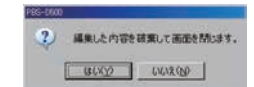
**●定時放送ステップの変更**

**【本体操作パネル】画面**
パネル上のボタンをクリックして、本体装置を操作します。

**①ステップ変更画面の呼び出し**
［ステップ変更］タブをクリックします。
・ステップ変更画面になります。

**②放送内容の変更**
定時放送の登録･修正･削除（104ページ）と同じ方法で変更します。
・コメントの変更はできません。
・定時放送一覧に変更した内容を表示します。

**③転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。
・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**④変更登録の終了**
変更登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能】画面に戻ります。

**［再読込］ボタン**
本体装置のデータを読み込むときにクリックします。

**転送後の【本日スケジュール】画面**

変更されたパターンには、“＊”が付きます。
パターン　2＊

変更された内容が表示されます。
・コメント欄は空欄になります。

**本日スケジュール変更時の本体装置の表示**

ネットワークで本日スケジュールの変更を行なうと、本体装置のパターン番号は、LANと表示します。

《本日スケジュール確認時の例》

```
2014/ 7/ 9 WED  LAN
[LANｽｹｼﾞｭｰﾙ        ]
```

《自動放送中の例》

```
7/ 9 WED 13:45:08 LAN
 15:00  CHM 2, MSG10(1)
```

## 本体操作パネル画面について

【ネットワーク機能初期画面】の［ネットワーク設定］ボタン以外の操作ボタンをクリックすると、次の【本体操作パネル】画面を表示します。
※スケジュール確認のときは、【本体操作パネル】画面はグレー表示となります。

**【接続表示】**
本体装置と制御用パソコンの接続状態を表示します。

**【状態表示】**
本体装置の状態を表示します。

**［放送中止］ボタン**
手動放送、リモート放送、LAN 手動放送を中止するときにクリックします。

**［放送開始］ボタン**
手動放送を開始するときにクリックします。

**［自動放送］ボタン・ランプ**
自動放送を開始／停止するときにクリックします。

●自動放送の開始
①待機中に［自動放送］ボタンをクリックします。
・「自動放送セット」の確認画面を表示します。

②［はい］ボタンをクリックすると自動放送を開始します。
・自動放送ランプが緑色に変わり、状態表示に【自動放送】と表示します。

●自動放送の停止
①自動放送中に［自動放送］ボタンをクリックします。
・「自動放送解除」の確認画面を表示します。

②［はい］ボタンをクリックすると自動放送を停止します。
・自動放送ランプが黒色に変わります。

**●定時放送（繰上げ・繰下げ、休止の変更）**

本日スケジュールの繰上げ・繰下げおよび放送休止の変更ができます。

**①繰上げ・繰下げ、休止画面の呼び出し**
［繰上げ・繰下げ、休止］タブをクリックします。

**②時刻の指定**
《時刻》ボックスへ、繰上げ・繰下げ、休止を開始する時刻を入力します。
・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は 24 時間制で入力します。

**③繰上げ・繰下げ、休止の指定**
繰上げ／繰下げ／休止いずれかのオプションボタンをクリックします。
繰上げ・繰下げの場合は、その時間を入力します。
・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時間は 1 ～ 60 分の範囲で入力できます。

**④スケジュールの確認**
［スケジュール確認］ボタンをクリックすると、繰上げ、繰下げまたは休止を行なったスケジュールの確認ができます。
（a）繰上げまたは繰下げされた時刻を表示します。
・休止の場合は、該当のステップが網掛けになります。

**スケジュール確認画面例**

（b）**［取り消し］ボタン**
・設定を取り消して、繰上げ・繰下げ、休止画面に戻ります。
（c）**［適用］ボタン**
・設定を適用して、繰上げ・繰下げ、休止画面に戻ります。
（d）**表示情報**
・定時放送一覧に表示されている、スケジュールの情報を表します。

**⑤転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**休止のスケジュール確認画面例**

《スケジュール確認したとき》

休止のステップが網掛けになります。

《［適用］ボタンをクリックしたとき》

休止のステップは表示されません。

## 3．繰上げ・繰下げ、休止の変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で、翌日以降の放送スケジュールの繰上げ·繰下げ、休止の変更ができます。

### ■登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、[繰上げ・繰下げ、休止］ボタンをクリックします。
・本体装置と接続して、【繰上げ・繰下げ、休止】の変更登録画面になります。（本体装置内の繰上げ・繰下げ／休止内容を表示します。）

### ■変更登録のしかた

#### ●繰上げ・繰下げの変更登録

**①繰上げ・繰下げ変更画面の呼び出し**
［繰上げ・繰下げ］タブをクリックします。
・繰上げ・繰下げ変更画面になります。

**繰上げ・繰下げ一覧**
繰上げまたは繰下げする日付・時刻・時間（分）などを表示します。
・繰上げ・繰下げの変更は、10 日間まで登録できます。

**②登録行の指定**
繰上げ・繰下げ一覧で空欄をクリックします。

［削除］ボタン

**③日付の指定**
《日付》ボックスへ、変更する日付（年、月、日）を入力します。
・翌日以降の日付が入力できます。
・年、月、日の各［▼］ボタンをクリックして、表示されるリストから指定することもできます。

日付指定欄右端の［▼］ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、日付を指定することもできます。

クリックするとカレンダーを表示します。

日付をクリックします。

※変更された日課パターンには、＊印が付きます。

（a）［《］ボタン
・クリックすると表示月が戻ります。
（b）［》］ボタン
・クリックすると表示月が進みます。

**④時刻の入力**
《時刻》ボックスへ、変更を開始する時刻を入力します。
・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は 24 時間制で入力します。

**⑤繰上げ・繰下げ時間の入力**
繰上げまたは繰下げ、いずれかのオプションボタンをクリックして、その時間を入力します。
・［▲／▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時間は 1 ～ 60 分の範囲で入力できます。

**⑥スケジュール参照**
［スケジュール参照］ボタンをクリックすると、該当日の変更後の放送スケジュールが確認できます。

**⑦登録**
［登録］ボタンをクリックすると、繰上げ・繰下げ一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑦を繰り返します。

**⑧転送**
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

**⑨変更登録の終了**
変更登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

#### ●繰上げ・繰下げ登録を削除するには

1．繰上げ・繰下げ一覧の、削除したい日付を選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・繰上げ・繰下げ一覧から削除されます。
4．［転送］ボタンをクリックします。

## ●休止の変更登録

## ●休止登録を削除するには

1．休止登録一覧の、削除したい日付を選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
　［はい］ボタンをクリックします。
　・休止登録一覧から削除されます。
4．［転送］ボタンをクリックします。

### 繰上げ・繰下げ、休止変更時の本体装置の表示

ネットワークで繰上げ・繰下げ、休止の変更を行なうと、本体装置の該当日のパターン番号にマークが付きます。
《年間スケジュール確認時の例》　スケジュール変更マーク

```
2014/ 7/ 9 WED ▸PT 1
[*********        ]
```

## 4．年間スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で年間スケジュールの特定日の変更ができます。

### ■登録画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、[年間スケジュール］ボタンをクリックします。
・本体装置と接続して、【年間スケジュール】の特定日変更登録画面になります。（本体装置内の特定日カレンダーを表示します。）

### ■変更登録のしかた

登録方法は､｢スケジュール設定　3. 年間スケジュールの登録　3-5. 特定日スケジュールの登録｣（111 ページ）と同じです。

①カレンダー選択
カレンダーを選択します。

［曜日］ボタン

［全て削除］ボタン

②登録
［登録］ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

［削除］ボタン

《コメント》ボックス
コメントを登録しておくと
＊該当特定日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2.《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・［▼］ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

③パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

④パターン番号の登録
該当の日付をクリックします。
・続けて登録するときは、①～④を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊［曜日］ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊ドラッグすると､その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

⑤転送
変更内容に間違いがないことを確認して、［転送］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

⑥変更登録の終了
変更登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

#### ●特定日スケジュールを削除するには

1．「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2. 日課パターン一覧表の､[削除]ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
3．削除したいカレンダーの日付をクリックします。
・特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

#### ●全ての特定日スケジュールを削除するには

1．［全て削除］ボタンをクリックします。
2．【削除しますか？　削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

**ワンポイント**

● 本日スケジュールの変更登録、繰上げ・繰下げ／休止の変更登録によって変更された日課パターンには、番号の前に＊印が付いて表示されます。（例:＊1、＊2）
● 変更されている日課パターンの内、本日分については特定日を登録することで元の日課パターンに戻ります。

## 5．装置用データの書き込み

本ソフトで作成したスケジュールなどの装置用データを、ネットワーク（LAN）経由で本体装置に書き込みできます。

### ■データ書き込み画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［データ書込］ボタンをクリックします。

・本体装置と接続して、【装置用データ書込】画面になります。（編集中のスケジュール内容を表示します。）

### ■書き込みのしかた

**●スケジュールデータの書き込み**

### ワンポイント

●スケジュールデータを書き込みしたときは、本体装置に設定されている「本日スケジュールの変更登録」､「繰上げ･繰下げ／休止の変更登録」は､全て消去されます。変更が必要な場合は、再度、変更登録してください。

### エラー表示について

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。

●警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。

●注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ［次へ］ボタンをクリックすると装置用データの作成を継続します。

・エラー表示例

## ●音源ファイルの割り付け

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて本体装置に書き込みます。
スケジュールデータを書き込みしない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。
スケジュールデータと同時に書き込みする場合は、「スケジュールデータの書き込み」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

### ◆自作チャイムの書き込み

**①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
本体装置内の自作チャイムとメッセージの合計時間を表示します。
・外部音源のチャイムを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**書込対象**
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**②【チャイム】画面の呼び出し**
［チャイム］タブをクリックします。
・【チャイム一覧】画面を表示します。

本体装置内の自作チャイム情報

割り付けした外部音源のチャイム情報

**③音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。
音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。

・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**④音源の割り付け**
チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**（A）割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**（B）音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_＊＊.wav」として作成してください。“＊＊”は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**⑤書き込み**
［書込］ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。

［はい］ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間に変わります。
・総録音時間が再計算されて表示されます。

**⑥自作チャイム書込の終了**
自作チャイムの書き込みを終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**ワンポイント**

●録音時間が満杯の状態で、［書込］ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が60分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

### ◆メッセージの書き込み

**①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し**
［音源ファイルの割り付け］ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

**総録音時間（標準音質換算の時間）**
本体装置内の自作チャイムとメッセージの合計時間を表示します。
・外部音源のメッセージを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

**書込対象**
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

**②【メッセージ】画面の呼び出し**
［メッセージ］タブをクリックします。
・【メッセージ一覧】画面を表示します。

本体装置内のメッセージ情報

割り付けした外部音源のメッセージ情報

**③音源ファイルフォルダの選択**
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。

音源が保存されているフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

**④音源の割り付け**
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して［割り付け］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

**（A）割り付けの解除**
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、［解除］ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

**（B）音源の一括割付**
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに［一括割付］ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_＊＊.wav」として作成してください。“＊＊”はメッセージのチャンネル番号（ch1 ～ 99）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

**［再生／停止］ボタン**
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックします。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**⑤書き込み**
［書込］ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。

［はい］ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間に変わります。
・総録音時間が再計算されて表示されます。

**⑥メッセージ書込の終了**
メッセージの書き込みを終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**ワンポイント**

●本システムで使用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。
・μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz
・PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz
本体装置以外で音源を作成する場合は、上記のファイル形式で作成してください。

●録音時間が満杯の状態で、［書込］ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が 60 分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

## 6．データの読み込み

本体装置内のスケジュールデータや音源ファイル、および本体装置でリモート放送を行なった履歴（CSV形式のファイル）などを、ネットワーク（LAN）経由で制御用パソコンに読み込みできます。

### ■データ読み込み画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［データ読込］ボタンをクリックします。
・本体装置と接続して、【データ読込】画面になります。（本体装置内のスケジュール、チャイム、メッセージ情報を表示します。）

### ■読み込みのしかた

**①保存先の指定**
［保存先指定］ボタンをクリックして、本体装置データを保存するフォルダを指定します。
・表示される【フォルダの参照】画面で指定します。

**②スケジュールの選択**
スケジュールデータを読み込む場合は、スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。
・スケジュール名、更新日時などが表示されています。

**③チャイム、メッセージの選択**
読み込みする自作チャイムおよびメッセージの選択欄をクリックしてチェックを付けます。
・チェックを外すときは、もう一度クリックします。
・［全選択／選択反転／全解除］ボタンで選択することもできます。

**④リモート放送履歴の選択**
リモート放送の履歴を読み込む場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。
・必要であればファイル名を変更します。

**⑤読み込み**
選択した内容に間違いがないことを確認して、［読込］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、データが指定したフォルダに読み込まれます。
・読み込みが終了すると、編集対象に「する／しない」の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、読み込みしたファイルが本ソフトで開かれ、編集ができます。
・［いいえ］ボタンをクリックした場合は、あとで保存フォルダからファイルを開いて編集します。

**読込対象**
読み込みするデータのアイコンを表示します。
・チャイム、メッセージは選択されたファイル数を表示します。
・選択されていないデータのアイコンは、グレー表示になります。

**［全選択／選択反転／全解除］ボタン**
［全選択］：クリックすると、表示されている全てのファイルが選択されてチェックが付きます。
［選択反転］：クリックすると、選択ファイルと否選択ファイルが入れ替わります。
［全解除］：クリックすると、選択されている全てのファイルの選択が解除されてチェックが外れます。

**［再生／停止］ボタン**

**［ログ消去］ボタン**

**［削除］ボタン**
本体装置内の自作チャイムまたはメッセージを削除するときに、該当ファイルをクリックして［削除］ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。
《チャイム削除の場合》

《メッセージ削除の場合》

・［はい］ボタンをクリックすると、録音は消去され、チャイム、メッセージ一覧から削除されます。

**⑥データ読込の終了**
データの読み込みを終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

**ワンポイント**

●リモート放送履歴を読み込むときに、本体装置でリモート放送がない場合は、［読込］ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。

**●読み込んだチャイム、メッセージを再生するには**

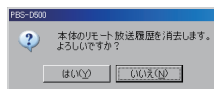
チャイムおよびメッセージを選択して読み込みを終了すると、[再生／停止］ボタンが有効になります。
再生したいファイルをクリックして［▶］ボタンをクリックすると再生が始まります。
再生を止めるときは［■］ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

**●リモート放送履歴を確認するには**

読み込まれたリモート放送履歴は、指定した保存先にCSV 形式のファイルで、次のように書き込まれます。
・ファイル名：REMOTE.CSV
　※ファイル名は、保存時に変更できます。
リモート放送履歴は、表計算ソフトで確認できます。
《リモート放送履歴の例》

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 放送開始日 | 放送開始時刻 | リモート番号 | 開始チャイム | メッセージ | 送出回数 | 終了チャイム | 要求元 | 結果 |
| 2 | 2014/4/14 | 11:53:22 | 1 | 13 | 10 | 1 | 13 | LAN:192.168.14.17 | 放送 |
| 3 | 2014/4/14 | 11:59:57 | 1 | 13 | 10 | 1 | 13 | LAN:192.168.14.17 | 放送 |

**●リモート放送履歴を消去するには**

リモート放送履歴は、本体装置に 100 件まで記録され、以後は古い履歴から削除されます。
ネットワークで読み込みしても消去されません。消去するには、[ログ消去］ボタンをクリックします。

・[はい］ボタンをクリックすると、本体装置内のリモート放送履歴は全て消去されます。

**データ読み込み時の確認画面について**

データを読み込むとき、保存先フォルダに以前に作成したファイルがある場合には、次のような確認画面が表示されます。

・[はい］ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
・[いいえ］ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

スケジュールデータを読み込むとき、現在編集中のスケジュールの場合には、次の様な確認画面が表示されます。

・[はい］ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
・[いいえ］ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

**ワンポイント**

●本体装置から読み込まれたチャイムおよびメッセージは、Wave ファイルとして指定したフォルダに保存されます。
ファイル名は、自動的に各チャンネル番号により次のように付けられます。
・チャイム　　：CHM_**.wav
　　　　　　　(** はチャンネル番号 16 ～ 30）
・メッセージ：MSG_**.wav
　　　　　　　(** はチャンネル番号 01 ～ 99）
●「データ読込」で読み込んだチャイムおよびメッセージは、そのときの【データ読込】画面を開いている間のみ再生ができます。

# 7．スケジュール確認

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日スケジュールの確認ができます。この画面では、スケジュールの変更などの操作はできません。

## ■確認画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［スケジュール確認］ボタンをクリックします。
・【スケジュール確認】画面になります。

## ■確認のしかた

### ●定時放送の確認

**日課パターン情報表示欄**
日付、パターン番号、パターン名、装置表示名が表示されます。

**定時放送一覧**
本日の放送スケジュールが表示されます。
・スクロールバーで画面をスクロールして確認できます。

**放送タイムチャート**
放送時刻がタイムチャートで表示されます。

**［再読込］ボタン**
クリックすると最新の情報に更新されます。

**①スケジュール確認の終了**
本日スケジュールの確認を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

# 8．LAN 手動放送

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送ができます。

## ■手動放送画面の呼び出し

1．【ネットワーク機能初期画面】で、［手動放送］ボタンをクリックします。
　・【手動放送】画面になります。

## ■放送のしかた

### ● LAN 手動放送を中止するとき

### 本体装置が放送中に、LAN 手動放送を行なったとき

## ■放送パターンを設定するには

## ■放送パターンを削除するには

1．放送パターンの設定画面で、削除したい放送パターンをクリックします。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・放送パターン一覧から削除されます。

## ■ LAN 手動放送の操作中に、本体装置でボタン操作を行なうと ‥‥

本体装置と接続して LAN 手動放送の操作を行なっているときに、本体装置でボタン操作が行なわれると、次の表示となり接続が切断されます。

・本体装置の状態を確認してください。

●手順４で［登録］ボタンをクリックしたとき、選択したチャンネルが録音されていない場合は、次のように表示します。

該当チャンネルに録音をしてください。

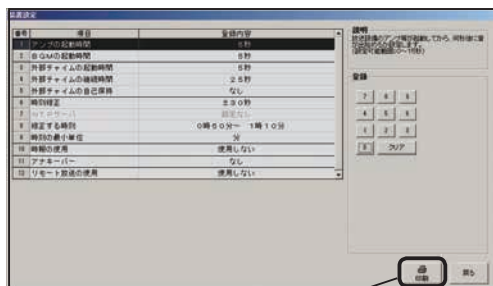
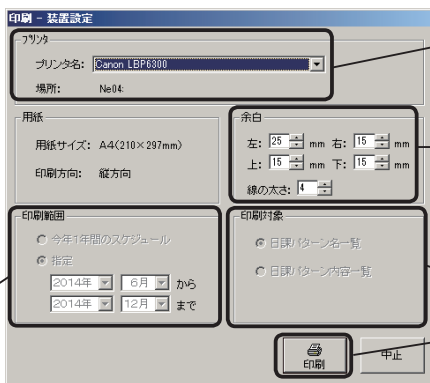
# 第 5 章
# 共通編

# 登録内容を印刷する

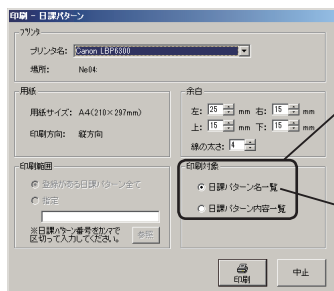
スケジュール設定の各登録画面で［印刷］ボタンをクリックすると、登録内容を印刷することができます。あらかじめプリンタの電源を入れて、A4 用紙をセットしてください。

## 1．印刷画面の設定

### ■ 印刷画面の呼び出し

各登録画面の［印刷］ボタンをクリックして【印刷】画面を表示し、プリンタの設定などを行います。

### ■ 印刷範囲・印刷対象について

【日課パターン一覧表】、【年間スケジュール】、【年間スケジュール表】の各画面で［印刷］ボタンをクリックすると、［印刷範囲］または［印刷対象］の指定欄が有効になります。内容に従って印刷項目を選択して印刷してください。

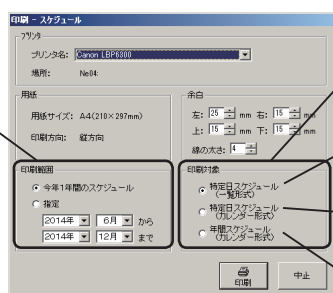
#### ●「日課パターン一覧表」の【印刷画面】

①印刷対象
日課パターン名だけの印刷か、パターンの内容も印刷するかを、オプションボタンで選択します。

日課パターン名一覧
日課パターン名だけを一覧で印刷するときにクリックします。

日課パターン内容一覧
日課パターンの内容を一覧で印刷するときにクリックします。

②印刷範囲
登録されている全ての日課パターンの印刷か、指定した日課パターンの印刷かを、オプションボタンで選択します。
《指定》を選択した場合は、パターン番号を入力します。
・［参照］ボタンをクリックして、表示される「日課パターン一覧表」から選択して登録することもできます。

#### ●「年間スケジュール」の【印刷画面】

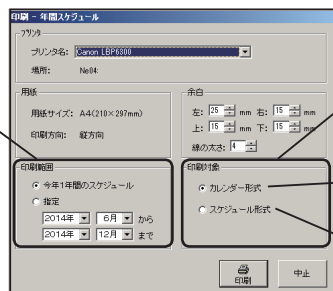
①印刷範囲
本年分のスケジュールの印刷か、指定した年月の期間分のスケジュールの印刷かを、オプションボタンで選択します。
《指定》を選択した場合は、開始年月と終了年月を入力します。
・《年・月》の各ボックスで［▼］ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・年は、本年から 10 年分が指定できます。

②印刷対象
特定日スケジュールだけの印刷かまたは年間スケジュール全ての印刷か、および印刷の形式をオプションボタンで選択します。

特定日スケジュール（一覧形式）
特定日スケジュールを一覧で印刷します。

特定日スケジュール（カレンダー形式）
特定日スケジュールをカレンダー形式で印刷します。

年間スケジュール（カレンダー形式）
年間スケジュールをカレンダー形式で印刷します。

#### ●「年間スケジュール表」の【印刷画面】

①印刷範囲
本年分のスケジュール表の印刷か、指定した年月の期間分のスケジュール表の印刷かを、オプションボタンで選択します。
《指定》を選択した場合は、開始年月と終了年月を入力します。
・《年・月》の各ボックスで［▼］ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・年は、本年から 10 年分が指定できます。

②印刷対象
印刷対象をカレンダー形式で印刷するか、スケジュール帳形式で印刷するかをオプションボタンで選択します。

カレンダー形式
カレンダー形式で印刷します。

スケジュール形式
スケジュール帳形式で印刷します。

# 2．印刷例

## ■ 一般用の場合

### ●日課パターン一覧

日課パターン表一覧

ファイル名：2014年度.pbp
印刷日時 2014/06/10 17:22

日課パターン番号： 1　パターン名：通常業務　装置表示：ﾂｳｼﾞｮｳｷﾞｮｳﾑ

定時放送

| No. | 時刻 | コメント | ﾁｬｲﾑ | ﾒｯｾｰｼﾞ | 送出回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 8:30 | 朝の音楽 | | 11 | 1 |
| 2 | 8:45 | ラジオ体操 | | 1 | 1 |
| 3 | ↓ | 連結チャイム | 3 | | |
| 4 | 8:55 | 業務開始予告 | 4 | 2 | 1 |
| 5 | 9:00 | 業務開始 | 1 | | |
| 6 | 10:00 | 禁煙タイム | | 6 | 1 |
| 7 | 12:00 | 午前終了 | 1 | 4 | 1 |
| 8 | 12:55 | 昼休憩終了予告 | | 5 | 1 |
| 9 | 13:00 | 午後開始 | 1 | | |
| 10 | 15:00 | 業間リフレッシュ | | 3 | 1 |
| 11 | 17:40 | 業務終了 | 1 | | |
| 12 | ↓ | 残業 | | 12 | 1 |
| 13 | | | | | |
| 14 | | | | | |
| 15 | | | | | |
| 16 | | | | | |
| 17 | | | | | |
| 18 | | | | | |
| 19 | | | | | |
| 20 | | | | | |
| 21 | | | | | |
| 22 | | | | | |
| 23 | | | | | |
| 24 | | | | | |
| 25 | | | | | |
| 26 | | | | | |
| 27 | | | | | |
| 28 | | | | | |
| 29 | | | | | |
| 30 | | | | | |
| 31 | | | | | |
| 32 | | | | | |
| 33 | | | | | |
| 34 | | | | | |
| 35 | | | | | |
| 36 | | | | | |
| 37 | | | | | |
| 38 | | | | | |
| 39 | | | | | |

| No. | 時刻 | コメント | ﾁｬｲﾑ | ﾒｯｾｰｼﾞ | 送出回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 40 | | | | | |
| 41 | | | | | |
| 42 | | | | | |
| 43 | | | | | |
| 44 | | | | | |
| 45 | | | | | |
| 46 | | | | | |
| 47 | | | | | |
| 48 | | | | | |
| 49 | | | | | |
| 50 | | | | | |
| 51 | | | | | |
| 52 | | | | | |
| 53 | | | | | |
| 54 | | | | | |
| 55 | | | | | |
| 56 | | | | | |
| 57 | | | | | |
| 58 | | | | | |
| 59 | | | | | |
| 60 | | | | | |
| 61 | | | | | |
| 62 | | | | | |
| 63 | | | | | |
| 64 | | | | | |

ＢＧＭ

| No. | 開始時刻 | 終了時刻 | コメント | ｃｈ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 12:00 | 12:55 | 昼の音楽 | 13 |
| 2 | 17:45 | 18:00 | 帰りの音楽 | 14 |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |

間隔放送

| No. | 開始時刻 | 終了時刻 | 間隔時間 | 放送１ | 放送２ | 放送３ | 放送４ | 放送５ | 放送６ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9:00 | 19:00 | ３０分 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |

### ●年間スケジュール一覧

年間スケジュール一覧

ファイル名：2014年度.pbp
印刷日時 2014/06/10 17:14

２０１４年　１月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 OFF | 2 1 | 3 1 | 4 OFF |
| 5 OFF | 6 1 | 7 1 | 8 2 | 9 1 | 10 1 | 11 OFF |
| 12 OFF | 13 OFF | 14 1 | 15 2 | 16 1 | 17 1 | 18 OFF |
| 19 OFF | 20 1 | 21 1 | 22 2 | 23 1 | 24 1 | 25 OFF |
| 26 OFF | 27 1 | 28 1 | 29 2 | 30 1 | 31 1 | |
| | | | | | | |

２０１４年　２月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 OFF |
| 2 OFF | 3 1 | 4 1 | 5 2 | 6 1 | 7 1 | 8 OFF |
| 9 OFF | 10 1 | 11 OFF | 12 2 | 13 1 | 14 1 | 15 OFF |
| 16 OFF | 17 1 | 18 1 | 19 2 | 20 1 | 21 1 | 22 OFF |
| 23 OFF | 24 1 | 25 1 | 26 2 | 27 1 | 28 1 | |
| | | | | | | |

２０１４年　３月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 OFF |
| 2 OFF | 3 1 | 4 1 | 5 2 | 6 1 | 7 1 | 8 OFF |
| 9 OFF | 10 1 | 11 1 | 12 2 | 13 1 | 14 1 | 15 OFF |
| 16 OFF | 17 1 | 18 1 | 19 2 | 20 1 | 21 OFF | 22 OFF |
| 23 OFF | 24 1 | 25 1 | 26 2 | 27 1 | 28 1 | 29 OFF |
| 30 OFF | 31 1 | | | | | |

２０１４年　４月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 1 | 2 2 | 3 1 | 4 1 | 5 OFF |
| 6 OFF | 7 1 | 8 1 | 9 2 | 10 1 | 11 1 | 12 OFF |
| 13 OFF | 14 1 | 15 1 | 16 2 | 17 1 | 18 1 | 19 OFF |
| 20 OFF | 21 1 | 22 1 | 23 2 | 24 1 | 25 1 | 26 OFF |
| 27 OFF | 28 1 | 29 OFF | 30 2 | | | |
| | | | | | | |

２０１４年　５月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 1 | 2 1 | 3 OFF |
| 4 OFF | 5 OFF | 6 OFF | 7 2 | 8 1 | 9 1 | 10 OFF |
| 11 OFF | 12 1 | 13 1 | 14 2 | 15 1 | 16 1 | 17 OFF |
| 18 OFF | 19 1 | 20 1 | 21 2 | 22 1 | 23 1 | 24 OFF |
| 25 OFF | 26 1 | 27 1 | 28 2 | 29 1 | 30 1 | 31 OFF |
| | | | | | | |

２０１４年　６月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 OFF | 2 1 | 3 1 | 4 2 | 5 1 | 6 1 | 7 OFF |
| 8 OFF | 9 1 | 10 1 | 11 2 | 12 1 | 13 1 | 14 OFF |
| 15 OFF | 16 1 | 17 1 | 18 2 | 19 1 | 20 1 | 21 OFF |
| 22 OFF | 23 1 | 24 1 | 25 2 | 26 1 | 27 1 | 28 OFF |
| 29 OFF | 30 1 | | | | | |
| | | | | | | |

### ●祝日スケジュール一覧

祝日スケジュール一覧

ファイル名：2014年度.pbp
印刷日時 2014/06/10 17:13

| No. | 日付 | 祝日名 | 祝日 | 振替休日 | 日曜祝日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | １月　１日 | 元旦 | OFF | OFF | OFF |
| 2 | １月 第２月曜日 | 成人の日 | OFF | — | — |
| 3 | ２月　１１日 | 建国記念の日 | OFF | OFF | OFF |
| 4 | ３月２０，２１日 | 春分の日 | OFF | OFF | OFF |
| 5 | ４月　２９日 | 昭和の日 | OFF | OFF | OFF |
| 6 | ５月　３日 | 憲法記念日 | OFF | OFF | OFF |
| 7 | ５月　４日 | みどりの日 | OFF | OFF | OFF |
| 8 | ５月　５日 | こどもの日 | OFF | OFF | OFF |
| 9 | ７月 第３月曜日 | 海の日 | OFF | — | — |
| 10 | ９月２２，２３日 | 秋分の日 | OFF | OFF | |
| 11 | ９月 第３月曜日 | 敬老の日 | OFF | — | — |
| 12 | １０月 第２月曜日 | 体育の日 | OFF | — | — |
| 13 | １１月　３日 | 文化の日 | OFF | OFF | OFF |
| 14 | １１月　２３日 | 勤労感謝の日 | OFF | OFF | OFF |
| 15 | １２月　２３日 | 天皇誕生日 | OFF | OFF | OFF |
| 16 | ー月　ー日 | 国民の休日 | OFF | | |
| 17 | | | | | |
| 18 | | | | | |
| 19 | | | | | |
| 20 | | | | | |
| 21 | | | | | |
| 22 | | | | | |
| 23 | | | | | |
| 24 | | | | | |
| 25 | | | | | |

### ●チャイム一覧

チャイム一覧

ファイル名：2014年度.pbp
印刷日時 2014/06/10 17:11

| ch | 送出回数 | チャイム名 | 装置表示 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | ウエストミンスターの鐘　２５秒 | ｳｴｽﾄﾐﾝｽﾀｰﾉｶﾈ 25s |
| 2 | 1 | ウエストミンスターの鐘　１４秒 | ｳｴｽﾄﾐﾝｽﾀｰﾉｶﾈ 14s |
| 3 | 1 | ローレライ　１６秒 | ﾛｰﾚﾗｲ 16s |
| 4 | 1 | 野バラ　２４秒 | ﾉﾊﾞﾗ 24s |
| 5 | 1 | アマリリス　２８秒 | ｱﾏﾘﾘｽ 28s |
| 6 | 1 | [illegible] | [illegible] |

### ●装置設定一覧

装置設定一覧

ファイル名：2014年度.pbp
印刷日時 2014/06/10 17:10

| No. | 項目 | 登録内容 |
|---|---|---|
| 1 | アンプの起動時間 | ５秒 |
| 2 | ＢＧＭの起動時間 | ５秒 |
| 3 | 外部チャイムの起動時間 | ５秒 |
| 4 | 外部チャイムの継続時間 | ２５秒 |
| 5 | 外部チャイムの自己保持 | なし |
| 6 | 時刻修正 | ±３０秒 |
| 7 | ＮＴＰサーバ | 設定なし |
| 8 | 修正する時刻 | ０時５０分～　１時１０分 |
| 9 | 時刻の最小単位 | 分 |
| 10 | 時報の使用 | 使用しない |
| 11 | アナキーパー | なし |
| 12 | リモート放送の使用 | 使用しない |

### ●メッセージ一覧

メッセージ一覧

ファイル名：2014年度.pbp
印刷日時 2014/06/10 17:12

| ch | 放送内容 | 装置表示 |
|---|---|---|
| 1 | ラジオ体操 | ﾗｼﾞｵﾀｲｿｳ |
| 2 | 業務開始 | ｷﾞｮｳﾑｶｲｼ |
| 3 | 業間リフレッシュ | ｷﾞｮｳｶﾝﾘﾌﾚｯｼｭ |
| 4 | 昼休憩 | ﾋﾙｷｭｳｹｲ |
| 5 | 昼休憩終了 | ﾋﾙｷｭｳｹｲｼｭｳﾘｮｳ |
| 6 | 禁煙タイム | ｷﾝｴﾝﾀｲﾑ |
| 7 | 終業 | ｼｭｳｷﾞｮｳ |
| 8 | 安全作業 | ｱﾝｾﾞﾝｻｷﾞｮｳ |
| 9 | 残業日 | ｻﾞﾝｷﾞｮｳﾋﾞ |
| 10 | パート終業 | ﾊﾟｰﾄｼｭｳｷﾞｮｳ |
| 11 | 朝の音楽 | ｱｻﾉｵﾝｶﾞｸ |
| 12 | ノー残業デー | ﾉｰｻﾞﾝｷﾞｮｳﾃﾞｰ |
| 13 | | |

## ■ 学校用の場合

### ●日課パターン一覧

日課パターン表一覧

ファイル名：2007年上期.pbp
印刷日時 2007/06/14 11:20

日課パターン番号： 1　パターン名：通常業務　装置表示：ﾂｳｼﾞｮｳｷﾞｮｳﾑ

定時放送

| No. | 時刻 | コメント | ﾁｬｲﾑ | ﾒｯｾｰｼﾞ | 送出回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 8:30 | 朝の音楽 | | 11 | 1 |
| 2 | 8:45 | ラジオ体操 | | 1 | 1 |
| 3 | ↓ | 連結チャイム | 3 | | |
| 4 | 8:55 | 業務開始予告 | 4 | 2 | 1 |
| 5 | 9:00 | 業務開始 | 1 | | |
| 6 | 10:00 | 禁煙タイム | | 6 | 1 |
| 7 | 12:00 | 午前終了 | 1 | 4 | 1 |
| 8 | 12:55 | 昼休憩終了予告 | | 5 | 1 |
| 9 | 13:00 | 午後開始 | 1 | | |
| 10 | 15:00 | 業間リフレッシュ | | 3 | 1 |
| 11 | 17:40 | 業務終了 | 1 | | |
| 12 | ↓ | 残業 | | 12 | 1 |
| 13 | | | | | |
| 14 | | | | | |
| 15 | | | | | |
| 16 | | | | | |
| 17 | | | | | |
| 18 | | | | | |
| 19 | | | | | |
| 20 | | | | | |
| 21 | | | | | |
| 22 | | | | | |
| 23 | | | | | |
| 24 | | | | | |
| 25 | | | | | |
| 26 | | | | | |
| 27 | | | | | |
| 28 | | | | | |
| 29 | | | | | |
| 30 | | | | | |
| 31 | | | | | |
| 32 | | | | | |
| 33 | | | | | |
| 34 | | | | | |
| 35 | | | | | |
| 36 | | | | | |
| 37 | | | | | |
| 38 | | | | | |
| 39 | | | | | |

| No. | 時刻 | コメント | ﾁｬｲﾑ | ﾒｯｾｰｼﾞ | 送出回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 40 | | | | | |
| 41 | | | | | |
| 42 | | | | | |
| 43 | | | | | |
| 44 | | | | | |
| 45 | | | | | |
| 46 | | | | | |
| 47 | | | | | |
| 48 | | | | | |
| 49 | | | | | |
| 50 | | | | | |
| 51 | | | | | |
| 52 | | | | | |
| 53 | | | | | |
| 54 | | | | | |
| 55 | | | | | |
| 56 | | | | | |
| 57 | | | | | |
| 58 | | | | | |
| 59 | | | | | |
| 60 | | | | | |
| 61 | | | | | |
| 62 | | | | | |
| 63 | | | | | |
| 64 | | | | | |

ＢＧＭ

| No. | 開始時刻 | 終了時刻 | コメント | ｃｈ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 12:00 | 12:55 | 昼の音楽 | 13 |
| 2 | 17:45 | 18:00 | 帰りの音楽 | 14 |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |

間隔放送

| No. | 開始時刻 | 終了時刻 | 間隔時間 | 放送１ | 放送２ | 放送３ | 放送４ | 放送５ | 放送６ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9:00 | 19:00 | ３０分 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |

### ●年間スケジュール一覧

年間スケジュール一覧

ファイル名：平成26年度.pbp
印刷日時 2014/06/12 09:59

２０１４年　１月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 OFF | 2 OFF | 3 OFF | 4 OFF |
| 5 OFF | 6 OFF | 7 OFF | 8 2 | 9 1 | 10 1 | 11 OFF |
| 12 OFF | 13 OFF | 14 1 | 15 2 | 16 1 | 17 1 | 18 OFF |
| 19 OFF | 20 1 | 21 1 | 22 2 | 23 1 | 24 1 | 25 OFF |
| 26 OFF | 27 1 | 28 1 | 29 2 | 30 1 | 31 1 | |
| | | | | | | |

２０１４年　２月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 OFF |
| 2 OFF | 3 1 | 4 1 | 5 2 | 6 1 | 7 1 | 8 OFF |
| 9 OFF | 10 1 | 11 OFF | 12 2 | 13 1 | 14 1 | 15 OFF |
| 16 OFF | 17 1 | 18 1 | 19 2 | 20 1 | 21 1 | 22 OFF |
| 23 OFF | 24 1 | 25 1 | 26 2 | 27 1 | 28 1 | |
| | | | | | | |

２０１４年　３月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 OFF |
| 2 OFF | 3 1 | 4 1 | 5 2 | 6 1 | 7 1 | 8 OFF |
| 9 OFF | 10 1 | 11 1 | 12 2 | 13 1 | 14 1 | 15 OFF |
| 16 OFF | 17 1 | 18 1 | 19 2 | 20 1 | 21 OFF | 22 OFF |
| 23 OFF | 24 1 | 25 1 | 26 2 | 27 1 | 28 1 | 29 OFF |
| 30 OFF | 31 1 | | | | | |

２０１４年　４月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 1 | 2 2 | 3 1 | 4 1 | 5 OFF |
| 6 OFF | 7 1 | 8 1 | 9 2 | 10 1 | 11 1 | 12 OFF |
| 13 OFF | 14 1 | 15 1 | 16 2 | 17 1 | 18 1 | 19 OFF |
| 20 OFF | 21 1 | 22 1 | 23 2 | 24 1 | 25 1 | 26 OFF |
| 27 OFF | 28 1 | 29 OFF | 30 2 | | | |
| | | | | | | |

２０１４年　５月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 1 | 2 1 | 3 OFF |
| 4 OFF | 5 OFF | 6 OFF | 7 2 | 8 1 | 9 1 | 10 OFF |
| 11 OFF | 12 1 | 13 1 | 14 2 | 15 1 | 16 1 | 17 OFF |
| 18 OFF | 19 1 | 20 1 | 21 2 | 22 1 | 23 1 | 24 OFF |
| 25 OFF | 26 1 | 27 1 | 28 2 | 29 1 | 30 1 | 31 OFF |
| | | | | | | |

２０１４年　６月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 OFF | 2 1 | 3 1 | 4 2 | 5 1 | 6 1 | 7 OFF |
| 8 OFF | 9 1 | 10 1 | 11 2 | 12 1 | 13 1 | 14 OFF |
| 15 OFF | 16 1 | 17 1 | 18 2 | 19 1 | 20 1 | 21 OFF |
| 22 OFF | 23 1 | 24 1 | 25 2 | 26 1 | 27 1 | 28 OFF |
| 29 OFF | 30 1 | | | | | |
| | | | | | | |

### ●祝日スケジュール一覧

祝日スケジュール一覧

ファイル名：平成26年度.pbp
印刷日時 2014/06/12 10:01

| No. | 日付 | 祝日名 | 祝日 |
|---|---|---|---|
| 1 | １月　１日 | 元旦 | OFF |
| 2 | １月 第２月曜日 | 成人の日 | OFF |
| 3 | ２月　１１日 | 建国記念の日 | OFF |
| 4 | ３月２０，２１日 | 春分の日 | OFF |
| 5 | ４月　２９日 | 昭和の日 | OFF |
| 6 | ５月　３日 | 憲法記念日 | OFF |
| 7 | ５月　４日 | みどりの日 | OFF |
| 8 | ５月　５日 | こどもの日 | OFF |
| 9 | ７月 第３月曜日 | 海の日 | OFF |
| 10 | ９月２２，２３日 | 秋分の日 | OFF |
| 11 | ９月 第３月曜日 | 敬老の日 | OFF |
| 12 | １０月 第２月曜日 | 体育の日 | OFF |
| 13 | １１月　３日 | 文化の日 | OFF |
| 14 | １１月　２３日 | 勤労感謝の日 | OFF |
| 15 | １２月　２３日 | 天皇誕生日 | OFF |
| 16 | ー月　ー日 | 国民の休日 | OFF |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |
| 21 | | | |
| 22 | | | |
| 23 | | | |
| 24 | | | |
| 25 | | | |

### ●チャイム一覧

チャイム一覧

ファイル名：平成26年度.pbp
印刷日時 2014/06/12 10:02

| ch | 送出回数 | チャイム名 | 装置表示 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | ウエストミンスターの鐘　２５秒 | ｳｴｽﾄﾐﾝｽﾀｰﾉｶﾈ 25s |
| 2 | 1 | ウエストミンスターの鐘　１４秒 | ｳｴｽﾄﾐﾝｽﾀｰﾉｶﾈ 14s |
| 3 | 1 | ローレライ　１６秒 | ﾛｰﾚﾗｲ 16s |
| 4 | 1 | 野バラ　２４秒 | ﾉﾊﾞﾗ 24s |
| 5 | 1 | アマリリス　２８秒 | ｱﾏﾘﾘｽ 28s |
| 6 | 1 | | |

### ●装置設定一覧

装置設定一覧

ファイル名：平成26年度.pbp
印刷日時 2014/06/12 10:03

| No. | 項目 | 登録内容 |
|---|---|---|
| 1 | アンプの起動時間 | ５秒 |
| 2 | ＢＧＭの起動時間 | （一般用のみ） |
| 3 | 外部チャイムの起動時間 | ５秒 |
| 4 | 外部チャイムの継続時間 | ２５秒 |
| 5 | 外部チャイムの自己保持 | なし |
| 6 | 時刻修正 | ±３０秒 |
| 7 | ＮＴＰサーバ | 設定なし |
| 8 | 修正する時刻 | ０時５０分～　１時１０分 |
| 9 | 時刻の最小単位 | （一般用のみ） |
| 10 | 時報の使用 | （一般用のみ） |
| 11 | アナキーパー | （一般用のみ） |
| 12 | リモート放送の使用 | 標準：５ |

### ●メッセージ一覧

メッセージ一覧

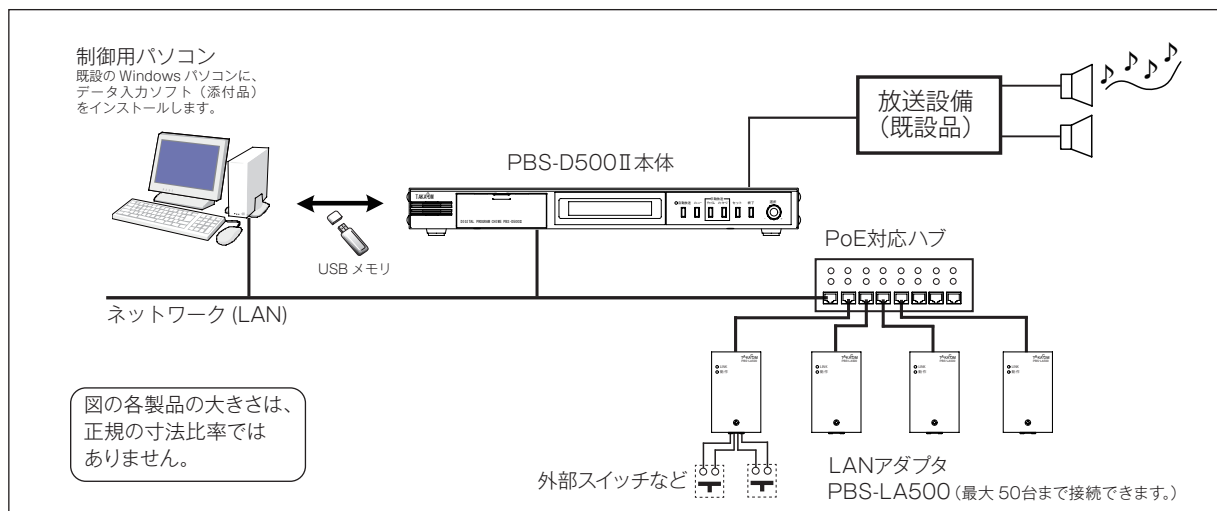
ファイル名：平成26年度.pbp
印刷日時 2014/06/12 10:03

| ch | 放送内容 | 装置表示 |
|---|---|---|
| 1 | 朝の音楽 | ｱｻﾉｵﾝｶﾞｸ |
| 2 | 朝の放送 | ｱｻﾉﾎｳｿｳ |
| 3 | ラジオ体操 | ﾗｼﾞｵﾀｲｿｳ |
| 4 | 朝礼予告放送 | ﾁｮｳﾚｲﾖｺｸﾎｳｿｳ |
| 5 | 朝の会 | ｱｻﾉｶｲ |
| 6 | 授業開始 | ｼﾞｭｷﾞｮｳｶｲｼ |
| 7 | 給食開始 | ｷｭｳｼｮｸｶｲｼ |
| 8 | 掃除開始 | ｿｳｼﾞｶｲｼ |
| 9 | 下校 | ｹﾞｺｳ |
| 10 | 一斉下校 | ｲｯｾｲｹﾞｺｳ |
| 11 | 最終下校 | ｻｲｼｭｳｹﾞｺｳ |
| 12 | 昼休み終了予告 | ﾋﾙﾔｽﾐｼｭｳﾘｮｳﾖｺｸ |
| 13 | | |

# LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する

## ■ 概要

別売の LAN アダプタ PBS-LA500（以下、PBS-LA500 と記します。）を使用すると、外部の非常スイッチなどからの信号を、ネットワーク（LAN）経由で PBS-D500Ⅱ本体に送信して、リモート放送することができます。
PBS-LA500 は、ネットワーク上で、一台の PBS-D500Ⅱに最大 50 台まで接続できます。また、1 台の PBS-LA500 には、外部からの接点信号が 2 種類入力できます。
PBS-LA500 の設定などは、「PBS-D500 データ入力ソフト」の CD に添付の「PBS-LA500 設定ソフト」で行ないます。

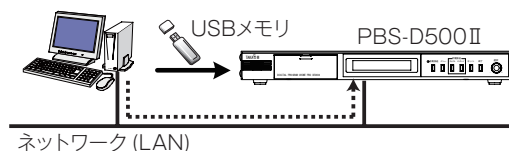
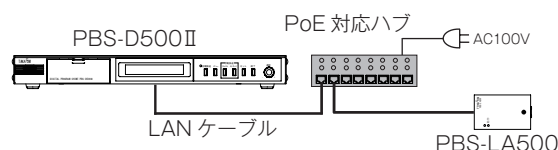
## ■ PBS-LA500 使用時のシステム概要図

## ■ お使いになるまでの手順

PBS-LA500 を使用してリモート放送を行なうには、あらかじめ次の準備が必要です。

**1 PBS-LA500 設定ソフトのインストール（142 ページ）**
添付の CD で、お手持ちのパソコンに「PBS-LA500 設定ソフト」をインストールします。

**2 PBS-LA500 のデータ設定（144 ページ）**
「PBS-LA500 設定ソフト」で、使用するすべての PBS-LA500 のデータ（IP アドレス・リモート放送番号など）を登録します。

**3 PBS-LA500のデータを PBS-D500Ⅱ本体に読み込む（145ページ）**
登録した PBS-LA500 のデータ（以下、LA 設定データと記します。）を、PBS-D500Ⅱ本体に読み込みます。
・USB メモリを使用する、またはネットワーク（LAN）経由で読み込みします。

PBS-D500ⅡとPBS-LA500は、必ず 1対 1 で接続してください。

**4 LA 設定データを PBS-LA500 に設定（149 ページ）**
PBS-D500Ⅱ本体と PBS-LA500 を、PoE ハブを介して LAN ケーブルで接続し、PBS-D500Ⅱ本体から PBS-LA500 にデータ設定を行ないます。
**※ PBS-LA500 は、必ず 1 台ずつ接続して設定してください。**

**5 PBS-LA500の設定とリモート放送動作を確認(150,151ページ)**
PBS-LA500 をネットワーク（LAN）に接続して、【状態監視】画面ですべての PBS-LA500 の状態を確認します。また、リモート放送動作を確認します。

**ワンポイント**

● PBS-LA500 を新規に追加するときは、PBS-D500Ⅱ本体の LAN ケーブルを抜いて（ネットワークから切り離して）から、PoE 対応ハブと新規設定する装置を、別の LAN ケーブルで PBS-D500Ⅱ本体に接続して設定してください。（右上の図を参照してください。）

**STOP お願い**

● PBS-LA500 のリモート放送機能は、本システムが下記のバージョン以降の製品でご利用いただけます。
・PBS-D500Ⅱ本体　：Ver.1.20 以降
・データ入力ソフト　：Ver.1.10 以降

## 1．PBS-LA500 設定ソフトのインストール

お手持ちのパソコンへ、添付のＣＤから「PBS-LA500 設定ソフト」をインストールします。他のソフトをすべて終了してからインストールを行なってください。以下は、Windows 7 の操作例、クラッシック画面の例です。

### ■ インストールのしかた

**1**

① インストール用 CD をセットすると、【自動再生】画面が表示されます。

② [autorun.exe の実行] をクリックします。

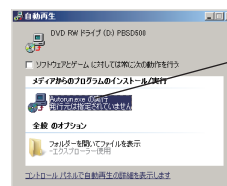
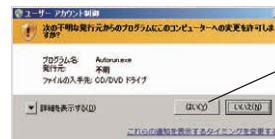
・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

**2**

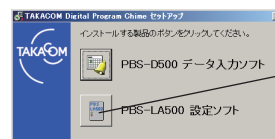
① [はい] をクリックします。

※ Windows Vista の場合は、[許可] をクリックします。

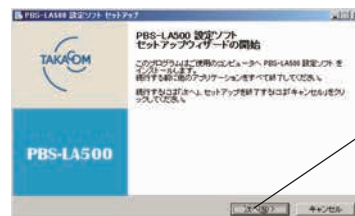
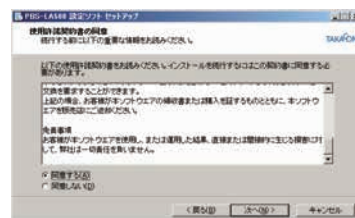
・【Digital Program Chime セットアップ】画面が表示されます。

**3**

① [PBS-D500 データ入力ソフト ] ボタンをクリックします。

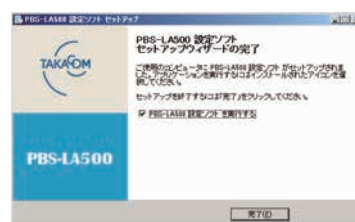
・【PBS-LA500 設定ソフトセットアップ】開始画面になります。

② [ 次へ ] ボタンをクリックします。

・【使用許諾契約書の同意】の画面になります。

以降は画面の指示に従ってインストールを進めます。

・インストールが完了すると、【PBS-LA500 設定ソフトセットアップ】完了画面になります。

**4**

①「PBS-LA500 設定ソフトを実行する」場合は、チェックボックスにチェックを付けて、[ 完了 ] ボタンをクリックします。

・【オプション設定】画面を表示します。

**5**

①本ソフトで設定・登録した LA 設定データを読み込む PBS-D500Ⅱ本体の IP アドレスなどを、【オプション設定】画面で登録します。詳しくは「4-2. ネットワーク（LAN）で本体に転送して読み込む」147 ページを参照してください。

②オプション設定を後で行なう場合は、[戻る] ボタンをクリックします。

【オプション設定】画面

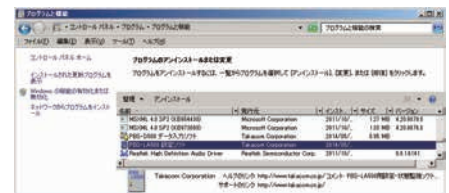
**ワンポイント**

● 状態監視機能を使用する場合は、本ソフトをスタートアップに登録することをお薦めします。パソコンの再起動時などに、自動的に状態監視を開始します。

●【オプション設定】画面は、本ソフトをインストールしたあとの、初回起動時に自動表示します。以後は、タスクトレイのアイコンを右クリックして、メニューから表示できます。

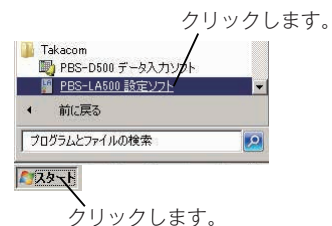
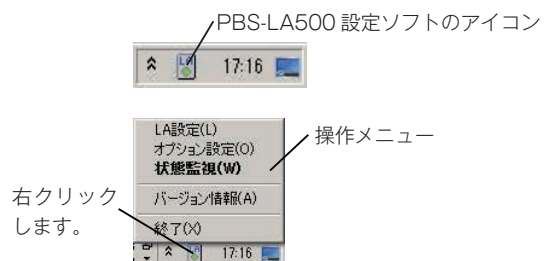
### ■ PBS-LA500 設定ソフトを削除するには

本ソフトが起動している（タスクトレイにアイコンを表示している）場合は、下記の「2.PBS-LA500 設定ソフトの起動と終了」の［終了］で本ソフトを終了してから、次の手順で削除を行なってください。

① タスクバーを「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
②【表示方法：カテゴリの場合】
「プログラムのアンインストール」を開きます。
【表示方法：カテゴリ以外の場合】
「プログラムと機能」を開きます。
③「PBS-LA500 設定ソフト」を選んでアンインストールします。

## 2．PBS-LA500 設定ソフトの起動と終了

### ■ 起動

スタートアップに登録されている場合は、特別な操作は必要ありません。また、デスクトップにショートカットが作成されている場合は、ショートカットをダブルクリックします。（タスクトレイにアイコンが表示されます。）
スタートアップに登録されていない場合は以下の操作で起動します。
（Windows 7 の操作例、クラッシック画面の例）

**1** ①タスクバーから、[ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [TAKACOM] → ［PBS-LA500 設定ソフト］を選択してクリックします。

**2** ①本ソフトが起動し、タスクトレイにアイコンが表示されます。
② PBS-LA500 設定ソフトのデータ登録などを行なう場合は、アイコンを右クリックします。
・表示される「メニュー」から操作を選択して登録します。
・登録のしかたは、それぞれの説明をご覧ください。

### ■ 終了

**1** ① LA のデータ設定、オプション設定などを終了するときは、[ 終了 ] ボタンをクリックします。

### ■ ソフトのバージョン情報について

**1** ①メニューのバージョン情報をクリックすると、本ソフトのバージョンが確認できます。

## 3．PBS-LA500 のデータ設定

PBS-LA500 のデータを設定します。最大 50 台までの PBS-LA500 が設定できます。
（Windows 7 の操作例、クラッシック画面の例）

### ■ 設定画面の呼び出し

1．タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで［LA 設定］をクリックします。
・【PBS-LA500 設定作成】画面になります。

### ■ 登録のしかた

1．［新規作成］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
・【PBS-LA500 設定】画面になります。

**① PBS-LA500 の選択**
登録する PBS-LA500 の［号機番号］の行をクリックします。
・反転表示になります。

**②ネットワーク情報の登録**
PBS-LA500 ごとの、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。

**③リモート放送情報の登録**
起動信号の入力端子 1，2 に、リモート端子番号（1 ～ 50）を入力します。
・［▲ / ▼］ボタンをクリックして、指定することもできます。
・初期値は 0（設定なし）です。
・［中止］にチェックを付けると、リモート放送の中止信号になります。

**④コメント、装置表示名の登録**
《コメント》ボックスに、装置ごとのコメントを入力します。コメントを入力すると、《装置表示》ボックスに半角で自動表示されます。
・コメントは、全角で 15 文字、半角で 30 文字以内です。
・装置表示を修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで 18 文字以内です。

**⑤登録**
［登録］ボタンをクリックすると、PBS-LA500 設定一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、①～⑤を繰り返します。

**⑥ PBS-D500 の通信設定**
ここで設定した PBS-LA500 からの起動信号でリモート放送を行なう、PBS-D500Ⅱの、IP アドレスを設定します。
・通常、ポート番号は変更しないでください。

**PBS-LA500 設定一覧**
登録内容を一覧で表示します。

**［削除］ボタン**

**［印刷］ボタン**
クリックすると、PBS-LA500 設定一覧を印刷します。詳しくは、「PBS-LA500 設定一覧の印刷例」（154 ページ）を参照してください。

### ■ 修正をするには

1．「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したい PBS-LA500 の号機番号を選び、修正します。
2．［登録］ボタンをクリックします。
3．【上書きしますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・PBS-LA500 設定一覧に、修正された内容が表示されます。

### ■ 削除をするには

1．「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したい PBS-LA500 の号機番号を選びます。
2．［削除］ボタンをクリックします。
3．【選択行を削除しますか？】と表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。
・PBS-LA500 設定一覧から削除されます。

**ワンポイント**

● リモート端子番号へのチャイム・メッセージなどの登録内容は、「PBS-D500 データ入力ソフト」の［装置設定］で確認してください。また、登録方法は「装置設定の登録　リモート放送の使用」（一般用 75 ページ、学校用 116 ページ）を参照してください。
● ネットワーク情報の各数値は、ネットワーク管理者にご確認ください。

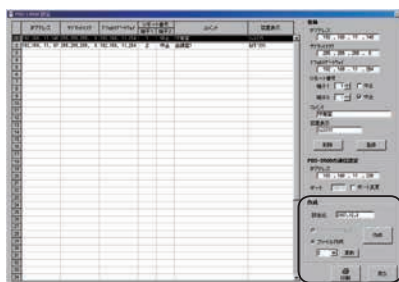
## 4．LA 設定データを PBS 本体に読み込む

３項の「PBS-LA500 のデータ設定」で登録した LA 設定データを、PBS-D500Ⅱ本体に読み込みます。
（各々の PBS-LA500 本体へのデータ設定は、この PBS-D500Ⅱ本体の操作で行ないます。後述の「LA 設定データを PBS-LA500 に設定する」を参照してください。）

### 4-1. USB メモリに作成して本体に読み込む

#### ■ LA 設定データを USB メモリに作成する

1．USB メモリを接続します。
2．【PBS-LA500 設定】画面の【作成】欄で、USB メモリのドライブを指定してデータファイルを作成します。

**①設定名の登録**
作成する LAN 設定データの設定名を入力します。
・設定名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

**②作成先選択**
［ファイル作成］を選択します。
［▼］をクリックして、USB メモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は［更新］ボタンをクリックします。

**［戻る］ボタン**
PBS-LA500 のデータ登録を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【PBS-LA500 設定】画面を終了します。
・LA 設定データを作成する前にクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、作成した内容をキャンセルして【PBS-LA500 設定】画面を終了します。

**③作成**
［作成］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

［OK］ボタンをクリックします。
・【PBS-LA500 設定】画面を終了します。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。※

USB メモリが接続されたドライブを選択して［停止］ボタンをクリックします。
・USB メモリが安全に取り外しできます。

※ Windows Vista 以外ではハードウェア取り外しの案内メッセージが表示されません。タスクバーの隠れているインジケーターにおける「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして取り外してください。

#### LA 設定データ作成時の確認画面について

LA 設定データを作成するとき、USB メモリに以前に作成したデータファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されます。案内の指示に従って操作してください。
・古いデータファイルがある場合

［はい］ボタンをクリックすると、新しいデータファイルに書き換わります。
［いいえ］ボタンをクリックすると、【PBS-LA500 設定】画面に戻ります。

#### ワンポイント

●USB メモリを接続するドライブ名は、あらかじめ確認しておいてください。
●作成先ドライブを制御用パソコンのハードディスクなど、USB メモリ以外に指定することもできます。

## ■ USB メモリの LA 設定データを本体に読み込む

**1** 本体装置のフロントカバーを開け、LA 設定データが書き込まれた USB メモリを、USB コネクタにセットします。

**2** 待機画面のとき、[ﾒﾆｭｰ] を押し、選択ロータリースイッチで、【4 ﾌｧｲﾙ】を選ぶ

＊[ﾒﾆｭｰ] を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**3** [セット] を押す
選択ロータリースイッチで、【4-1 USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】を選ぶ

＊[セット] を押したとき【ﾌｧｲﾙ】のメニュー画面を表示します。

```
4-1 USBﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ
4-2 PBS → USBﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ
```

**4** [セット] を押す
選択ロータリースイッチで、【4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ】を選ぶ

＊[セット] を押したとき、【USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

```
4-1-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-1-2 ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
```

**5** [セット] を押す

＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、USB と PBS（本体装置）の設定名を表示します。
＊ PBS（本体装置）にデータファイルがない場合は、「---」表示となります。

確認のあと [セット] を押す

＊データの読み込みが始まります。
＊読み込みが終了すると、【USB ﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ】のメニュー選択画面に戻ります。

```
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
  USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
    ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
↓
USB:ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀA
PBS:ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀB       [ｾｯﾄ]
USB:ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀA
I████████  I        I
↓
4-1-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-1-4 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
```

**6** [終了] を、必要回数押して待機画面に戻す

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ワンポイント

- 読み込みのしかたの手順 5 で、USB メモリが挿入されていないときは、「USB ﾒﾓﾘ ｦ ｿｳﾆｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示します。USB メモリを挿入してください。
- LA 設定データを読み込むときに、USB メモリにデータがない場合は、「ピッ・ピッ・・・」と鳴って「ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示します。USB メモリ内のデータを確認してください。

### お願い

- データの読み込み中は、USB メモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

### 参考：本体の LA 設定データを USB メモリに書き込むには

**1** 本体装置のフロントカバーを開け、USB メモリを、USB コネクタにセットします。

**2** 待機画面のとき、[ﾒﾆｭｰ] を押し、選択ロータリースイッチで、【4 ﾌｧｲﾙ】を選ぶ

＊[ﾒﾆｭｰ] を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**3** [セット] を押す
選択ロータリースイッチで、【4-2 PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】を選ぶ

＊[セット] を押したとき【ﾌｧｲﾙ】のメニュー画面を表示します。

```
4-1 USBﾒﾓﾘ → PBS ﾃﾝｿｳ
4-2 PBS → USBﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ
```

**4** [セット] を押す
選択ロータリースイッチで、【4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ】を選ぶ

＊[セット] を押したとき、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー画面を表示します。

```
4-2-1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
4-2-2 ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-3 ｽｹｼﾞｭｰﾙ･ｵﾝｹﾞﾝ
4-2-4 ﾘﾓｰﾄﾎｳｿｳ ﾘﾚｷ
4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
```

**5** [セット] を押す

＊「USB ﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳﾃﾞｽ」「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ」のあと、PBS（本体装置）と USB の設定名を表示します。
＊ USB メモリにデータファイルがない場合は、「---」表示となります。

確認のあと [セット] を押す

＊データの書き込みが始まります。
＊書き込みが終了すると、【PBS → USB ﾒﾓﾘ ﾃﾝｿｳ】のメニュー選択画面に戻ります。

```
4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
  USBﾒﾓﾘ ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ
4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
    ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
↓
PBS:ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀB
USB:ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀA       [ｾｯﾄ]
PBS:ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀB
I████████  I        I
↓
4-2-5 LA ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ
```

**6** [終了] を、必要回数押して待機画面に戻す

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

### ワンポイント

- 書き込みのしかたの手順 5 で、USB メモリが挿入されていないときは、「USB ﾒﾓﾘ ｦ ｿｳﾆｭｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示します。USB メモリを挿入してください。

### お願い

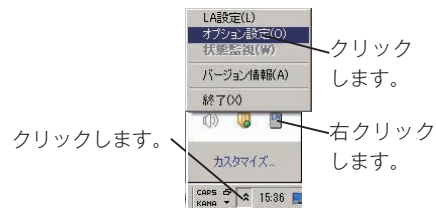
- データの書き込み中は、USB メモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

## 4-2. ネットワーク（LAN）で本体に転送して読み込む

本ソフトをインストールしたパソコンと PBS-D500Ⅱ本体が、同じネットワーク（LAN）上に接続されている場合は、ネットワーク（LAN）経由で LA 設定データを PBS-D500Ⅱ本体に転送することができます。

### ■ PBS-D500Ⅱ本体のネットワーク情報を設定する

**●設定のしかた**

1．タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで［オプション設定］をクリックします。
・【オプション設定】画面になります。

**①ネットワーク接続を使用する**
チェックボックスをクリックして「ネットワークを使用する」にします。
・接続先 PBS-D500 通信設定および［接続テスト］ボタンが有効になります。

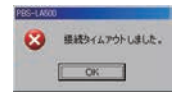
**状態監視設定**
ネットワークに接続されている、PBS-LA500 の状態が確認できます。詳しくは、「PBS-LA500 の状態監視」（151 ページ）を参照してください。

**②接続先 PBS-D500 通信設定**
PBS-D500Ⅱ本体の IP アドレスを入力します。通常、ポート番号は変更しないでください。

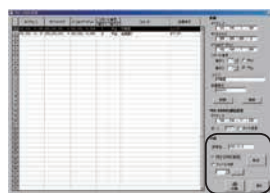
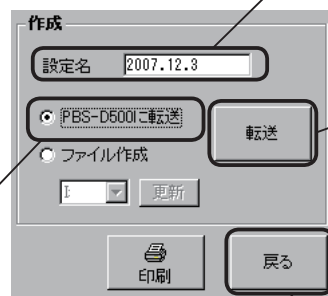
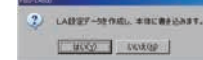
**③登録**
設定を確定するとき［登録］ボタンをクリックします。
・【オプション設定】画面を終了します。

**［戻る］ボタン**
オプション設定を終わるときに［戻る］ボタンをクリックします。

**接続テスト**
［接続テスト］ボタンをクリックすると、PBS-D500Ⅱ本体との接続確認ができます。
・接続ができると、右の表示となります。
［OK］ボタンをクリックすると、【オプション設定】画面に戻ります。

・接続できない場合は、右の表示となります。
［OK］ボタンをクリックすると、【オプション設定】画面に戻ります。PBS-D500Ⅱ本体の登録などを確認してください。

### ■ LA 設定データを PBS-D500Ⅱ本体に転送する

1．【PBS-LA500 設定】画面の【作成】欄で、［PBS-D500 に転送］を指定してデータファイルを転送します。

**①設定名の登録**
作成する LAN 設定データの設定名を入力します。
・設定名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

**② PBS-D500 に転送**
［PBS-D500 に転送］を指定します。
・［作成］ボタンが［転送］ボタンに変わります。

**③転送**
［転送］ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、LA 設定データが PBS-D500Ⅱ本体に転送されます。

**④ PBS-LA500 設定の終了**
LA 設定データの転送を終わるとき［戻る］ボタンをクリックします。
・【PBS-LA500 設定】画面を終了します。
・LA 設定データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、作成した内容をキャンセルして【PBS-LA500 設定】画面を終了します。

**ワンポイント**

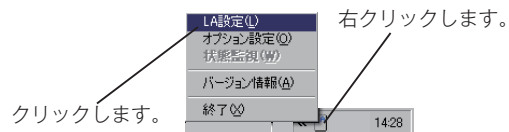
● 自動放送セット中または定時放送などの放送中に LA 設定データの転送を行なうと、“自動放送を解除しますか？”または“現在の放送をキャンセルします。”などの確認画面を表示します。
［はい］ボタンをクリックすると、放送中は放送を中断して LA 設定データを転送し、転送が終了すると自動的に自動放送が再セットされます。

# 5．LA 設定データを修正する

作成済みの LA 設定データの修正は、以下の方法で行ないます。

## ■ 設定画面の呼び出し

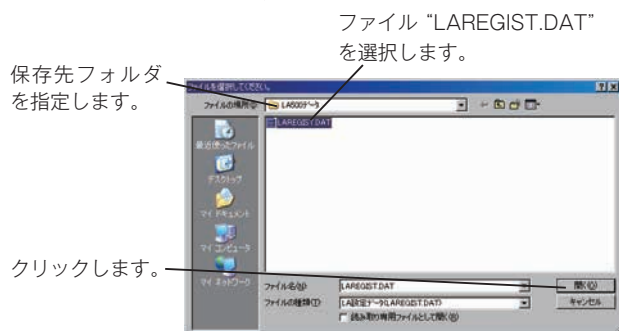
1．タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで［LA 設定］をクリックします。

・【PBS-LA500 設定作成】画面になります。

## ■ 作成済みの LA 設定データを開く

### ● 保存先のフォルダから開く

1．［ファイルを開く］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

・ファイル選択の画面になります。

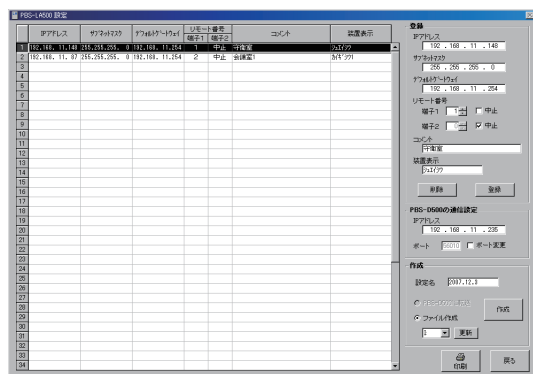
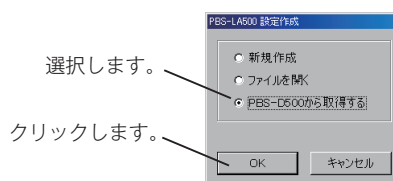
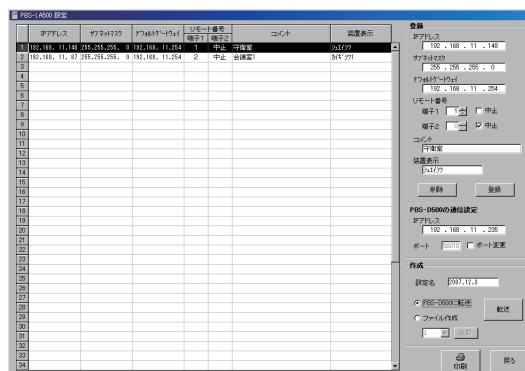
2．「ファイルの場所」で保存先のフォルダを指定して、ファイルを選択します。

3．［開く］ボタンをクリックします。

・【PBS-LA500 設定】画面になり、設定済みのデータを表示します。

### ● PBS-D500Ⅱ本体から開く

ネットワークを使用して PBS-D500Ⅱ本体と接続している場合は、本体のデータを取得して修正することができます。

1．［PBS-D500 から取得する］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

・【PBS-LA500 設定】画面になり、設定済みのデータを表示します。

## ■ LA 設定データを修正する

3 項「PBS-LA500 のデータ設定　登録のしかた」と同じ方法で、修正したい PBS-LA500 の号機番号を選び、修正します。

**ワンポイント**

● ネットワークを使用しないで PBS-D500Ⅱ本体のデータを修正するには、LA 設定データを USB メモリに書き込みしたあとパソコンに読み込んで行ないます。前項の保存先フォルダで USB メモリを指定し、ファイル "LAREGIST.DAT" を開きます。

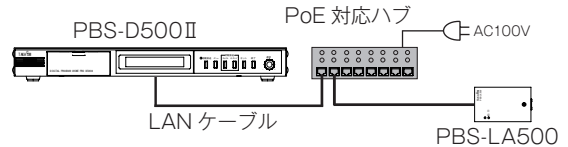
● PBS-D500Ⅱ本体から USB メモリへのデータ書き込み方法は、「参考：本体の LA 設定データを USB メモリに書き込むには」（146 ページ）を参照してください。

## 6．LA 設定データを PBS-LA500 に設定する

PBS-D500Ⅱ本体に読み込んだ LA 設定データを、PBS-LA500 に設定します。

### ■ 準備

1．右図のように、PoE 対応ハブ（市販品）を介して PBS-D500Ⅱ本体と PBS-LA500 本体を LAN ケーブルを使用して 1 対 1 で接続します。
2．PBS-D500Ⅱおよび PoE 対応ハブの電源を入れます。

※ PBS-LA500 の取り扱いについては、「LAN アダプタ PBS-LA500」取扱説明書を参照してください。
※ PoE 対応ハブの取り扱いについては、ご利用製品の取扱説明書を参照してください。

PBS-D500ⅡとPBS-LA500は、必ず 1対 1 で接続してください。

### ■ 設定のしかた

**1** 待機画面のとき、［メニュー］を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊［メニュー］を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ

3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ

5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** ［セット］を押す
選択ロータリースイッチで、【3-6 LA ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊［セット］を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ

3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ

3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** ［セット］を押す
選択ロータリースイッチで、【3-6-1 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

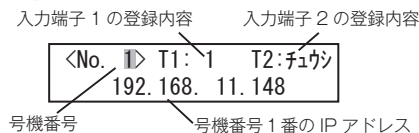
＊［セット］を押したとき、【LA ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-6-1 ｾｯﾃｲ
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
```

**4** ［セット］を押す

＊ PBS-LA500 の接続を確認し、認識を終了すると、設定内容を表示して、設定待ちになります。
＊号機番号は、PBS-D500Ⅱに読み込まれた LA 設定データの最も若い番号を表示します。

```
3-6-1 ｾｯﾃｲ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
↓
<No. 1>
LA ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
↓
<No. 1>
LA ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ
```

《設定待ち表示例》

選択ロータリースイッチで、設定する号機番号を選ぶ

＊号機番号は、LA 設定データに登録されている若い番号順に表示します。

**5** ［セット］を押す

＊データの設定を開始します。
＊データの設定が完了すると、PBS-LA500 の取り外し案内を表示します。

```
*<No. 1> ｾｯﾃｲ ｶﾝﾘｮｳ ﾃﾞｽ
LA ｦ ﾄﾘﾊｽﾞｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ
```

**6** PBS-LA500 を取り外すと、続けて次に若い号機番号の設定ができます。
手順 4 ～ 5 を繰り返して設定します。

```
<No. 2>
LA ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

**7** PBS-LA500 の設定を終了するときは、［終了］を押す

＊【LA ｾｯﾃｲ】のメニュー画面に戻ります。

```
LA ﾉ ｾｯﾃｲ ｦ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｽ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
↓
3-6-1 ｾｯﾃｲ
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
```

**8** ［終了］を、必要回数押して待機画面に戻す

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

#### STOP お願い

● PBS-LA500 の号機番号は、複数の装置に同じ番号を設定しないでください。同じネットワーク上で使用することができなくなります。

#### ワンポイント

● 手順 4 で表示される号機番号で、既に PBS-LA500 に設定されている場合は「＊」印が付きます。

設定済み
```
*<No. 1> T1: 1 T2:ﾁｭｳｼ
192.168. 11.148
```

● 手順 4 の設定待ちのときに、［メニュー］を押すと、押している間、PBS-LA500 設定ソフトで登録した「コメント」が確認できます。

コメント
```
<No. 1> T1: 1 T2:ﾁｭｳｼ
[ｼｭｴｲｼﾂ ]
```

● 手順 5 で［セット］を押したとき、接続した PBS-LA500 に既にデータ設定されている場合は、上書き確認の案内を表示します。

```
<No. 1> T1: 1 T2:ﾁｭｳｼ
ｳﾜｶﾞｷ ｼﾏｽ [ｾｯﾄ]
```

［セット］を押すと、新しいデータが上書きされます。

● 手順 4 で［セット］を押したとき、ネットワーク上に PBS-LA500 が 2 台以上接続されていると、「LA ﾉ ｾﾂｿﾞｸｦ ｶｸﾆﾝｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ」と表示します。

● 手順 4 で［セット］を押したとき、PBS-D500Ⅱ本体に LA 設定データがない場合は、「ｾｯﾃｲﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示します。

■ 確認のしかた

**1** 待機画面のとき、メニュー を押し、選択ロータリースイッチで、【3 ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊メニュー を押したとき、メニュー画面を表示します。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ
2 ｵﾝｹﾞﾝ
3 ｾｯﾃｲ
4 ﾌｧｲﾙ
5 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

**2** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-6 LA ｾｯﾃｲ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-1 ﾆﾁｼﾞ
3-2 ﾈｯﾄﾜｰｸ
3-3 ﾎｳｿｳ ｵﾝﾘｮｳ
3-4 ｵﾝｼﾂ
3-5 ｷｰﾛｯｸ
3-6 LAｾｯﾃｲ
```

**3** セット を押す
選択ロータリースイッチで、【3-6-2 ｶｸﾆﾝ】を選ぶ

＊セット を押したとき、【LA ｾｯﾃｲ】のメニュー画面を表示します。

```
3-6-1 ｾｯﾃｲ
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
```

**4** セット を押す
＊ PBS-LA500 の接続を確認し、認識を終了すると、PBS-LA500 内の設定内容を表示します。

```
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
  ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
↓
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
  LA ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
↓
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
  LA ﾆﾝｼｷﾁｭｳ ﾃﾞｽ
```

設定内容は、選択ロータリースイッチで次の 8 種類が確認できます。

《設定内容の表示例》

① PBS-LA500 の「IP アドレス」です。
```
1) IPｱﾄﾞﾚｽ
   192.168. 11.148
```

② PBS-LA500 の「サブネットマスク」です。
```
2) ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
   255.255.255. 0
```

③ PBS-LA500 の「ゲートウェイ」です。
```
3) ｹﾞｰﾄｳｪｲ
   192.168. 11.254
```

④通信用の「ポート番号」です。
```
4) ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
   56010
```

⑤ PBS-D500Ⅱ本体の「IP アドレス」です。
```
5) PBS IPｱﾄﾞﾚｽ
   192.168. 11.235
```

⑥ PBS-LA500 の「MAC アドレス」です。
```
6) MACｱﾄﾞﾚｽ
   00-1A-48-01-02-12
```

⑦ PBS-LA500 の「ファームウェアバージョン」です。
```
7) ﾌｧｰﾑｳｪｱ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
   Ver. 1.00
```

⑧ PBS-LA500 にデータ設定した「日時」です。
```
8) ｾｯﾃｲ ﾆﾁｼﾞ
   2007/12/ 5 17:10:20
```

続けて他の PBS-LA500 を確認する場合は、PBS-LA500 を取り外して差し替え、手順 4 を繰り返します。
＊ PBS-LA500 を取り外したとき、右の画面を表示します。

```
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
  LA ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

**5** PBS-LA500 の設定内容の確認を終了するときは、終了 を押す
＊【LA ｾｯﾃｲ】のメニュー画面に戻ります。

```
LA ﾉ ｶｸﾆﾝ ｦ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｽ
  ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁ ｸﾀﾞｻｲ
↓
3-6-1 ｾｯﾃｲ
3-6-2 ｶｸﾆﾝ
```

**6** 終了 を、必要回数押して待機画面に戻す
＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

```
2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
```

## 7．リモート放送の動作を確認する

■ 準備

1．PBS-D500Ⅱ本体と PBS-LA500 本体をネットワーク（LAN）に接続します。PBS-LA500 本体は PoE 対応ハブ（市販品）を介して接続します。
2．PBS-D500Ⅱおよび PoE 対応ハブの電源を入れます。

■ リモート放送動作の確認

1．PBS-LA500 本体の入力端子 1 または 2 をスイッチなどで "ON" にします。
・動作ランプが約 3 秒間点灯します。
2．PBS-D500Ⅱのリモート放送が始まり、設定されているチャイムやメッセージが放送されることを確認します。

※ PBS-LA500 の設定内容や接続状態に異常が無いかを、【状態監視】画面で確認することができます。詳しくは次項「PBS-LA500 の状態監視」を参照してください。
※リモート放送動作の詳細は、「放送　3. リモート放送」(37 ページ) を参照してください。

**ワンポイント**

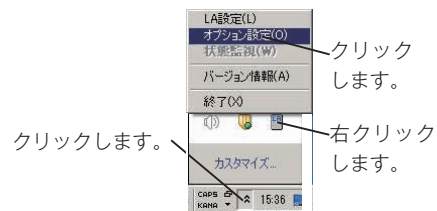
● PBS-LA500 本体の［LINK］ランプが、早い点滅を続けている場合は、PBS-LA500 によるリモート放送ができません。以下の確認を行なってください。
・本ソフトの「LA 設定」で【PBS-LA500 設定一覧】に、該当の PBS-LA500 本体の IP アドレスなどが正しく設定されているかを確認します。
・LAN ケーブルなどの接続が外れていないかを確認します。
・PBS-D500Ⅱ本体の「リモート放送使用」設定が、「使用する（オプション：50)」に設定されているかを確認します。

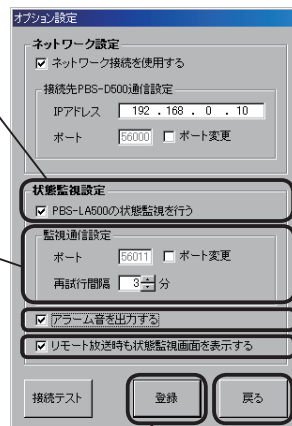
## 8．PBS-LA500 の状態監視

本ソフトをインストールしたパソコンで、ネットワーク（LAN）上に接続された PBS-LA500 の状態を確認することができます。この機能は、「オプション設定」で［ネットワーク接続を使用する］に設定したときに有効になります。

### ■ 状態監視設定を設定する

#### ● 設定のしかた

1．タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで［オプション設定］をクリックします。
・【オプション設定】画面になります。

**①状態監視設定**
チェックボックスをクリックして「PBS-LA500 の状態監視を行う」にします。
・［アラーム音を出力する］および［リモート放送時も状態監視画面を表示する］が有効になります。

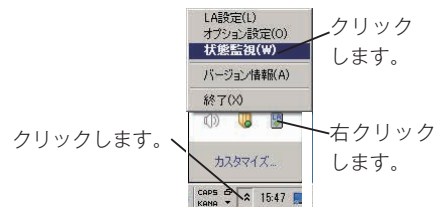
**②監視通信設定**
・ポート：通常、ポート番号は変更しないでください。
・再試行間隔：PBS-D500Ⅱと接続できなかったときの、再接続動作の間隔時間を設定します。
（設定範囲：1 ～ 60 分　初期値 3 分）

**③アラーム音を出力する**
監視中に異常が発生したときにパソコンでアラーム音を鳴らしたいときに、チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。

**④リモート放送時も状態監視画面を表示する**
状態監視画面を表示していないときでも、PBS-LA500 からのリモート放送があると、状態監視画面を表示する場合に、チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。

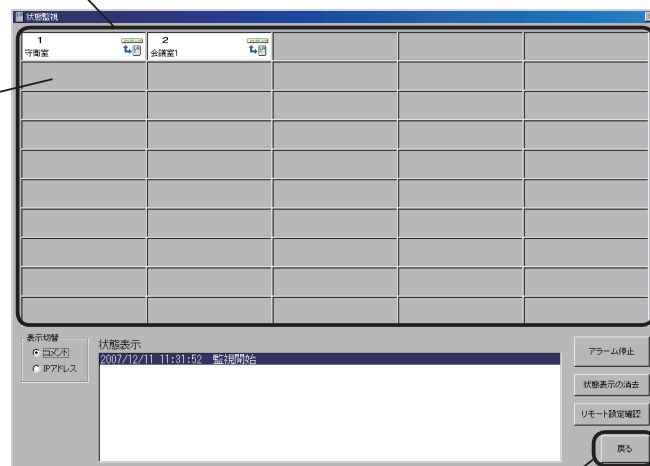
**⑤登録**
設定を確定するとき［登録］ボタンをクリックします。
・【オプション設定】画面を終了します。

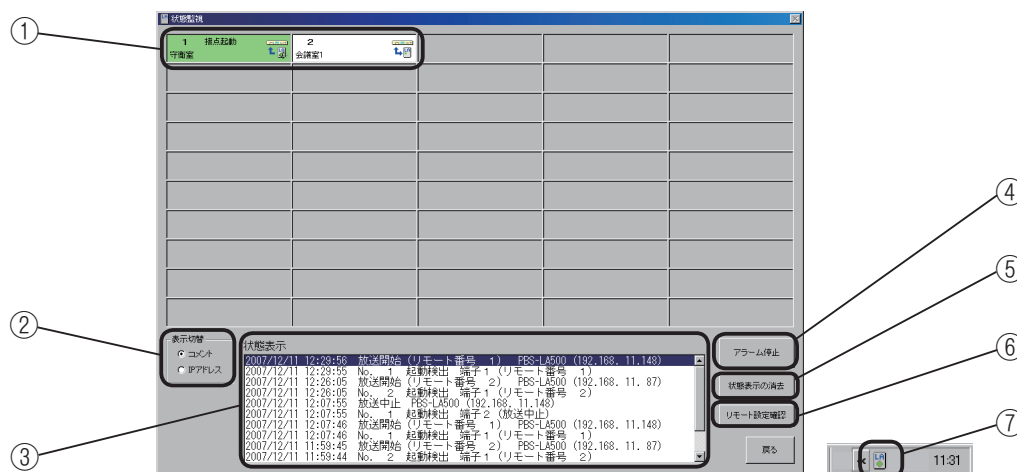
**［戻る］ボタン**
オプション設定を終わるときに［戻る］ボタンをクリックします。

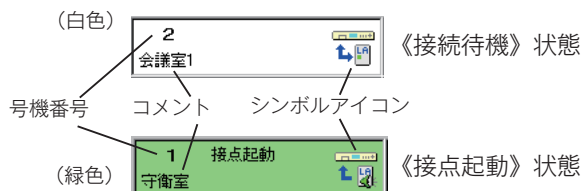
### ■ 状態監視画面の呼び出し

1．タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで［状態監視］をクリックします。
・【状態監視】画面になります。

**状態監視欄**
PBS-LA500 の状態を一覧で表示します。ネットワーク（LAN）で運用されているすべての装置が号機番号別に表示されます。

| 号機番号表示位置 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 41 | 42 | 43 | 44 | 45 |
| 46 | 47 | 48 | 49 | 50 |

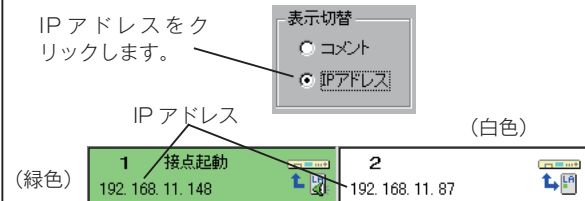
**［戻る］ボタン**
【状態監視】画面を閉じるときにクリックします。

● 状態監視の機能は、2 台以上のパソコン（ユーザ）で同時に使用することはできません。

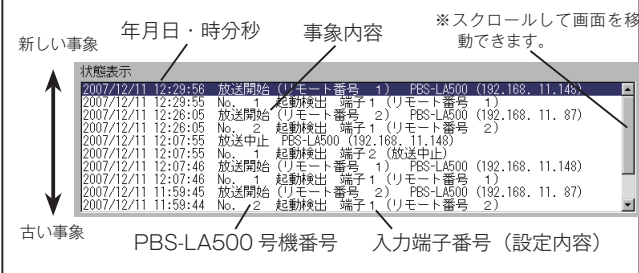
## ■ 状態監視欄のみかた

### ① 状態の種類

PBS-LA500 の状態には、次の 2 種類があります。

PBS-LA500 の入力端子に起動信号があると、《接点起動》状態の表示になり、PBS-D500Ⅱでのリモート放送動作が始まります。

・《接点起動》状態の表示は、PBS-D500Ⅱのリモート放送が終了しても状態表示を継続し、別の事象が発生したとき、または［戻る］ボタンで【状態監視】画面を閉じたときに《接続待機》状態の表示に戻ります。

### ② 表示の切り替え（コメント⇔ IP アドレス）

表示切替のオプションボタンで、表示中の PBS-LA500 を、コメントと IP アドレスのいずれかで識別できます。

### ③ 状態表示欄

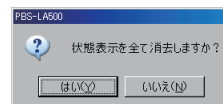
PBS-LA500 の動作状態を、事象の発生ごとに時系列で順番に表示します。

### ④［アラーム停止］ボタン

PBS-LA500 でのリモート放送システムで異常が発生すると、アラーム音（ピッピッ、ピッピッ‥‥）が鳴ります。［アラーム停止］ボタンをクリックすると止まります。

・アラーム音は、異常が復旧しても鳴り続けます。［アラーム停止］ボタンで止めてください。

### ⑤［状態表示の消去］ボタン

状態表示欄には、事象発生のつど、その記録が表示されていきます。この表示内容を消去するときに［状態表示の消去］ボタンをクリックします。

・消去の確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、状態表示を消去します。また、同時に状態監視欄の《接点起動》状態表示も《接続待機》状態に戻ります。

### ⑥【リモート設定確認】ボタン

PBS-D500ⅡのリモートGK放送設定や PBS-LA500 の LA 設定データが正しく設定されているかを確認するときに［リモート設定確認］ボタンをクリックします。

・設定異常の PBS-LA500 が有ると、状態表示欄に表示します。正しく設定し直してください。

・設定異常が無い場合

状態表示
2007/12/11 13:17:37 リモート設定に不合理は見つかりませんでした。

**⑦ タスクトレイのアイコンについて**

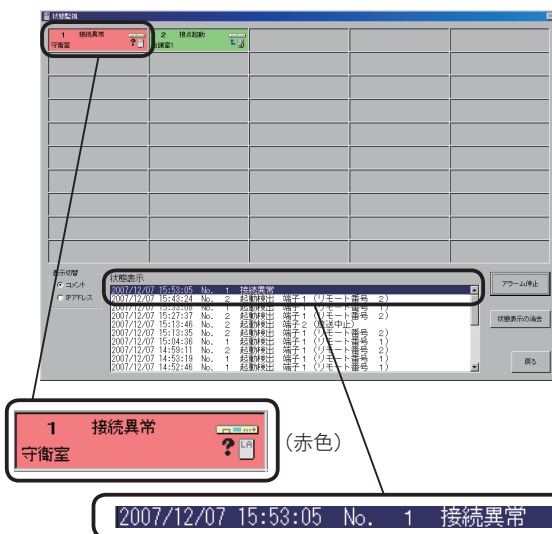
タスクトレイの「PBS-LA500 設定ソフト」のアイコンは、使用状態によって以下の表示になります。

| アイコン表示 | 状　態 |
|---|---|
|  | 状態監視をしていないとき。 |
| （灰色） | 状態監視を開始して、PBS-D500Ⅱ本体からの監視情報を待っているとき。 |
| （緑色） | PBS-LA500 の状態を監視中。 |
| （赤色） | PBS-D500Ⅱ本体との接続ができないとき。<br>（交互に表示します。）<br>・ネットワーク設定、LAN ケーブルの接続、PBS-D500Ⅱ本体が操作中ではないか、などを確認してください。 |

## ■ 異常発生時の状態表示

### ●《接続異常》の状態表示

PBS-LA500 との接続（通信）ができないときに表示します。

・ネットワーク設定（IP アドレスなど）、LAN ケーブルの接続などを確認してください。

### ●《IP 重複》の状態表示

IP アドレスの値が同じ PBS-LA500 が複数あります。

・PBS-LA500 のネットワーク設定（IP アドレス）を確認してください。

### ● その他の主な異常状態案内

以下の様な案内が状態表示欄に表示される場合は、【状態監視】画面が自動的に表示されます。

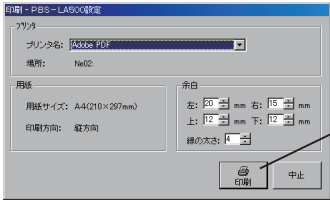
※ Windows 8/8.1 では、異常発生時に、パソコンのスタート画面を表示している場合は、【状態監視】画面がポップアップしません。（最前面に表示しません）

| 表示内容 | 状態 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 接続タイムアウトしました。 | PBS-D500Ⅱ本体との接続ができません。 | ・ネットワーク設定、LAN ケーブルの接続などを確認します。 |
| 本体操作中のため、監視解除します。 | PBS-D500Ⅱ本体が操作されたため、状態監視が解除されました。 | ・PBS-D500Ⅱ本体の操作を終了し、状態監視を再起動します。<br>・再試行間隔時間で状態監視が自動的に再起動します。このとき本体が操作中でなければ監視状態になります。 |
| 装置設定「リモート放送の使用」が「オプション:50」になっていません。 | PBS-D500Ⅱ本体の装置設定「リモート放送の使用」が、「使用する（オプション:50)」以外に設定されています。 | ・装置設定「リモート放送の使用」を、「使用する（オプション：50)」に設定します。 |

## ■ PBS-LA500 設定一覧の印刷例

【PBS-LA500 設定】画面で［印刷］ボタンをクリックすると、設定一覧を印刷することができます。あらかじめプリンタの電源を入れて、A4 用紙をセットしてください。

### ●「PBS-LA500 設定」の【印刷画面】

1. 【PBS-LA500 設定】画面の［印刷］ボタンをクリックします。
   - ・【印刷 -PBS-LA500 設定】下面を表示します。
2. ［印刷］ボタンをクリックします。
   - ・印刷を開始します。

ＰＢＳ－ＬＡ５００設定一覧

印刷日時 2007/12/11 14:49

| No. | IPアドレス | ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ | ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ | リモート番号 | | コメント |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 端子１ | 端子２ | |
| 1 | 192.168. 11.148 | 255.255.255. 0 | 192.168. 11.254 | 1 | 中止 | 守衛室 |
| 2 | 192.168. 11. 87 | 255.255.255. 0 | 192.168. 11.254 | 2 | 中止 | 会議室1 |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| 8 | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| 10 | | | | | | |
| 11 | | | | | | |
| 12 | | | | | | |
| 13 | | | | | | |
| 14 | | | | | | |
| 15 | | | | | | |
| 16 | | | | | | |
| 17 | | | | | | |
| 18 | | | | | | |
| 19 | | | | | | |
| 20 | | | | | | |
| 21 | | | | | | |
| 22 | | | | | | |
| 23 | | | | | | |
| 24 | | | | | | |
| 25 | | | | | | |
| 26 | | | | | | |
| 27 | | | | | | |
| 28 | | | | | | |
| 29 | | | | | | |
| 30 | | | | | | |
| 31 | | | | | | |
| 32 | | | | | | |
| 33 | | | | | | |
| 34 | | | | | | |
| 35 | | | | | | |
| 36 | | | | | | |
| 37 | | | | | | |
| 38 | | | | | | |
| 39 | | | | | | |
| 40 | | | | | | |
| 41 | | | | | | |
| 42 | | | | | | |
| 43 | | | | | | |
| 44 | | | | | | |
| 45 | | | | | | |
| 46 | | | | | | |
| 47 | | | | | | |
| 48 | | | | | | |
| 49 | | | | | | |
| 50 | | | | | | |

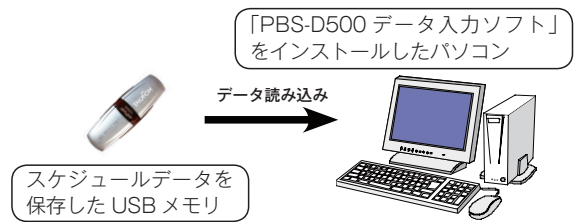
1／1

# USB メモリのデータ読み込み

USB メモリに保存したスケジュールデータを、新しくインストールした「PBS-D500 データ入力ソフト」で利用する場合は、以下の手順で USB メモリのデータをパソコンに読み込んでください。
（画面は Windows 7 の操作例）

**1**

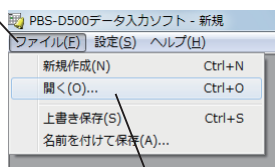
① 「PBS-D500 データ入力ソフト」の「装置用データの作成」（76 ページ（一般用）／ 118 ページ（学校用））でスケジュールを保存した USB メモリをパソコンに接続します。

※ USB メモリの内容が表示された場合は、リムーバブルディスクのドライブ名を確認して、［×］（閉じる）ボタンで閉じておきます。

**2**

① 「PBS-D500 データ入力ソフト」を起動します。

・【初期画面】が表示されます。

**3**

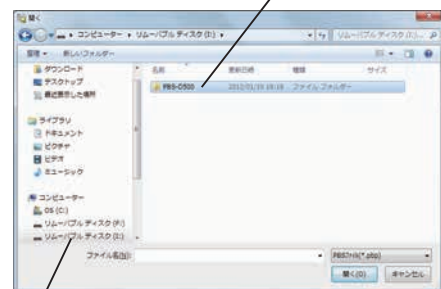
① 【初期画面】左上の「ファイル」をクリックし、ファイルメニューから［開く］をクリックします。

・【ファイルの場所】画面が表示されます。

**4**

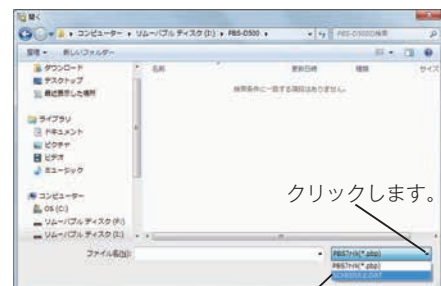
① 接続した USB メモリに該当するリムーバブルディスクを選択します。

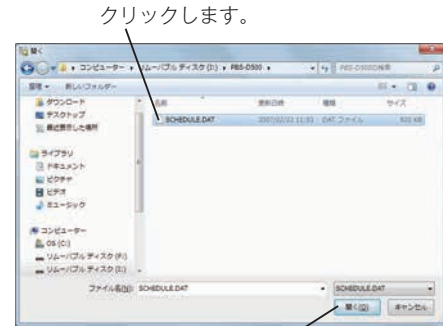
※ 画面は USB メモリをリムーバブルディスク（I）に接続した例とします。リムーバブルディスクのドライブ名は、あらかじめ確認しておいてください。

・USB メモリの内容が表示されます。

② 表示される「PBS-D500」フォルダをダブルクリックします。

**5**

① ［▼］をクリックします。

② 表示される一覧より、“SCHEDULE.DAT” を選択します。

**6**

① “SCHEDULE.DAT” を選択します。
② ［開く］ボタンをクリックします。
・スケジュールデータが読み込まれて、【初期画面】が表示されます。
※【初期画面】の右上に書き込まれたスケジュール名と作成日時が表示されます。

クリックします。

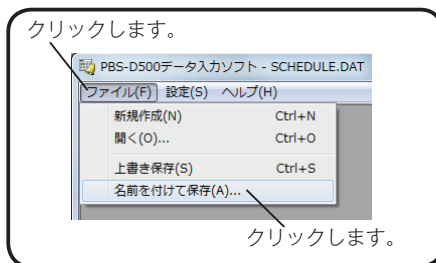
クリックします。

（例）USB メモリに保存されていたスケジュール名と作成日時。

**7**

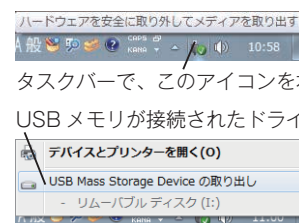
①【初期画面】左上の「ファイル」をクリックし、ファイルメニューから［名前を付けて保存］で保存場所を指定して保存します。

クリックします。

PBS-D500データ入力ソフト - SCHEDULE.DAT
ファイル(F)　設定(S)　ヘルプ(H)
新規作成(N)　Ctrl+N
開く(O)...　Ctrl+O
上書き保存(S)　Ctrl+S
名前を付けて保存(A)...

クリックします。

**8**

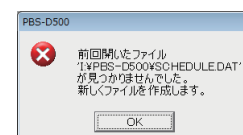
① タスクバーから を右クリックします。
② USB メモリが接続されたドライブをクリックしたあとで、USB メモリを取り外します。

ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す
10:58

タスクバーで、このアイコンを右クリックします。

USB メモリが接続されたドライブをクリックします。

デバイスとプリンターを開く(O)
USB Mass Storage Device の取り出し
- リムーバブル ディスク (I:)

ワンポイント

● USB メモリから読み込んだデータをパソコンに保存しないで「PBS-D500 データ入力ソフト」を終了した場合、次回「PBS-D500 データ入力ソフト」起動時に右の画面が出力されます。
[OK] ボタンをクリックすると【初期画面】が表示されます。

# 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

## 本体装置の操作

| 現　象 | 点検項目 | 対　策 | 関連ページ |
|---|---|---|---|
| 設定などの操作ができない。 | 待機画面になっていますか？ | 自動放送を解除して自動放送ランプを消してください。 | 10<br>34 |
| 自動放送のセットができない。 | 【ｽｹｼﾞｭｰﾙ ﾃﾞｰﾀ ｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ】と表示される。 | 制御用パソコンで作成したスケジュールデータを本体装置に読み込み／転送してください。 | 35<br>(17) |
|  | 【ﾁｬｲﾑ ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】、【ﾒｯｾｰｼﾞ ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示される。 | ディスプレイに表示されるチャンネルの録音をしてください。 | 35<br>(21) |
| 手動放送で、放送したいチャンネルが指定できない。 | 指定したいチャンネルに録音されていますか？ | 録音されていないチャンネルは、選択できません。録音してください。 | 36<br>(21) |
| 録音ができない。 | 【ﾛｸｵﾝ ﾆｭｳﾘｮｸ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示される。 | マイク、テープレコーダが接続されていません。接続してください。 | 22<br>(21) |
|  | 【ｱｷｼﾞｶﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示される。 | 録音時間一杯に録音されています。不要なメッセージなどを消去してください。 | 22<br>24 |
| 放送の頭が切れる。 | アンプ起動時間の設定が正しく行なわれていません。 | 放送設備に合わせて、正しく設定してください。 | 73<br>115 |
| スケジュールデータの読み込みができない。 | 【ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示される。 | 装置用データ作成の操作で出力したスケジュールだけが読み込みできます。 | 76<br>118 |
| スケジュールデータの変更ができない。 | 自動放送にセットされていませんか？ | 自動放送にセットされているときは、スケジュールの確認はできますが、変更はできません。 | 34 |
| 繰上げ・繰下げの操作ができない。 | 時刻の最小単位が「秒」に設定されていませんか？（一般用） | 「秒」に設定した時は、繰上げ・繰下げ機能は使用できません。 | 30<br>72 |
| ボタン操作を受け付けない。 | ディスプレイに、鍵マークを表示していませんか？ | 簡易キーロックが設定されています。<br>キーロックを解除して操作してください。 | 15 |
| USB メモリのデータが読み込めない。<br>USB メモリに書き込めない。<br>USB メモリを認識しない。 | セキュリティ機能が付いている USB メモリではありませんか？ | USB メモリは添付品を使用するか、セキュリティ機能のない USB メモリを使用してください。 | 9<br>44 |
| 制御用パソコンと、データ転送などの操作ができない。 | LAN の設定は正しくされていますか？ | IP アドレスなどの設定を確認してください。 | 12 |
| アラームが突然鳴り出す。 | 【ｽｹｼﾞｭｰﾙ ｷｶﾝｶﾞｲ ﾃﾞｽ】と表示される。 | スケジュールデータを再登録してください。 | 28<br>54（一般用）<br>98（学校用） |

## データ入力ソフトの操作

| 現　象 | 点検項目 | 対　策 | 関連ページ |
|---|---|---|---|
| パソコンが動作しない。 | パソコンの動作環境は合っていますか？ | OS やメモリ容量などを確認してください。 | 44 |
| 装置用データの作成で、作成先ドライブに、USB メモリをセットしたドライブが表示されない。 | パソコンが、USB ドライブを認識していない可能性があります。 | 「更新」ボタンをクリックしてください。 | 76<br>118 |
| 時刻の最小単位を「秒」に設定しているのに、放送時刻の設定が細かくできない。（一般用） | 設定時刻の間隔を、30 秒以内に設定していませんか？ | 定時放送の時刻設定には、30 秒以上の間隔が必要です。 | 61 |
| ネットワーク機能で、繰上げ・繰下げの設定ができない。<br>（一般用） | 時刻の最小単位が「秒」に設定されていませんか？ | 「秒」に設定した時は、繰上げ／繰下げ機能は使用できません。 | 84<br>85<br>(74) |
| 装置用データの作成で、割り付けしたい wave ファイルが音源ファイル一覧に表示されない。 | 作成した音源ファイルは、本システムで使用できるファイル形式で作成されていますか。 | 割り付けする音源ファイルは、次のいずれかのファイル形式で作成してください。<br>・μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz<br>・PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz<br>・PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz | 78<br>90<br>120<br>131 |

# 主な取り扱い方法 PBS-D500Ⅱ

## 本体装置での操作

### 今、すぐチャイムを鳴らしたい（P36 参照）

① 手動放送の［チャイム］ボタンを押す。
② 選択ロータリースイッチで、チャイムのチャンネルを選ぶ。
③［セット］ボタンを押す。
＊途中で止めるときは、［終了］ボタンを押す。
＊鳴り終わると、元の状態に戻ります。

### 自動放送を停止したい（P34 参照）

①［自動放送］ボタンを押す。
②［セット］ボタンを押す。
＊自動放送が解除され、自動放送ランプが消灯します。

### 自動放送にしたい（P34 参照）

①［自動放送］ボタンを押す。
②［セット］ボタンを押す。
＊自動放送がセットされ、自動放送ランプが点灯します。

### 今日以降のスケジュールを変更したい（P28 参照）

① 待機画面にします。（自動放送になっているときは、解除します。）
②［メニュー］ボタンを押す。
③ 選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ。
④［セット］ボタンを押す。
⑤ 選択ロータリースイッチで、【1-1 ﾈﾝｶﾝ ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ。
⑥［セット］ボタンを押す。
⑦ 選択ロータリースイッチと［セット］ボタンで、年月日およびパターン番号を変更する。
＊ 選択ロータリースイッチで「年」を選び、［セット］を押す。
＊ 選択ロータリースイッチで「月」を選び、［セット］を押す。
＊ 選択ロータリースイッチで「日」を選び、［セット］を押す。
＊ 選択ロータリースイッチで「パターン番号」を選び、［セット］を押す。
⑧［終了］ボタンを、必要回数押して待機画面に戻す。
＊ １回押すごとに前画面に戻ります。
⑨ 自動放送を解除した場合は、自動放送にセットします。

### 今日以降のスケジュールを繰上げ／繰下げしたい（P30 参照）

① 待機画面にします。（自動放送になっているときは、解除します。）
②［メニュー］ボタンを押す。
③ 選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ。
④［セット］ボタンを押す。
⑤ 選択ロータリースイッチで、【1-3 ｸﾘｱｹﾞ / ｸﾘｻｹﾞ】を選ぶ。
⑥［セット］ボタンを押す。
⑦［セット］ボタンと選択ロータリースイッチで、年月日、繰上げ／繰下げ開始時刻、繰上げ／繰下げ時間を設定する。
＊［セット］を押して、選択ロータリースイッチで「年」を選ぶ。
＊［セット］を押して、選択ロータリースイッチで「月」を選ぶ。
＊同様に、「時間」まで選び［セット］を押す。
⑧ ２つ目以降の設定があれば、⑦を繰り返す。
⑨［終了］ボタンを、必要回数押して待機画面に戻す。
＊ １回押すごとに前画面に戻ります。
⑩ 自動放送を解除した場合は、自動放送にセットします。

### 今日以降のスケジュールを放送休止したい（P31 参照）

① 待機画面にします。（自動放送になっているときは、解除します。）
②［メニュー］ボタンを押す。
③ 選択ロータリースイッチで、【1 ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ。
④［セット］ボタンを押す。
⑤ 選択ロータリースイッチで、【1-4 ｷｭｳｼ】を選ぶ。
⑥［セット］ボタンを押す。
⑦［セット］ボタンと選択ロータリースイッチで、年月日、放送休止の開始時刻を設定する。
＊［セット］を押して、選択ロータリースイッチで「年」を選ぶ。
＊［セット］を押して、選択ロータリースイッチで「月」を選ぶ。
＊同様に、「分」まで選び［セット］を押す。
⑧ ２つ目以降の設定があれば、⑦を繰り返す。
⑨［終了］ボタンを、必要回数押して待機画面に戻す。
＊ １回押すごとに前画面に戻ります。
⑩ 自動放送を解除した場合は、自動放送にセットします。

## ネットワーク機能での操作

### 今すぐチャイム、メッセージを鳴らしたい
### （一般用 P94、学校用 P135 参照）

①［手動放送］ボタンをクリックする。
②鳴らしたい放送パターンを選びクリックする。
③［放送開始］ボタンをクリックする。
＊途中で止めるときは、［放送中止］ボタンをクリックする。
④［戻る］ボタンをクリックして【待機画面】にする。

### 自動放送を中止したい
### （一般用 P83、学校用 P124 参照）

①［本日スケジュール］ボタンをクリックする。
②［自動放送］ボタンをクリックする。
③［はい］ボタンをクリックする。
＊自動放送が解除され、自動放送ランプが消灯します。

### 自動放送にしたい
### （一般用 P83、学校用 P124 参照）

①［本日スケジュール］ボタンをクリックする。
②［自動放送］ボタンをクリックする。
③［はい］ボタンをクリックする。
＊自動放送がセットされ、自動放送ランプが点灯します。

### 本日のスケジュールを変更したい
### （一般用 P82、学校用 P123 参照）

①［本日スケジュール］ボタンをクリックする。
●定時放送のステップ変更
②［定時放送］タブおよび［ステップ変更］タブをクリックする。
③定時放送一覧で、変更するステップをクリックする。
④変更する内容を設定して［変更］／［新規］／［削除］／［連結］の該当ボタンをクリックする。
⑤２つ目以降の設定があれば、③～④を繰り返す。
⑥［転送］ボタンをクリックする。
⑦［はい］ボタンをクリックする。
＊変更データが転送されます。
⑧［戻る］ボタンをクリックして【待機画面】にする。
●定時放送の繰上げ・繰下げ、休止変更
②［定時放送］タブおよび［繰上げ・繰下げ、休止変更］タブをクリックする。
③変更する内容を設定して［スケジュール確認］ボタンをクリックする。
④［適用］ボタンをクリックする。
⑤［転送］ボタンをクリックする。
⑥［はい］ボタンをクリックする。
＊変更データが転送されます。
⑦［戻る］ボタンをクリックして【待機画面】にする。
● BGM ／間隔放送の変更（一般用）
②［BGM ／間隔放送］タブをクリックする。
③変更する内容を設定して［登録］ボタンをクリックする。
④［転送］ボタンをクリックする。
⑤［はい］ボタンをクリックする。
＊変更データが転送されます。
⑥［戻る］ボタンをクリックして【待機画面】にする。

### 今日以降のスケジュールを変更したい
### （一般用 P87、学校用 P128 参照）

①［年間スケジュール］ボタンをクリックする。
②日課パターン一覧表で［登録］ボタンをクリックし、変更するパターン番号をクリックする。
③ 年間スケジュールのカレンダーの変更したい日付をクリックする。
④［転送］ボタンをクリックする。
⑤［はい］ボタンをクリックする。
＊変更データが転送されます。
⑥［戻る］ボタンをクリックして【待機画面】にする。

### 翌日以降のスケジュールを繰上げ／繰下げしたい
### （一般用 P85、学校用 P126 参照）

①［繰上げ・繰下げ、休止］ボタンをクリックする。
②［繰上げ・繰下げ］タブをクリックする。
③年月日、開始時刻、繰上げ／繰下げの種別、時間を設定する。
④［登録］ボタンをクリックする。
⑤２つ目以降の設定があれば、③～④を繰り返す。
⑥［転送］ボタンをクリックする。
⑦［はい］ボタンをクリックする。
＊変更データが転送されます。
⑧［戻る］ボタンをクリックして【待機画面】にする。

### 翌日以降のスケジュールを放送休止したい
### （一般用 P86、学校用 P127 参照）

①［繰上げ・繰下げ、休止］ボタンをクリックする。
②［休止］タブをクリックする。
③年月日、開始時刻を設定する。
④［登録］ボタンをクリックする。
⑤２つ目以降の設定があれば、③～④を繰り返す。
⑥［転送］ボタンをクリックする。
⑦［はい］ボタンをクリックする。
＊変更データが転送されます。
⑧［戻る］ボタンをクリックして【待機画面】にする。

# 主な仕様

| 項　目 | | 仕　様 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ディスプレイ | サイズ | 24 文字（半角）× 2 行 | バックライト付きＬＣＤ |
| | 表示文字 | カナ、数字、記号、アルファベット | |
| 録音再生 | 録音媒体 | 内蔵フラッシュメモリ | |
| | 録音方式 | μ- law 8 ビットモノラル 22.050kHz（標準）<br>PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz（高音質 1）<br>PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz（高音質 2） | チャンネルごとに設定可 |
| | 録音時間 | 標準: 約 60分、高音質 1: 約 30分、高音質 2: 約 15分 | |
| | チャンネル数 | メッセージ：99ch、自作チャイム：15ch | |
| | Ｓ／Ｎ比 | 65dB 以上 | 1kHz／0dBV録音時（テープ） |
| 音声入力 | マイク入力端子 | 600 Ω不平衡、-60dBV、6.5mm ジャック | |
| | テープ入力端子 | 47 ＫΩ不平衡、0dBV、3.5mm ジャック | |
| | チャイム入力端子 | 10 ＫΩ不平衡、-10dBV、ピンジャック | |
| | ＢＧＭ入力端子 | 10 ＫΩ不平衡、-10dBV、ピンジャック | |
| 音声出力 | アンプ音声出力端子 | 600 Ω、0dBV、6.5mm ジャック | |
| | イヤホン端子 | 16 ～ 32 Ω | |
| 制御出力 | アンプ制御端子 | 無電圧メーク出力（接点容量：DC30V,500mA 以下） | |
| | チャイム制御端子 | 無電圧メーク出力（接点容量：DC30V,500mA 以下） | |
| | ＢＧＭ制御端子 | 無電圧メーク出力（接点容量：DC30V,500mA 以下） | |
| 制御入力 | リモート放送端子 | 無電圧メーク入力（接点容量：DC10V,10mA 以上） | 最小信号時間 200ms 以上 |
| | 拡張端子 | リモートアダプタ PBS-D500 RA 起動信号 | |
| | 時刻修正端子 | 無電圧メーク入力（接点容量：DC10V,10mA 以上）<br>DC24V 電圧入力 | 最小信号時間 200ms 以上 |
| 放送系統 | | 1 系統 | |
| データ登録 | パソコン | PBS-D500 データ入力ソフト（添付品） | OS:<br>Windows Vista/7/8/8.1 |
| | 転送媒体 | USB フラッシュメモリ | |
| 自動放送 | 日課パターン | 99 種類 | |
| | 定時放送スケジュール | 1 日課パターンあたり、64 ステップ | |
| | ＢＧＭ放送スケジュール | 1 日課パターンあたり、6 ステップ | 一般用のみ |
| | 間隔放送スケジュール | 1 日課パターンあたり、1 ステップ、6ch | 一般用のみ |
| | 繰上げ・繰下げ／休止 | 繰上げ・繰下げ：10 ステップ、休止：10 ステップ | |
| | 月間スケジュール | 月の第 1 週～第 5 週単位 | 一般用のみ |
| | 週間スケジュール | 月別の週単位／土曜日登録 | 学校用のみ |
| | 祝日スケジュール | 国民の祝日 15 日、予備 9 日、国民の休日 | ハッピーマンデー対応 |
| | 休日スケジュール | 年の日単位 | |
| | 特定日スケジュール | 10 年分の日単位 | 登録年から 10 年分 |
| 手動放送 | | チャイム、メッセージ | |
| リモート放送 | 入力端子数 | 標準：5、オプション：31、オプション：50 | 別売アダプタが必要 |
| ＬＡＮ仕様 | 通信プロトコル | ＴＣＰ／ＩＰ | |
| | インターフェース | 10BASE-T ／ 100BASE-TX | |
| ネットワーク機能 | スケジュール変更 | 本日スケジュール、繰上げ・繰下げ／休止、<br>年間スケジュール | |
| | 設定データ転送 | スケジュールデータ、音源データ | |
| | リモート放送履歴転送 | ＣＳＶ形式ファイル | |
| | スケジュール確認 | 本日スケジュール確認 | |
| | 手動放送 | 放送パターン：10 種類 | |

| 項　目 | | 仕　様 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 環境条件 | 動作時 | 温度条件：5 ～ 40℃　湿度条件：20 ～ 85% | 結露のないこと |
| | 保管時 | 温度条件：−10°C ～ 50°C　湿度条件：20 ～ 85% | 結露のないこと |
| VCCI | | クラス A | |
| RoHS 指令 | | 対応 | |
| 電源 | 電圧（周波数） | AC100V ± 10V（50 ／ 60Hz） | |
| | 消費電力 | 約 8 W（最大） | |
| | 停電保証 | 年月日・時刻は、10 年以上 | |
| 時計精度 | | 月差± 5 秒（25℃、通電時） | |
| 外観 | 寸法（mm） | 430（幅）× 226（奥行き）× 44（高さ） | 突起物含まず |
| | 質量（kg） | 約 2.2 | |

# 保証とアフターサービス

● 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
● 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
● 本品の故障・誤操作または不具合により、放送などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## 保証書

| | | |
|---|---|---|
| 型名 / 保証期間 | | 自動放送機能付プログラムチャイム PBS-D500Ⅱ　/　お買い上げから１年間 |
| お買い上げ日 | | 年　　月　　日 |
| お客様 | お名前 | |
| | ご住所 | 〒 |
| | 電話番号 | |
| 販売店 | 名前 | |
| | 住所 | 〒 |
| | 電話番号 | |

### 保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。
尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合
4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6 ご贈答品、ご転居後の修理については、最寄りの当社修理センターにご相談ください。


**使い方・取付け方などのご相談**

お客様相談センター　0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00～17：30 <土・日曜日、祝日、当社指定休日除く>

**修理に関するご相談**

**●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。**

当社ホームページ http://www.takacom.co.jp「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム 


株式会社 タカコム　　本社・工場／〒509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709


P1MK04010114R　Feb.2015